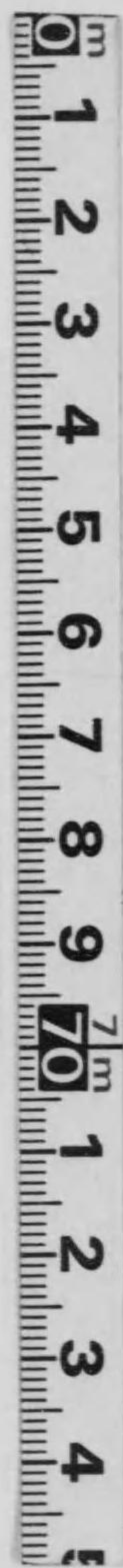


14
46

大正八年度

第七回業務成績

北海道雜穀商同業組合聯合會



始



1421-468

例言

一、本書ハ大正八年度(自大正八年四月三十一日)ニ於ケル本會業務

成績ノ梗概ニシテ定款第三十二條ニ據リ評議員及

代表員ノ承認ヲ經タルモノナリ

二、文辭ハ達意ヲ旨トシ校正ハ最モ意ヲ用ヒタリ

モ魯魚ノ謬ヲ免レザルハ編者偏ニ其責ニ任スルモ

ノナリ

大正九年六月三十日



北海道雜穀商同業組合聯合會

大正八年三月三十日

井筒直藤商會聯合會

第一節 沿革ノ概要……………一頁

第二節 施設 一班……………一〇

第二章 調査ノ成績……………一三

第一節 調査機關……………一三

第二節 調査成績……………一六

第三節 移輸出概況……………二七

第四節 商況 一班……………三一

第三章 會 議……………四八

第一節 評議員會……………四八

第二節 通常總會……………五五

第三節 臨時總會……………五八

第四章 處務ノ概要……………六四

目次

第一章 緒 言……………一頁

第一節 沿革ノ概要……………一頁

第二節 施設 一班……………一〇

第二章 調査ノ成績……………一三

第一節 調査機關……………一三

第二節 調査成績……………一六

第三節 移輸出概況……………二七

第四節 商況 一班……………三一

第三章 會 議……………四八

第一節 評議員會……………四八

第二節 通常總會……………五五

第三節 臨時總會……………五八

第四章 處務ノ概要……………六四



第一章	認可指令	六四
第二章	役員及職員	六六
第三章	功勞者表彰	七〇
第四章	建議及請願	七七
第五章	検査切手ノ處理	九五
第六章	文書取扱件數	九六
第七章	雜件	九七
第五章	會計	一〇一
	大正八年度更正豫算	一〇一
	大正九年度經費豫算	一〇四
	大正八年度經費決算	一〇九
	本會財產	一一六

附定欸統計諸表目次

大正八年度雜穀澱粉相場月別表	一
累年度雜穀澱粉平均相場月別表	六
大正八年度農產物移輸出仕向地別表	一二
大正八年中各國輸出雜穀澱粉數量價格品種別表	一六

第七回業務成績

第一章 緒言

第一節 沿革ノ概要

本會創立以來年々遂々テ發展シタル會務ノ大要ハ毎年天刊行ノ業務成績ニ於テ既ニ之ヲ明カニシタリ而シテ大正八年度ヲ迎フルニ際リ時運ノ推移ハ其ノ遂行スヘキ事業ニ一大變革ヲ來シ本會歴史上正ニ一新紀元ヲ劃シタルヲ以テ茲ニ第七回業務ノ成績ヲ述フルニ臨ミ暫ラク過去數年ニ遡リテ沿革ノ概要ヲ略叙シ本會ノ迎リ來レル事歴ノ披查ニ便セントス

一、成立ノ由來

回顧スルニ明治一年開拓使設置當時ノ本道農耕地ハ僅々八百五十町歩ニ過キサリシカ爾來拓地殖民ノ業進展著シキモノアリ即チ明治四十一年以降本會ノ設立セラレタル大正二年ニ至ル間ニ於ケル耕地並ニ農産物激増ノ跡ヲ見ルニ左ノ如シ

大正八年業務成績ノ概要……………一六
 大正八年業務成績ノ概要……………一六
 大正八年業務成績ノ概要……………一六
 大正八年業務成績ノ概要……………一六
 大正八年業務成績ノ概要……………一六
 大正八年業務成績ノ概要……………一六

北海道農作物付増加歩合表

年別	作付		收穫	
	反別	別	歩	合
明治四十一年	36,250.3	100	33,966.2	100
同四十二年	35,185.3	100	28,977.9	100
同四十三年	43,684.4	118	38,254.7	116
同四十四年	45,757.6	125	41,055.2	123
大正元年	44,867.7	124	33,322.8	119

備考 本表ハ明治四十一年分ヲ百トシテ累年ノ増加歩合ヲ示セリ

更ニ本會成立前ノ二ケ年間ニツキ價格百万以上ノ農産物ヲ品種別ニ掲クレハ左ノ如シ

農産物收穫高表 (價格百萬圓)

品名	明治四十四年		大正元年	
	作付反別	收穫高價	作付反別	收穫高價
裸麥	27,655.3	36,553.6	33,010.4	22,843.8
小麥	20,400.9	1,785.8	23,353.6	22,400.7
燕麥	4,953.6	854.82	4,953.6	3,548.7
大豆	7,443.8	62,847.7	7,666.9	4,533.0

品名	明治四十四年		大正元年	
	作付反別	收穫高價	作付反別	收穫高價
小豆	50,777.3	365,339	49,677.6	450,555
菜豆	18,391.6	1,715.0	23,753.9	229,605
豌豆	10,948.4	9,139.9	17,557.6	183,778
蚕豆	17,097.0	333,666	17,899.9	109,874
玉蜀黍	19,400.4	332,568	22,353.5	377,751
蕎麥	16,355.2	1,637.7	16,544.0	1,789.3
菜種	26,566.4	23,776	25,953.2	227,444
馬鈴薯	33,644.3	6,744,336	32,887.7	66,333,333
米	39,823.3	4,744,836	45,722.6	66,751
其他合算總計	454,757.6	4,105,216	444,647.7	5,192,836

發展ノ趨勢スノ如クニシテ本道生産ノ雜穀澱粉ハ著シク市場ノ注目ヲ惹キ國家經濟上海ル可ラサル地位ヲ占ムルニ至レリ而シテ生産激増ノ大勢ヲ觀取シタル畑眼ナル當業者ハ早クモ販路ヲ海外ニ擴張センコトヲ謀リ輒チ明治四十年蹄豆、菜豆ヲ函館ヨリ香港ヘ仕向ケタルヲ濫觴トシテ翌四十一年ニハ倫敦ヨリ豌豆二百噸ノ注文アリ又菜豆ハ四十二年米國ヘ四十二年英國ヘ輸出セラレ澱粉ハ三十九年以來海外輸出ヲ見ルノ好況ヲ現出シタリ然ルニ他ノ一面ヲ省ミルトキハ生産益々増加ノ傾向アルニ拘ラス之カ品質ノ改善ハ全然閑却セラレ乾燥調製等ニ意ヲ注クモノナク容量ノ不均一包裝容器ノ不完全等ハ漸次市場ニ於ケル聲價失墜ノ因トナリ前途有望視セラレタル道産雜穀澱粉ノ將來ハ洵ニ暗澹タル狀勢ヲ呈スルニ至レリ於是乎雜穀界ノ現狀救済ニ關シ實業團體又ハ其ノ他有力者ヨリ當局ヘ請願若クハ陳情ノモノ頗ル多數

ニ上リ殊ニ函館商業會議所會頭岡本忠藏氏東京雜穀商問屋組合長岩崎清七氏三井物産株式會社小樽支店長小田柿捨次郎氏等ハ時ノ北海道廳長官石原健三閣下並ニ本道選出ノ淺羽、遠藤、高橋、東、白石ノ各代議士及三井物産株式會社重役山本條太郎氏ト東京ニ相會シ研究擬議スル所アリ越テ四十五年三月ニハ前記ノ小田柿捨次郎氏及井上安次郎氏ノ兩名ハ連署シテ雜穀検査法制定ノ急務ニ關シ縷々道廳長官ニ請願スル所アリ道廳長官亦種々調査研究ノ結果移輸出雜穀検査ノ施行ヲ以テ最善ノ對應策ト爲シ則チ明治四十五年六月十四日全道各地ノ代表者ヲ北海道廳ニ招集協議ヲ盡クシタリ當時招集ニ應シタル代表者左ノ如シ

南場吉次郎氏、山口樂平氏(以上函館)、山崎重次郎氏、中谷彦太郎氏、向阪賀祿氏(以上小樽)、塚嶋由太郎氏(札幌)、橋本清助氏(釧路)、高倉安次郎氏(帶廣)

右ノ結果重要物産同業組合法ニヨリ當業者ニ於テ組合ヲ設置シ之ニヨリテ移輸出検査施行ノ方針ヲ樹立シ亞テ第二回協議會ニ於テ既設(明治四十三年四月設立)小樽雜穀商同業組合ノ外全道ヲ三分シテ其ノ地區ヲ定メ函館中央、東部、ニ各同業組合ヲ組織シ且ツ之等四組合ノ聯合會ヲ設置スルノ議成立シタリ斯クテ東部ハ大正元年十月中央ハ同年十二月函館ハ大正二年一月何レモ成立認可ヲ得タルヲ以テ大正二年五月六七ノ兩日北海道廳ニ於テ聯合會ノ創立總會ヲ開クニ至レリ出席委員ハ左記十二名ニシテ時ノ北海道廳勸業部長橋本正治氏並同技師山田勝伴氏臨席セラレタリ

岡本忠藏氏

函館選出 田中友次郎氏

奥山千春氏

塚島由太郎氏

中央選出 永田巖氏

澤口善助氏

辻田吉之助氏

小樽選出 岩村徳治郎氏

井上安次郎氏

高倉安次郎氏

東部選出 井上兼吉氏

堀江福太郎氏

該總會ニ於テ定款其他附帶ノ事項ヲ決議シ且ツ役員ヲ選舉シ同年六月四日定款ノ認可指令アリ即チ幾多ノ曲折ヲ經タル本會ノ組織茲ニ成立シテ同年七月一日小樽區色内町ニ其事務ヲ開始スルニ至レリ

二、成立後ノ經過

本聯合會ハ前述ノ如ク移輸出雜穀ノ検査施行ヲ眼目トシテ成立シタルヲ以テ大正二年度新穀ヨリ事業ヲ開始シタリ是實ニ本道農産物検査執行ノ嚆矢ニシテ産業史上記念スヘキ事項ナリトス検査ノ要項ハ品質形狀、乾燥、調製、容器及包装ニシテ當初定メタル検査品目ハ九種類ニ過キサリシカ大正四年度新穀ヨリ更ニ三種ヲ追加シテ主要雜穀類ヲ網羅シタリ

大豆、小豆、小麥、豌豆、菜豆、菜種

検査品目 亞麻種子、蕎麥、荏胡麻(以上創立當初指定)

〔燕麥、稻黍、澱粉（大正四年）
度ニ追加）

創業ノ當年ハ不幸ニシテ本道稀有ノ凶作ニ遭遇シ經營困難ヲ極メ前途悲觀ヲ免レサリシカ大正三、四年
度ニハ北海道應地地方費ノ多大ナル補助アリ且ツ概シテ雜穀類ノ豊收アリ加フルニ次第ニ時局ノ好響ヲ受
ケ事業上ノ進展漸ク觀ルヘキモノアリ之ニ應シテ検査實施ノ成績ト市場取引ノ實態トニ鑑ミテ設定ノ等
級、包装上ノ制限等ハ年々ノ役員會總會等ニ於テ屢々之ヲ改善シ以テ受檢者並ニ需用者ノ要望ニ副ハン
コトヲ期シタルニヨリ検査ノ效果逐年内外市場ニ認知セラレ過去ニ於テ失墜シタル本道雜穀ノ聲價ハ漸次
向上ノ實ヲ舉クルニ至レリ此趨勢ニ乘ジ大正四年七月ヨリハ毎月一回會報ヲ印刷發行シテ關係方面ニ報
告發表ノ機關ト爲シ又海外取引上本會検査品タルコトヲ保證スヘキ世界的商標設定ノ必要ヲ認メ大正四
年九月十六日所定ノ検査品ニ對シ商標登録法ニヨリok標章登録願ヲ提出シタルニ同年十月八日附登録查
定ノ謄本交附ヲ受ケ爾來輸出合格品ノ標章トシテ製用今日ニ至レリ

大正五年度ヲ迎フルニ迨ヒ時局ノ影響ニヨリテ本道雜穀澱粉ノ輸出倍々好調トナレルヲ以テ金融業者ハ
外國爲替取組ヲ開始シ一面小樽ニ爲替貯金支局ノ設置アリテ内外取引上便宜少カラサルコトナレリ本會
亦斯界ノ鑑識進歩ノ跡ニ省ミ検査標準品ノ査定ニ關シテハ從來執リ來レル等級中心主義（等級ノ中心ニ適合
スル標準品ノ作成）ヲ更メテ最低限度主義（等級ノ最低限度ニ適合
スベク標準品作成）トナシ又年來ノ懸案タリシ大豆、小豆ノ樹量取引制ヲ斤量制
度ノ下ニ統一シタル如キハ何レモ特筆スヘキ改善ノ事項ナリトス

本會執行ノ移輸出検査ハ斯ノ如ク次第ニ順調ノ發達ヲ遂ケ良好ノ成績ヲ收メ得タルモ元來移輸出検査ハ
生産改良ノ根本ニ觸レ難ク從テ其ノ完璧ヲ期セントセハ必ス先ツ生産検査ノ施行ナカル可ラス本會早ク
此ニ觀ルトコロアリテ大正三年ノ總會ニ於テハ生産検査調査會ノ設置ヲ決議シ研究調査ノ結果其ノ官行
方ヲ北海道應官ニ建議シタリ爾來道廳ニ於テハ官營又ハ道農會等ノ經營ニ關シ銳意調査ヲ進メラレタル
モ全道ノ區域廣汎ニシテ經費並設備ノ關係上事情ノ容ササル、モノアリトノ理由ニ依リ、結局本會ニ對
シ生産検査ノ前提タル地方的集合ノ產地検査ノ施行方ヲ慫慂セラレタリ是レ本會カ經營上ノ困難ヲ忍ヒ
多大ノ犠牲ヲ覺悟シテ廳令ノ委任ニヨリ移輸出検査ニ併セテ產地検査ヲ決行シタル由來ナリ

產地検査ハ大正六年度新穀ヨリノ施行ニシテ其検査品目ハ移輸出検査十二品種ノ外向雜穀大麥、裸麥、
辛子種、王蜀黍ノ四種ヲ加ヘテ十六種ノ多數ニ上レリ若シ夫レ單ニ理論上ヨリ考察スルトキハ商業者ノ
團體タル本會ニ於テ產地検査ヲ施行シ生産改良ニ關シテ生産者ヲ拘束セントスルハ全然不能事ニ屬スル
嫌アルモ或ハ講話講演ニ或ハ實地ノ指導其ノ他ノ方法ニヨリテ生産者ニ自發的受檢ノ利益ヲ周知セシメ
且ツ受檢ノ手續ヲ簡捷ナラシメ生産者ノ受檢思想誘掖ニ努メ以テ他日理想的生産検査實施ノ境域ニ到達
センコトヲ期待シタリ

本會ノ事業ハ斯ノ如ク毎年次膨脹シテ止マサルヲ以テ設備亦擴張ノ要アリ即チ大正五年ニハ本會事務所
新築ノ議ヲ決シ七月工ヲ起シ十一月竣功ヲ告ケタリ建坪實ニ百六坪七合五勺敷地ノ買入工費設備費一切

ヲ合シテ其費ス所實ニ二万一千八百七圓八十錢ヲ算セリ越ヘテ大正六年六月ニハ函館釧路兩検査所新築
ノ工ヲ起シ前者ハ同九月竣功建坪六十六坪五合二勺工費設備費ヲ合算シテ七千七百七十七圓十錢ヲ算シ
後者ハ同年十一月竣功其建坪四十一坪五合一勺ノ諸費ヲ合シテ六千三百六圓四錢ヲ算セリ更ニ大正七年
ニハ本會事務所ノ一部改築並旭川検査所新築ヲ決議シ何レモ八月起工シ十二月竣功セリ而シテ其ノ所要
經費前者ハ一万三千七百五十九圓八十三錢後者ハ九千五百二十七圓ヲ算シ特ニ旭川當業者ノ有志ハ該工
費ノ一部ヲ寄附セラレタリ

検査事業ノ發達ニヨリテ取引界ノ弊竇ヲ除セラレ品位乾燥俵裝容器等著シク改善セラレ販路内外ニ擴張
シタルハ本道産業上ノ慶事ニシテ殊ニ輸出激増ノ結果雜穀澱粉何レニ於テモ袋入品ノ數量次第ニ増加シ
雜穀手選ノ作業モ益々旺盛ヲ來シタルハ商品ノ改善統一ニ關シ當業者ノ留意深甚ヲ加ヘタル象徴ト見
ヲ得ベキカ左ニ其ノ計數ヲ示シテ一瞥ノ資トスヘシ

雜穀袋入	三ヶ年	検査數量	(大正五年度以前)
大正五年度		四八九、八二九袋	
同 六年度		一、〇一二、五五九袋	
同 七年度		一、〇四五、六九八袋	

雜穀手選品増加趨勢

仕上債數

所要賃錢

大正三年度	三七三、〇六〇	九八、二九八
同 四年度	六三一、〇六一	六四、〇八六
同 五年度	八八九、七六四	一五二、七二七
同 六年度	二、一〇一、二四三	八九九、五〇九
同 七年度	一、八一五、四二九	一、四二四、〇五一

右ノ外大正六年度ニ於テハ澱粉ノ取引標準正味十二貫匁建ヲ百封度ト改メテ海外取引ニ便シ翌七年度ニ
ハ輸出精選品ノokヲ^{OK}ノ二階級ニ改メ又新ニ移輸出袋入品ニ限リ其取扱ニ係ル責任ヲ明示セシムル爲
メ責任番號票^{責任番號票} HOKAIDŌノ制ヲ定メテ商品ノ改善統一ヲ促進シ一面横濱、神戸、青森ノ樞要地ニ
臨時監視所ヲ設置シテ移輸出品ノ取締ヲ爲サシメ又多額ノ調査費ヲ投シテ滿洲、支那及歐米ニ於ケル雜
穀澱粉ノ需給状態ヲ調査シタル如キ何レモ注目ニ値スヘキコトナリトス

以上ハ本會成立以來變遷ノ概要ヲ略叙シタルニ過キス以下節ヲ更メテ大正八年度ノ施設ニツキ記述ヲ進
ムヘシ

第二節 施設 一斑

一、存續ノ意義

本會成立ノ根本義タル雜穀澱粉ノ検査事業ハ大正八年三月三十一日ヲ限リ舉テ之ヲ北海道廳地方費事業ニ移シタリ然レハ此時ヲ以テ本會存立ノ要亦消滅シタルカ如キ態トナリシヲ以テ聯合組合員ノ間本會ノ存廢ニ關シ各々其所見ヲ異ニシタリ然カモ事頗ル重大ノ問題ニ屬スルヲ以テ慎重ニ是非ヲ討究審議シ其ノ結果重要物産同業組合法ニ據リ設立シタル本會ノ負フヘキ事業ハ單ニ検査ニ限ルヘキニ非ス殊ニ世界ノ平和克復後ニ於ケル輸出農産ノ將來ニ關シテハ研究調査ヲ要スヘキ事項尠カラサルノミナラス検査施行ニ關聯セル重要ナル調査事項亦多々アルヘキヲ以テ如上ニ必要事項ノ調査ト検査事業ノ聲援トヲ本會今後ノ事業ト爲シ存續スルヲ妥當ノモノナリト決シ此ノ意義ノ下ニ從來ノ定款ヲ改定シタリ即チ改定シタル定款第四條ニ規定シタル本會ノ業務左ノ如シ

- 一、検査事業ニ關シ重要ナル事項ヲ調査シ當局ノ諮問ニ應ヘ又ハ建議ヲ爲スコト
- 二、移輸出雜穀澱粉ノ品位及ヒ包装容器等ノ改善ニ關スル研究調査ヲ爲スコト
- 三、雜穀澱粉ノ生産販路並内外市場ニ於ケル需給關係ノ調査ヲ爲スコト
- 四、聯合各組合組合員ノ取引狀態ヲ監察シ不正行爲ノ取締ヲ爲スコト

五、其ノ他必要ナル諸般ノ施設及調査ヲ爲スコト

二、施設ノ概要

(1) 殘務ノ處理、年度更新ノ初頭ニ於テハ先ツ事業引繼後ノ殘務整理ニ没頭シタルコト實ニ己ムナキ次第ナリトス蓋シ前年度末ニ於テ本會所轄ノ検査支所並出張所検査囑託員等ハ其數二百三十余ヶ所ノ多キニ上ル而シテ之等各所ニ於ケル執務ハ三月三十一日ニ及ヒタルヲ以テ年度一新ト共ニ續々各所ヨリ本會ニ送達セラレタル文書其ノ他ノ物品山積シテ一々之レカ處理ヲ要シタルト尙一面ニハ年來本會ノ發行配布シ來リタル検査切手ノ使用未済ニ屬スル分ハ全部之ヲ回收ノ要アリ而カモ従事員極メテ少數ナリシヲ以テ是等ノ事務整理ノ爲ニ九旬ノ日子ヲ費シ六月開催ノ定時總會後ニ至リ始メテ新事業ニ對スル方針ヲ樹立スルヲ得タリ

(2) 調査事業ノ開始、前記ノ如ク六月末ヲ以テ前年度事業ノ殘務整理完了シタルヲ以テ愈々調査事業開始ニ當リ先ツ其ノ概目ヲ左ノ如ク定メタリ

イ、道内調査事項

- 一、雜穀澱粉ニ關シ各品ノ作付増減割合及作柄ノ概況
- 二、生産検査施行ノ結果市場商品トシテ價格昂上ノ程度及取引上ノ便否其ノ他ノ影響等
- 三、検査施行上ノ諸施設ニ關シ改善ヲ希望スヘキ事項

ロ、道外調査事項

- 一、道産雜穀澱粉ノ内地ニ於ケル用途及其ノ頒布ヨリ消費ニ至ル經路ノ實態
 - 二、同上海外輸出仕向先ト其取引ノ趨勢一斑即チ輸出時季數量價格等ノ大要
 - 三、内外市場取引上ニ於ケル検査ノ効力ト検査及俵裝等ニ關スル批評
 - 四、滿洲、朝鮮、支那、印度等ヨリ本邦ニ輸入スル雜穀澱粉ノ輸入時季數量價格等及ヒ之カ再輸出海外仕向先ト其取引上一般ノ趨勢
 - 五、滿洲、朝鮮、支那等各國ノ貿易港ヨリ歐米ニ向ケ直輸出ノ時季數量價格及其ノ仕向先等
 - 六、滿洲、朝鮮、支那產品ト本道產品トノ品質上ノ優劣價格ノ差違包裝ノ善惡取引上習慣ノ相違及改善ヲ要スル事項
 - 七、滿洲、朝鮮、支那ノ生産高播種期收穫期耕作方ノ概況生産品及貿易港ニ至ル運搬費作付品種ノ變遷増減作柄ノ良否等一般ノ狀況
- (3) 調査事務ノ囑託、少額ノ經費豫算ヲ以テ道ノ内外ニ涉リ有効ノ調査ヲ遂行スルハ最モ至難トスル所ナリ殊ニ性質上事業ノ領域茫漠ニシテ資料ニ定量ナク加之其ノ成果ハ質實ニシテ検査事業ノ如ク華々シカラサルヲ通則ト觀ルヘキカ故ニ其遂行ノ方法ニ關シテハ豫メ研究熟慮ヲ加ヘ乃チ道内ノ調査ニ對シテハ本會ノ役員代表員其他主要驛在任ノ組合員ニ好意的ノ調査報告ヲ委囑シ道外ノ其レニ

對シテハ東京、橫濱、神戸、大阪、門司、下關等ノ樞要地ニ有給ノ調査囑託員ヲ常置シ専ラ通信機關ヲ利用シテ本會トノ連絡ヲ圖リ更ニ必要ニ臨ミテハ本會職員ノ出張調査ヲ遂クルコト、シ此ノ試ミニシテ幸ニ良成績ヲ見ルヲ得ハ更ニ朝鮮、滿洲、南支那ノ各方面ニ常置囑託員ヲ配置セント企圖シタリ而シテ調査シ得タル結果ハ隨時之ヲ印刷シ又ハ月次發行ノ會報ニ登載シテ主ナル組合員又ハ關係方面ニ配布シ參考ニ供シタリ

(4) 功勞者ノ表彰 本會ノ創立並創立以後ニ於ケル事業ノ好成绩ハ官憲ノ適切ナル指導監督ニ因ルト雖モ又一面事業遂行ノ局ニ當レル役員代表員其他關係諸員ノ苦心ト努力トニ因ラズンハアル可ラス而シテ多年執行シタル検査事業ハ既記ノ如ク本會ヲ離レタルヲ機トシ所定ノ表彰規程ニ基キ最モ慎重ニ詮考査定シ功勞顯著ナルモノ百五十八名ヲ舉ケ其ノ功程ヲ按排シテ金銀盃木盃褒狀等ヲ贈リ積年ノ功績ニ酬ヒタリ氏名其他ノ詳細ハ後章別ニ之ヲ記スヘシ

第二章 調査ノ成績

第一節 調査機關

大戰終結ノ後ヲ承ケ世界的商戰正ニ激甚ナラントスル大正八年度ニ於テ前章述ヘタル如ク調査事業ヲ主

体トシテ存續シタル本會ハ經費豫算ノ關係ヲ顧慮シ暫ク漸進の方針ヲ執ルニ決シ先ツ其ノ調査機關トシテ道内ハ聯合各組合ニ諮リ道外ハ組長ノ出張ニヨリテ左記ノ各氏ニ調査報告ニ關スル事務ヲ囑託シタリ

一、道内囑託員

(岩内)桶谷清興門、(岩見澤)山口由太郎、(名寄)石丸瀧藏、(平山)季忠、(太田)鐵太郎、(富良野)小島利右衛門、(深川)辰繁助市、(狩太)有田良吉、(留萌)林乙吉、(江別)高崎仁三郎、(目名)岩野由太郎、(余市)三河喜三郎、(真狩)大西伊之助、(札幌)中村久作、(瀧川)今出清六、(砂川)堀江長作、(栗山)藤瀬寛三、(中嘉)一郎、(由仁)澤田芳次郎、(士別)犬伏文太郎、(上富良野)脇坂博夫、(山本)一郎、(劍淵)今井廣作、(蘭越)畔津幾藏、(昆布)堀田佐七、(中富良野)四方勇吉、(妹背牛)平川文治、(幌向)金澤久藏、(東俱知安)杉原管太郎、(和寒)田中卯之助、(小川)博、(黒松内)小泉善太郎、(奈井江)阿部平次郎、(天鹽)角谷甚左衛門、(稚内)吉田甚太郎、(羽幌)逸見賢藏、(新内)森田理平、(新得)重田重太郎、(清水)鈴木信治、(佐念頃)藤枝種一、(芽室)田村徳十郎、(伏古)岡倍藏、(帶廣)服部力(札幌内)西岡幸助、(止若)伊藤吾市、(利別)ニツ山勝太郎、(池田)網木次郎吉、(十弗)下關吉松、(高島)鎌田佐七、(勇足)赤岩利八、(本別)井出定市、(豊頃)岸田商店、(下頃部)渡林太郎、(浦幌)高室廣助、(大樹)關谷國司、(茂寄)林寅太郎、(音更)城近市三郎、(直別)高松甚之助、(白糠)井上島三十、(舌辛)風間達三郎、(釧路)井上兼吉、(菅野)儀三郎、(上利別)陶崎喜久治、(足寄)丸山文三郎、

(大譽地)小泉孝造、(陸別)名取春作、(根室)四十川清太郎、(標津)近藤正五郎、(置戸)原田徳太郎、(訓子府)小門榮吉、(上常呂)大西茂、(野付牛)林與三郎、(端野)井關留太郎、(相ノ内)小中與三吉、(上相ノ内)菊地龜興、(留邊蘆)中田利三郎、(美幌)山本松次郎、(女滿別)加藤貝臣、(網走)西村又吉、(斜里)本間鐵藏、(常呂)上杉直治、(佐呂淵)小野常治、(上生田原)大野梅雄、(下生田原)谷口和佐吉、(遠輕)奥田鶴太郎、(社名淵)山中要吉、(中湧別)高田兵作、(下湧別)大益福松、(紋別)岩倉梅吉、(渚滑)門田豊秋、(興部)小間場與太郎、(雄武)淺野兵治、(澤木)山崎太吉、(幌内)上野治三郎、(函館)鋪室太郎、(知内)中村力松、(野田追)長屋有二、(江差)關川精一郎、(厚澤部)鈴木長太郎、(瀬棚)宮下和平、(西紋)增岡樹次郎、(輪西)寺尾幸太郎、(向洞爺)堤傳次郎、(虻田)守谷忍、(辨邊)山崎軍藏、(佐瑠太)坂東兵吉、(下下方)伊藤繁太郎、(三石)坂東秀太郎、(浦河)西口右平、(様似)高尾佐之治、(森)釣谷金光、(八雲)太田半三郎、(美深)進藤庫吉、(美唄)海老名廣吉、(沼田)高崎太八郎、(比布)喜多松次郎、(美瑛)大島豊吉、(風連)近藤倉吉、(風連)信用販賣組合、(室蘭)北海道産業會社支店

二、道外囑託員

(東京)川上龍太郎、(横濱)辻鎮、(神戸)町野良直、(久保)健藏、(大阪)戸邊新次郎、(下關)宮重修吉、(神戸及大阪)渡華昌之

道内ニ於ケル前記ノ調査事務囑託者ハ何レモ有力ナル組合員ニシテ日々業務多端ナルノミナラス本會ヨ

リ平素何等ノ之ニ酬ユル所ナキニ拘ラス全ク共同ノ利益増進ノ爲ニ克ク本會ノ事業ニ好意ヲ表シ聲援ヲ與ヘラレ本會業務ノ遂行上多大ノ便宜アラシメラレタルハ寔ニ感謝セサルヲ得ス更ニ又道ノ内外ニ於ケル各地ノ商業會議所及道内各郡町村農會並農事試驗場等ノ公團體ハ本會ノ調査ニ關シ煩ヲ厭ハス勞ヲ辭セス屢々照復應答セラレタルハ實ニ本會ノ光榮トスル所ニシテ亦永ク其厚意ヲ記念スヘキコトナリトス

第一節 調査ノ成績

調査事開業始ノ劈頭ニ於テ豫メ定メタル要項ハ前章既ニ記スル所ノ如シ是等調査ヲ進ムルニ當リ先ツ考フヘキハ即時成果ヲ收メ得ヘキモノト否ルモノトアルコト是ナリ即チ前者ハ僅少ノ勞力ト短時日ニ其ノ効ヲ收ムルヲ得レトモ後者ハ多大ノ苦心ト長時日トヲ費スニ非レハ其成果ヲ見ルヲ得可ラス而カモ其ノ一ヲ採ツテ他ヲ捨ツルハ妥當ヲ得タルモノニ非ルヲ以テ事業ノ執行ニ當リ大體方針ヲ定時ノ調査及ヒ隨時ノ調査ト爲シ、定時調査ノ遂行ニ於テハ日々ノ商況移輸出ノ狀態農産物ノ作付増減市場出廻ノ豫想月末農産在庫品ノ數量等ニ關シテ調査シ隨時調査ノ遂行ニ關シテハ臨時ニ發現シタル農産界ノ問題並ニ長時日ヲ費スヘキ生産消費ニ關スル系統的調査ヲ試ムルコト、定メタリ以下順次其ノ成績ノ梗概ヲ叙ス可シ

第一項 定時ノ調査

(一) 大正八年度農産物作付増減(七月下旬調)

戰乱終熄ト共ニ一時各種菜豆類輸出漸減ノ趨勢ヲ表ハシ價格亦從テ低落ヲ告ケタル一面ニ於テ一般食糧品價格ノ狂騰ニ因リ盛ニ麥類大小豆等ノ移出ヲ促シタルノ事實ハ戰時投機の偏作ニ傾キタル生産者ヲ反省セシメテ茲ニ耕作面積ノ分配ヲ稍々着實ナラシメタル傾向ヲ見タリ即チ前年度異常ノ産額ニ上リタル菜豆類就中小手亡豆ノ作付ヲ激減シ大小豆麥類燕麥蕎麥等ノ自家用食糧作物及内國移向作物等ノ作付一般ニ増加ヲ來シ更ニ澱粉ノ好況ニ連レテ全道ヲ通シ馬鈴薯ノ作付ヲ激増セシメタリ、左ニ大正七年度ノ作付面積(道廳統)ニ對比シ各組合管内ニ於ケル作付増減歩合ノ大勢ヲ掲記セン

主要農産物作付増減調査

品 種	大正七年度		八年度作付増減歩合		全道平均増減歩合	摘 要
	作付面積	面積	函館方面	中央方面		
大 麥	四、三三、一	約三割	約三割	約三割	約二割	主産地東部方面著シク増シタルニヨリ全道平均歩合モマダ上レリ
小 麥	一〇、六五、六	同一割	同一割	同一割	同一割	
裸 麥	二六、九七、一	同一割	同一割	同一割	同一割	
燕 麥	六四、四八、三	同一割	同一割	同一割	同一割	
大 豆	五二、九七、九	同一割	同一割	同一割	同一割	
小 豆	三四、六九、三	同一割	同一割	同一割	同四割弱	
青 豆	五二、二一、五	同二割	同二割	同三割	同一割	
青 豆	五二、二一、五	同二割	同二割	同三割	同四割弱	
青 豆	五二、二一、五	同二割	同二割	同三割	同四割弱	
青 豆	五二、二一、五	同二割	同二割	同三割	同四割弱	

長 鶉 豆	一五、六七二	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	
中 長 鶉 豆	二〇、〇〇〇	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	
大 福 豆	二二、二九一	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	
金 時 豆	一九、三二五	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	
手 亡 豆	六八、三〇〇	▲同八割	▲同五割	▲同七割	▲同五割	▲同五割	作付面積最多ノ中央管内ニ左右セラレテ全道平均歩合上記ノ如シ
蕎 麥	一八、六五七	同二割	同二割	同二割	同二割	同二割	
菜 種	一四、七二二	▲増減ナシ	全 上	同 上	同 上	全 上	
亞 麻	三四、七二九	▲同二割	▲同三割	▲同二割	▲同二割	▲同二割	
馬 鈴 薯	八四、二九六	同二割	同二割	同二割	同二割	同二割	

右ノ歩合ニヨリテ試ニ増減反別ヲ概算スルトキハ減反別ノ合計五万四千五百七十九町四反トナリ増反別ノ合計六万九千六百二十九町四反ヲ算ス而シテ増減反別ノ間ニ差引一万五千五十町歩ノ相違ヲ見ルハ必竟年度内ニ耕地トシテ製成セラレタル結果ニ外ナラヌトス

(ニ) 主要農産物市場出廻豫想 (十 月 調)

先ツ本年度ノ作況ヲ概述スレハ各品種ヲ通シ播種後五月中旬ヨリ下旬ニ亘り稍低溫ナリシ外概シテ降雨少ク晴天連續シ乾燥甚シカリシタメ著シク生育ヲ阻害アレタル傾アリ七月下旬ニ至リ各地一齊ニ豪雨アリテ一部河川ノ汎濫ヲ見越テ八月ニ入りテモ亦時々降雨アリ夏作物タル麥類菜種等ハ鎌入後連日ノ降雨ニ

遭遇シタル爲メ發芽又ハ變色等品質ヲ損シタルコト少カラス豌豆類ハ地方ニ依リテハ甚シク夜盜虫ノ害ヲ受ケ收量ヲ減シタリ爾後大候順ニ復シ豆類ノ莢付良好ニシテ稍樂觀セラレタルモ九月ニ至リテ天候惡化シ霖雨旬余日ニ亘リ殊ニ東部管内ニ於ケル十勝、北見ノ各河川ハ豪雨ノ猛襲ニヨリ何レモ汎濫シテ廣漠タル沃野ハ變シテ泥海ト化シ堤塘欠壞橋梁ノ流失其ノ算ナク實ニ同管内未曾有ノ大洪水タル悲惨事ヲ現出セリ加之各地方共氣溫非常ニ昂騰シ陰濕ノ天候ト相俟テ半苖取ヲ了リタル菜豆類蕎麥、小豆等ハ圃上ニ於テ蒸蒸シ爲ニ發芽腐敗シテ固有ノ色澤斑紋ヲ失ヒ大ニ品質ヲ損シタルノミナラス收量ヲ減シ損害ノ程度比較的輕微ナリト認メラル、函館管内ニ於テモ猶一割以上中央管内ハ約二割ノ減收ヲ豫想セラレ東部管内ハ被害殊ニ大ニシテ收穫皆無ノ狀ニ終リタル地方スラアリ平均三割以上ノ減收ト認メラレタリ但馬鈴薯ハ生育良好殊ニ病虫害ヲ受ケス一部地方ハ盛夏氣候乾燥ニ過キ收穫稍劣リタルモ全道ヲ通シテ二割内外ノ增收ナリシト認メフル當時豫想報告シタル市場出廻主要農産物數量左ノ如シ

大正八年度産主要農産物出廻豫想 (十 月 上 旬 在 現)

品 種	出 廻 豫 想 數	對 照	
		前年度本會調出廻豫想數	第一回檢査所豫想
菜 種	一三、七、三三三	一〇、一、四六五	一三、七、六四四
亞 麻	一、七〇、〇一一	二、三三、七三五	一、六八、六四〇
青 豆	八八、一、二一五	九五、六、四〇八	八八、一、三三三

手	亡時豆	五四一、〇七六	一、四三二、一〇四	七六三、九三九	四五四、四五九
金	時豆	二二三、七五八	三四六、七四七	二四六、二三八	一七六、五五八
丸	鶉豆	六二、九六〇	三六、六七六	四〇、四九六	二八、八九二
長	鶉豆	一八〇、五二四	一八九、六八八	一九二、七七一	二二七、七〇一
中	長鶉豆	二七九、六三四	三〇七、六七〇	二八、七二五	二二三、七四五
ビ	ルマ隠元豆	一〇〇、二四〇	二二、八九三	九六、四五二	八三、六七四
熊	本隠元豆	一六四、六五九	一五五、〇八一	二〇三、七三八	一七一、八三八
大	福及室隠豆	一三六、五四	八六、四六五	一四三、一三三	一〇五、九〇四
中	福及室隠豆	四二、三九九	八六、四六五	五、六三八	五五、四一六
大	豆類	一、一〇五、九四〇	八七九、二九〇	一、〇〇六、八七七	九七四、四八
小	豆類	六九六、三六八	五七三、七二九	六九九、〇四〇	五一九、六五
澱	粉類	二、三八三、六八三	一、四九八、五五五	一、八二九、五三〇	二、四五五、九三

(三) 農産物在庫品数量調
 道内主要集散市場ニ於ケル農産物ノ在庫数量ヲ調査シ其ノ概要ヲ發表報告スルハ當業者ノ裨益尠カラサ
 ルヘキヲ信シ其ノ第一トシテ八月二十日現在ニツキ小樽外二十六ヶ所ノ各營業倉庫並附近農家ノ手持ニ
 係ル古品殘荷數量ヲ調査シ其結果ハ各市場別及ヒ總括表ノ二様ニ調製シテ發表報告シタリ其ノ第二表ヲ
 掲ケテ他日參考ノ資ト爲スヘシ

雜穀澱粉古品在庫調査表 (大正八年八月二十日現在)

品 種	全道主要地 在 荷 數 量	考		備 考
		七年度出過豫想 (七年十月日調)	移輸出検査數量 (八年八月末マテ) 七年生産検査數 (八年七月マテ)	
菜 種	八、九四六	三〇、四四五	二四五、三五	菜種ノ産檢數ハ特ニ大正七年七月ヨリ大正八年六月迄ヲ計上セリ
亞 種	七、四三三	二二三、七五	二二〇、八七六	
辛 子 種	一、五八八	一、五八八	一、六一九	
麥 類	二、〇五六	一四一、九九九	六七、八九一	
燕 麥	五、三五一	九二八、三九九	五六一、九四〇	
青 豌豆	六七、四四六	九五六、四〇八	七八〇、五〇五	青豌豆生産檢査ハ主ニ百斤入ナレトモ輸出檢査ハ二百斤入多數混入ス
其他豌豆	一〇、七三九	一三、〇二二	一、九五〇	
手 亡 豆	二四二、五〇〇	一、四三二、一〇四	九四三、七五〇	手亡豆産檢元其他菜豆ハ百斤入ヲ以テ生産檢査ニ提供セルモ移出檢査ニ於テハ七十五斤六分即チ百斤入ヲ以テ提供セラル、モノ多シ
熊本隠元	一〇三、二九三	三六三、〇七四	二二八、一七五	
鶉豆	四三四	五三四、〇三四	三三二、七九七	
鶉豆	二七、二二三	五三四、〇三四	三三二、七九七	
中 長	二七、二二三	五三四、〇三四	三三二、七九七	
金 時 豆	五〇、五〇一	三四六、七四七	一八、二八二	
其他菜豆	三三、三九八	四七八、八三三	七五、八五二	
稻 黍	五、七七七	三、四八一	四七〇	

品名	十一月末現在	十二月末現在	九年一月現在	二二月末現在	三月末現在
小豆	二、九四〇	五、八、六〇七	三、六、八三四	二、六、六三二	二、四、三〇六
大豆	二、三、二八	四、四、五九九	二、四、二一〇	二、六、二三五	二、一、三三四
其他大豆	二、四二	四、四、二六〇	二、九、二二三	二、〇、三九四	一、九、五九三
蕎麥	一、四一	八、七、六九七	五、四、八九九	六、五、一五二	五、五、九九三
玉蜀黍	八、六〇	八、九、九〇六	八、二	六、七、〇三五	五、五、九九三
荏胡麻	五〇	二、二、八七	八二	九八	四、四、四七
澱粉	九、七、六〇五	一、四、五八、五五五	七、五、四四五	四、八、〇三四	四、四、四七

亞テ十一月以降ハ毎月末主要驛營業倉庫現在ノ在荷數量ヲ調査シ翌月十日ヲ限リ發表報告ヲ試ミ始ハ小樽外二十ヶ所ヲ限リタルカ調査機關漸次充實シタルニヨリ徐々其範圍ヲ擴張シ且ツ報告ノ正確敏速ヲ期シ大正九年三月ヨリハ進テ主要市場小樽外六十一ヶ所ニ亘リ月末在庫數量ヲ調査シ之ニ横神市場ノ在荷數量ヲ附記シテ發表報告シ此方針ヲ持續シテ以テ大正九年度ニ移リタリ例月報告ヲ了シタル總數量左ノ如シ

主要農産物毎月末在庫數量

十一月末ハ小樽外大ヶ所其後ハ小樽外二十ヶ所三月ハ小樽外六十一ヶ所

品名	十一月末現在	十二月末現在	九年一月現在	二二月末現在	三月末現在
粳米	五、八、〇五四	二〇五、三〇七	一、六〇、九七〇	一、五二、八〇二	二、四、三〇六
糯米	八、八、一九四	七、八、六六	六、八、八九	六、四、一八〇	二、一、三三四
大田大	六、二、八八〇	九、〇、八二	七、〇、三四八	六、四、一八〇	五、五、九九三
小納言	一、八、三八	九、〇、八二	三、〇、四一〇	一、八、四三三	一、九、五〇一
大納言	一、〇、六四六	二、二、四九四	七、二、六八	六、二、一七四	五、四、四二二
中福	五、四、七七	一、九、四四〇	一、五、九〇三	七、八、八九	一、六、〇五一
大福	二、一、二六	二、四、一〇一	八、四、四一	五、五、八四	六、九、八四
熊本	四、四、〇九	八、〇、五一	九、九、七四	一、四、〇三八	一、一、三〇〇
室蘭	一、六、三、五三	二、五、五、六三	二、〇、九、一〇	六、〇、二九六	五、九、五〇〇
手亡	一、七、七、六四	二、三、〇、一九	三、七、七、七三	二、五、九、〇一九	二、八、七、四四四
長鶉	七、九、〇〇	二、三、四、三六	八、四、五七	五、〇、四三七	二、三、四一九
丸鶉	七、九、〇〇	二、〇、一、八	二、六、七〇	二、一、七、三	四、四、四七
白丸鶉	七、九、〇〇	二、〇、一、八	二、六、七〇	二、一、七、三	四、四、四七

中長	三、四七六	三八、二五一	三七、八二六	五〇、五〇五	三九、五三七
金時	二六、〇五六	二七、六七七	二四、〇六〇	二七、五六〇	二二、四〇六
ビルマ	二、三〇八	七、六三五	五、三四〇	六、一五六	四、九八九
其他	四五、九九四	三五、八二八	五九、六六九	四四、五二九	九、九九九
青	一六七、三八	一九九、九〇五	二〇三、三三五	二〇一、五九四	三三、〇三八
小	二二、四一九	二五、一五七	二〇、四二二	一四、四二五	一三、一一一
大	三、一六五	三、一六五	九、五六三	一、一三五	四、九三二
裸	二一、五九九	一七、三四五	一一、九二八	一、六四五	一四、五三八
洋	七、一九五	五、九六六	四、三七二	九、〇二七	七、二〇三
和	一一、三四八	一一、五七三	五、六四三	五、七五三	二、六四五
春	一八、〇二九	二六、九九五	二五、一七八	一九、二四一	一八、六五七
亞	八五、九五四	一一、〇四五	一一、〇五三	一九七、九六六	一六七、九三八
蕎	一〇、〇六六	六、六九五	三、七七〇	五、四九九	一四、六三〇
玉		四八、六四八	三五、七三〇	三六、二八二	二二、四四九
其他		二七一、四六四	四二五、三九九	三四八、一八一	四七九、〇一六
末		五四一	六、九一七	四一、三四	一八、六四五
百	四八五、五三〇	一三三、〇五五	一五九、三四四	一三、七三四	一三五、五〇二
二百					

第二項 隨時ノ調査

隨時發現シタル農産界ノ重要問題ニ對シテハ道ノ内外ヲ問ハス其ノ機ヲ逸スルコトナク文書ノ照復又ハ職員ノ出張ニヨリテ調査研究ヲ遂ケ其結果ハ或ハ執務上參考ノ資トシ或ハ當業者ニ報告シ又ハ一般ノ注意喚起ノ料トシ或ハ又關係當局ニ陳情建議ヲ爲シ效果ノ徹底ヲ期シタリ而シテ戰後本道農産ノ輸出減退ノ傾向アルニ當リ内地市場ニ販路ノ開拓擴張ヲ圖ルカ爲メニハ更ニ進テ周到ナル調査ヲ要スヘキコト多クアルヘシト雖モ是ハ要スルニ人ト金トノ問題ニ屬シ事業開始以來日淺キ本會カ其責務ヲ果シ能ハサリシヲ遺憾トス更ニ又本道對内地ノ輸送狀態並取引關係海外輸出ノ消長並其因果關係産地ノ生産及需給狀態特ニ馬鈴薯澱粉ノ新用途並販路擴張策等ニ關シテモ亦然リトス只重要農産物ノ二三品種ニ關シテハ其ノ生産消費ノ状態ニツキ系統的ニ調査ヲ試ミツ、アリ其ノ成績ニ關シテハ他日發表ノ機會之レ有ルヘシ左ニ年度内調査ヲ遂ケタル要目並ニ之カ處理ノ概要ヲ記スヘシ

甲) 道内ニ於ケル調査

(一) 生産検査施行ニヨル封緘紙脱落ノ狀況及取引上ニ及ボス影響

(本件ニ關シテハ總會ノ決議ニヨリ當局ニ建議シタリ)

(二) 澱粉及主要農産物ノ生産費概要

(會報ニ登載發表シタリ)

- (三) 十勝方面ニ於ケル農産輸送上滞貨ノ事情
- (四) 白米ノ検査施行ニ伴フ利害關係

(何レモ執務上ノ参考トセリ)

- (五) 未碎澱粉ノ移出ニ關スル利害並移出検査施行ノ實際

(本件ハ總會ノ決議ニヨリ其筋ニ建議シタリ)

(乙) 道外ニ於ケル調査

- (一) 朝鮮滿洲ニ於ケル農産物作付及作柄ノ狀況
- (二) 朝鮮南北平安道ニ於ケル作柄
- (三) 本道移輸出農産物ノ包裝ニ關スル需用地ノ批評
- (四) 齋多鄭家屯等ニ於ケル雜穀集散狀況
- (五) 門司下關ヲ中心トシテ道産雜穀澱粉ノ消化狀態
- (六) 神戸、横濱、大阪、東京ヲ中心トシテ同上
- (七) 朝鮮ニ於ケル馬鈴薯澱粉ノ生産狀況

(以上ハ何レモ其結果ヲ謄寫又ハ印刷シテ敏速ニ報告シ當業者ノ参考ニ供シタリ)

右ノ外英國ニ於ケル豌豆菜豆ノ需要狀況(外務省通商局發表)米國カリフォルニア州ニ於ケル菜豆(加藤

木保次氏報告)米國ニ於ケル豆類ノ生産ト分布(渡邊政三氏報告)等ハ何レモ其筋ノ報告ヲ受ケタル有益ナル參考資料ナルヲ以テ隨時印刷ニ附シ普ク之ヲ頒布シタリ之ヲ要スルニ本年度ハ事業開始日尙淺ク其ノ成績觀ルヘキモ尠キハ極メテ遺憾トスル所ナリ

第三節 移輸出ノ概況

大正元年度ニ於テ五十四万七千二百六十町歩ヲ唱ヘタル本道農耕地ハ世界ノ大戰ニ刺激セラレ年々異常ノ増加ヲ示シテ大正七年度末ニ迫ヒテハ實ニ七十九万五千町歩ニ上リ同年度農産物ノ總價格亦約一億四千九百余万圓ノ多サヲ算スルニ至リ就中雜穀殊ニ豆類及ヒ馬鈴薯等ハ主要ノ生産物ナルカ故ニ豆類澱粉移輸出ノ増減盛衰ハ本道經濟上等關視ス可ラサルナリ

今本年度輸出ノ狀態ヲ觀ルニ總計二億二千四百七十六万三千四百六十五斤價格三千六百三十四万五千五百六十八圓ニ達ス内澱粉ハ六千四百三十四万五千七百七十七斤價格一千六百三十三万二千九百四十七圓ニ上ル仕向先ノ大勢ヲ觀レハ豌豆ハ英國ノ三千三百余万斤ヲ最高トシ合衆國佛國之ニ次キ菜豆類ハ合衆國ノ六千九百六十九万余斤ヲ最多トシ佛國ノ三百九十余万斤英國ノ百四十三万余斤順次之ニ次ク而シテ澱粉ハ英國ノ三千六百六十九万九千斤ヲ首位トシ佛國ノ二千二十七万余斤合衆國ノ三百三十九万余斤印度ノ二百二十八万余斤順次之ニ亞ク

以上八年度輸出ノ總額ヲ以テ之ヲ前年度ニ對比スレハ其ノ數量ニ於テ二億二千七百六十九万三千五百三十斤價格ニ於テ三千六百八十一万九千三百六十九圓ノ減少ヲ見ル蓋シ斯ノ如キハ其ノ要因多々アルヘシト雖モ大正七年度下半年期以來構和問題愈々具體化シテ休戰トナリ次テ平和恢復ニ及ヒテ彼我商人間ノ形勢觀望ハ食糧品ノ價格制限海外航路ノ依然タル運賃高及ヒ對外爲替關係等ト相俟テ輸出ヲ抑制シ取引不振ヲ來シタルニ因ルニ非ルカ左ニ本會調査ノ大正五年度以降ニ於ケル輸出増減ノ數量ヲ掲ケン

大正五年以降輸出増減調 (各税關ノ統計ニヨル)

比較・増減	大正五年度		大正六年度		大正七年度		大正八年度								
	計	澱粉	計	澱粉	計	澱粉	計	澱粉							
増	一七三、七二七、一五七斤 二〇、〇七、一六八斤	四七、七五五、二七七斤 四、七四、六〇斤	九一、二〇六、九〇〇斤 一八、三九〇、七六六斤	一、四〇三、七六三斤	増	一八七、五三三、九九九斤 三三、七五、九三三斤	一三九、四七七、七四九斤 二四、五〇四、二〇三斤	減	二二七、六九三、五三〇斤 三六、八一九、三六九斤	一六〇、四一七、六八八斤 二四、七七、六二二斤	一六六、五五六、六四七斤 二八、〇〇四、二八二斤	三三三、〇一九、二三二斤 四八、六五、七三四斤	一六〇、四一七、六八八斤 二四、七七、六二二斤	二六四、三四五、七七七斤 一一、六三二、九四七斤	二二四、七三三、四六五斤 三六、三四〇、五六八斤

尙ホ本年度輸出品ノ種別數量及價格ヲ各税關別ニ見ルニ左ノ如シ

計	雜		穀		馬鈴薯粉	澱粉
	青豌豆	豆	菜豆	大豆		
	價	數	價	數	價	數
橫濱	一四、九〇一、〇八九斤	二、六六二、七八二斤	三、五八〇、七九六斤	四、九〇四、六二〇斤	二、八九五、六一〇斤	一八、五三三、二四一
神戸	三、七六三、三三三斤	五、七八〇、一五六斤	一、四二一、三六六斤	二、四七三、七三三斤	一、二八四、九六五斤	七、六六三、六八七
大坂	九〇、四五五、一〇八斤	一四、三九三、三三三斤	一〇六、七三三、八二九斤	一五、二九〇、三九八斤	二、四六六、五九〇斤	五、五四、〇四一
門司	一、〇八三、〇八二斤	一七一、四四六、四二四斤	二九一、四二五、三九八斤	三九、八八〇、〇〇〇斤	七、七三三、〇六八斤	一三三、六六八
長崎	一四八、二五八、二五八斤	二二、二二五、二二五斤	三、八五六、七三六斤	七、七三三、〇六八斤	三、二六三、九三九斤	四、九八一
函館	四〇五、三九一、〇〇四斤	七〇、七九八、八七〇斤	九三七、〇二八、〇二八斤	一一四、四五七、二五三斤	六〇六、一四六、四四四斤	九〇、九三三、一六五
計	一、〇〇四、五五七、五五七斤	一八、七〇〇、七九七、七九七斤	一、〇〇四、五五七、五五七斤	一、〇〇四、五五七、五五七斤	一、〇〇四、五五七、五五七斤	一、〇〇四、五五七、五五七斤

抑モ雜穀澱粉ノ海外輸出品トシテ著シク擡頭シ來リタルハ大正元年度以降ニシテ爾來年々増加ノ趨勢ヲ迎リ來レルニ恰モ歐州戰亂ノ勃發ニ逢ヒテ海外ノ需用頓ニ増加シ販路亦擴張セラレ大正六、七年度ニ於

テハ船腹ノ缺乏運賃ノ騰貴等輸送上幾多ノ障碍アリタルニモ拘ラス前表示スルカ如キ急激ナル輸出増加ヲ見タリ然ルニ本年度ニ於テハ前述ノ如ク不振ノ商狀ヲ馴致シ急轉直下約半減ノ結果ニ了リタルハ前途悲觀ノ想ナキニ非レトモ一面其ノ仕向先ヲ見ルニ東西半球ノ各方面ニ涉レルニ想到スルトキハ聊カ人意ヲ強スヘク其ノ將來ニ對シテハ深ク研究調査ヲ要スヘキ重要問題タルヲ失ハサルヘシ

次ニ本年度内地へ移出ノ趨勢ヲ見ルニ三百五十八万九千五百八十八個ニシテ内五十万一千七百二十一個ハ澱粉ニ屬ス今最近五個年間ニ亘ル移出ト海外直輸出ノ統計ヲ見ルニ左ノ如シ

年次	内地移出ノ雜穀澱粉	海外直輸出ノ雜穀澱粉
大正四年度	四、四五八、四一八個	一四〇、二六一個
大正五年度	三、五七二、三九六	四二二、三二八
大正六年度	四、一三九、二〇六	七七六、一〇五
大正七年度	三、九五七、八六七	六五七、六七二
大正八年度	三、五八九、五八八	三七〇、四五六

即チ前年度ニ對比シテ内地移出ニ三十六万八千二百七十九個直輸出ニ二十八万七千二百十六個ヲ減シタルハ要スルニ商況不振ノ結果ト見ルヘキカ尙ホ本年度移出ノ主ナル仕向先ハ神戸ノ六十九万五千七百七十一個ヲ首位トシ横濱ノ五十九万余個東京ノ五十八万余個之ニ次キ大阪、伏木、名古屋、四日市等順次

之ニ次キテ何レモ十万个以上ノ仕向ケアリ而シテ神戸、横濱等ニ仕向ケラレタル大部分ハ海外輸出ノ中繼タルヘク東京其他ニ仕向ケラレタルモノハ主トシテ内地需用ニ供セラレタルモノト見ルヘキカハ想フニ今後海外ノ輸出戰時ノ好況ヲ再現シ難シトセハ内地移出ニ就テ充分其對策ヲ講スルハ亦斯業者ノ輕視ス可ラサル重要問題ナルヘシ尙ホ移出ニ關スル精細ノ數字ハ載セテ卷末統計表ニアリ就テ参照アラシコトヲ望ム

第四節 商況一斑

輸出向雜穀及澱粉ハ前年度末ニ於ケル暴騰暴落波瀾曲折ノ後ヲ受ケテ本年度ヲ遡ヘ四月中英國政府食糧管理令ノ撤廢米國市場ノ買ヒ進ミ等ニテ市況頓ニ活氣ヲ呈シ一昂一低アリ六月ニ入り歐米航路船ノ運賃高及船腹不足等ノ惡材料ハ漸次人氣ヲ挫キ八九月ニ至リ外國市場ニ於ケル相場ノ漸落爲替相場ノ暴騰運賃ノ引上等各種ノ懸念累ヲナシテ輸出大手筋ノ自重ヲ促シ市況沈靜ニ傾キ時々小波瀾ナキニアラサリシモ十月以降輸出益不況ノ爲メ相場亦沈靜狀態ヲ持續シタル儘翌年度ニ入レリ一面内地向雜穀及ヒ菜豆類ハ米價ノ強硬ニ連レテ始終好況裡ニ經過ス特ニ大小豆ニフリテハ最近嘗テ聞カサリシ高値ヲ現ハシ菜種亞麻種等製油原料亦比較的好況裡ニ出廻品全部ノ移輸出ヲ見タルカ如シ左ニ各品種別毎月商況ノ概觀ヲ述ヘン

一、大豆▲四月内地需要方面ノ無消息ト共ニ取引閑散小粒五等最高八圓三四十錢秋田五等八圓五六十錢最低小粒五等八圓秋田五等八圓一二十錢ニテ▲五月滿洲大豆ニ對シ歐洲方面ヨリ買氣ヲ注キシ爲メ神戸市場ノ活躍ハ延テ當市場ニ及ホシ供給力ノ不足ト相俟テ人氣益々昂リ秋田五等八圓八十錢ト上伸シ相場ハ猶高値ヲ迪ラン形勢▲六月ニ入り注文殺到シテ秋田五等九圓五十錢小粒五等九圓三十錢ト上進ス▲七月ニ入りテハ秋田五等十一圓ト手堅キ振合ヲ示シタルモ材料拂底ノ爲メ商談進捗セズ▲八月品切レニテ各地ノ注文ニ應スル能ハス休商同様ノ經過ヲ迪リ五等十一圓乃至十二圓處ヲ往來シ▲九月古品殆ント拂底ノ市況ナルモ高値ハ何レモ氣乘薄ニテ小粒五等十一圓五十錢ヲ高値ニ九圓七十錢ト下落セルカ下旬ニ入り滿洲產ノ強硬米價天井知ラスノ風情ナルト產地ニ於テノ賣惜シミ彼是相俟テ十圓八十錢ト強含ミ▲十月秋田五等十圓八十錢小粒五等十圓五十錢内外ノ小往來ニテ閑散▲十一月引續キ出廻リ抄々シカラス滿洲物ノ昂騰ニ連レ秋田五等十二圓四十錢小粒五等十二圓二十錢ト手堅ク▲十二月滿洲物ハ依然頑強ノ結果一時前月同様ノ高値ニ取組マレタルカ其後四圍ノ事情不勢ニテ軟走シ秋田五等十一圓六七十錢見當ヲ以テ中旬ニ入り滿洲大豆昂騰ノ報ニ相場稍上申ノ氣味アリシモ格別ノ活氣ナク保合年替リヲ俟チ▲大正九年一月倫敦銀塊ノ高値カ滿鮮物ニ好響ヲ與ヘ俄然氣勢ヲ高メテ秋田五等ノ十二圓一杯ヨリ三十錢ト手堅ク小粒五等ノ十二圓十錢ト賣買サレ其後益高走リ小粒五等十二圓六十錢秋田五等十二圓八十錢迄上進ス遂ニ小粒五等十二圓八十錢ヲ稱ヘタルモ米價ノ低落カ當面人氣ヲ殺キ漸落秋田五等ノ十二圓三

四十錢ノ唱ニテ▲二月中旬漸々上鞘ヲ迪リ▲三月中旬秋田五等十二圓八十五錢下旬ニ入り秋田小粒トモ五等十二圓三四十錢見當保合ヒニ經過セリ

一、小豆▲四月前年度末五等十一圓ノ高値ニテ手堅ク保合ヒツ、本月ニ入りタル本品ハ目先需要期ヲ控ヘ品薄ノ爲メ手持筋頑強ニ構ヘ時期待チ風情ナリシカ米價ノ反撥ニ氣勢ヲ添ヘ漸騰歩調ヲ現ハシ十一圓七十錢ト上伸中旬十一圓三四十錢ト下落シ下旬ニ至リ手持チノ態度強硬ニテ十一圓五十錢ト持直ス▲五月ニ入り無碍ナル高値ニ需要地ノ入注減退セルモ供給力甚タ貧弱ナルヲ以テ市場ハ内地ノ不振ヲ顧ミス人氣益々強ク五等十二圓九十錢ト保合ヒ▲六月各地ノ需要一齊ニ加リ一面在荷ノ減退著シク五等十三圓三十錢ヲ安値ニ十三圓六十錢ヲ高値トシ保合ノ商狀ヲ續クルコト二旬余月末ニ近ツキ全國ヲ通シテ拂底ノ度甚シク遂ニ十四圓ト暴騰ス▲七月阪神市場ニ於ケル砂糖類ノ激騰賣行極メテ不活潑ナルモ產地高ノ關係上益々高値ヲ迪リ檢五等十六圓テフ珍值ヲ現ハシ▲八月四圍ノ事情ニ支配サレテ註文極メテ稀ナリシカ材料拂底ノ場合相場ハ多大ノ變化ナク檢五等十五圓六七十錢保合ヒ其後賣買行ハレズ人氣ハ早クモ新物ニ移リタル折柄砂糖ノ暴騰ハ賣行ヲシテ一層不振ナラシメ十五圓ト下落セリ▲九月下旬ニ入り弗々新物ノ入荷アリ水害ニ産額減退ヲ氣構ヘ產地ハ何レモ強化セルニ茲許又米價高ノ折柄受渡期日ノ接近ニ先賣筋ハ稍狼狽的ニ買進ミシ爲メ新五等十五圓五十錢ヲ安値ニ十六圓八十錢迄昂騰ス遂ニ賣入十七圓ヲ唱フルニ至レリ▲十月現物ハ五等十四圓ヲ最安値ニ十六圓五十錢ト爆發ス下旬突然十五圓五七十

迄鏡棒下ケノ儘保合ヒタリシカ月末ニ至リ水害ノ爲メ産額減少セルト共ニ品質ヲ痛メ傍期待セル出廻ナク相場ハ一日間ニ百丁方昂落アリ其變化著シク結局五等十六圓二十錢内外ニテ越月▲十一月出盛リノ月ナレハ商狀軟化スヘキ等ナルニ不拘水害貨車配給不圓滑等ニテ廻着品減少シ五等十五圓廿五錢ヲ安値ニ引續キ強健ナル商調ヲ辿リテ相場ハ五等十六圓八十錢ト暴騰シ賣買取組高亦未曾有ノ額ニ達シ其受渡困難ノ状態ニ陥ルニ至ルヤ雜穀專屬仲買人組合役員會ノ開會トナリ混乱ノ局面ニ對シ評決スル所アリ其ノ結果檢五等十五圓八十錢内外ニテ賣買混沌裡ニ終リ▲十二月前月來波瀾ヲ重ネタル解合問題解決セス商談不進檢五等十六圓五十錢保合月末幾分軟化十六圓弱保合▲一月昨年來需要ニ過ノ跡トテ人氣添ハス自理安歩調下旬ニ至リテ品不足ト内地ヨリノ情報高カリシトニ連レ遂ニ檢五等十七圓三四十錢唱ヘトナリタルモ余リノ高値ハ自然見送りノ結果十七圓一杯小口物十六圓二十錢ト暴落シ▲二月前月來稍不振ノ商狀ヲ持續シ初旬五等十五圓九十錢ト生レ中旬十六圓五十錢ト手堅ク漸次強化シ月末ニ至リ五等十六圓八十錢ヲ唱ヘシカ具體的商談成立セス▲三月茲許荷主ノ態度益強硬ナリシカ何分内地筋ハ高値實需ノ添ハサル爲メカ注文抄々シカラス商狀至極閑散月末ニ至リ檢五等十六圓ト出來シモ漸次下押十五圓八十錢處唱ヘラレ至テ沈靜裡ニ越月セリ

一、青豌豆▲四月前年度末海外事情ハ稍良好ナル氣分ヲ漂ハセタリト雖モ未タ鮮明ナル好報ヲ齎ラスニ至ラス◎十圓八十錢ニ生レ澱粉手亡等ノ好調ニ促サレ漸次向上十二圓二十錢ト一時ノ安値ニ比シ約五百

丁ノ恢復ヲ見セ月末ニ至リ英國政府管理令撤廢ノ樂觀見越ヲ加味シ愈々勃發商情ヲ呈シ十二圓八十錢ト上進ス▲五月一日千秋ノ思ヲ以テ待侘ヒタル英政府管理令撤廢ニ漸ク愁眉ヲ開キタル斯界ハ愈向上ノ機運ニ際會スルモノ、如クok一級十二圓八九十錢ヨリ漸進的歩調ヲ辿リ多少ノ反動引緩ミアリシモ遂ニ十四圓五十錢ヨリ中旬十七圓八十錢ト昂進シ月末ニハ十八圓ノ關門ニ奔騰シ▲六月海外ノ好況ト大手筋ノ猛烈ナル買進ミニ益々上伸シテ十八圓四十錢ノ高値ヲ現ハシタルモ歐航船腹ノ不足ハ輸出大手筋ヲシテ冷靜ニ復サシメ十六圓五六十錢ヲ中心ニ持チ合ヲ續ケ二十五日ニ至リ獨逸講和調印確定ノ報ニ接シ幾分硬化シタルモ運賃高船腹不足等ノ惡材ノ爲メ行惱ミ且ツ倫敦市場ノ安報ニテ人氣惡化シ十六圓七十錢ノ相場ニテ越月ハ七月ニ入り一時十七圓四十錢搦ミノ相場ヲ現出シタル事アリシカ四圍無材料ノ爲メ沈靜ノ儘商勢振ハス一級十六圓四十錢ニ下落▲八月對外爲替相場暴騰ノ打撃船運賃ノ懸念累ヲナシ市況沈靜ナリシカ新古端境期ニ際シ高含ミノ高情ヲ示セル折柄手亡掉尾ノ活躍ニ刺戟セラレ一時一級十七圓四十五錢ノ高値ヲ現ハシタルモ手亡ノ暴落ニ忽チ十六圓臺ニ下落シ其後輸出益々不振人氣新物ニ集中シテ拂底ヲ叫ハレシ現物ハ却テ剩餘ヲ見ルニ至リ下落ヲ累ネ月末ニ及ヒテ倫敦相場暴落ノ報ニ接スルヤ爲替相場ノ關係ト相待テ現物ノ十三圓危ク▲九月ニ入り一級十二圓七十錢ニ生レ尙軟調ヲ含ミシカ海外高ヲ見越セル大手ノ買進ミニ十五圓二十錢ト上伸セルカ突如英國政府ハ價格制限ヲ爲シタリテ飛電アリテ人氣頗ル動搖シ市況混乱十四圓ト暴落ス▲十月益々不況ニシテ一級十四圓十錢ト保合ヒシカ漸落歩調ニテ

遂ニ十三圓三十錢ト低落中旬十四圓四十錢ト上進シタルモ輸出禁止説ノ傳ヘラル、ヤ人氣萎靡シテ賣買閑散相場漸落シテ十三圓十五錢ト下押シ▲十一月ニ入り一級十二圓九十錢ヲ安値ニ一時十五圓ト昂進シタルモ對歐爲替關係累ヲナシ伸力鈍ク月末十四圓一二十錢邊ヲ往來シ▲十二月歳末關係旁々不味ノ傾向アリ一級十四圓廿錢ヲ高値ニ十三圓三十五錢保合ノ儘新春ヲ待チテ進退センノ情勢ニアリキ▲一月初手合セハ一月限十三圓八十錢ト出來セルモ漸落歩調ヲ迎リテ月末現物一級十二圓ト下押シノ儘越月▲二月前月來自理安ヲ迎リ成行一級十一圓四十錢ヲ高値ニ十圓七十錢處持合▲三月海外輸出ハ當分恢復ノ見込ナク人氣惡化檢五等十圓二十錢見當唱ヘラレ中旬ニ移リテハ株式ヲ始メ米綿糸生糸等ノ財界ノ動搖ヲ來シ由來不勢ニノミ傾キテリシ本品ハ四面弱材料ノ包圍ニ逢ヒ遂ニ一級十圓臺ヲ割リ一氣ニ九圓臺割リノ八圓六十錢ト大慘落ヲ演シ極メテ不況ノ儘越月セリ

一、小手亡豆▲四月前年度末不況ノ跡ヲ受ケ底意軟弱一級九圓四十錢ヨリ九圓ニ漸落シタルモノノ北米方面ノ事情稍鮮明トナリ多少トモ買材ヲ齎ラシ遂ニ十圓五十錢ト昂騰セルモ中旬以後漸次軟化シテ又九圓七十錢ト陥落セシカ月末ニ至リ又々十圓一二十錢ノ相場トナリ▲五月ニ入り米國ノ買ヒ進ミ愈々事實トナリ相場ノ上進ヲ促シ一級十圓五十錢漸次昂進シテ月半ニハ十三圓七十錢ト一般ノ理想値ヲ突破シタルモ賣物續出反動的ニ暴落シテ結局十三圓三十五錢保合下旬ニ入りテハ人氣頓ニ衰ヘ十一圓七十錢ト軟走シテ越月▲六月一級十一圓五十錢ト生レ又モヤ禁輸説ノ惡材加ハリ又澱粉ノ暴落等ニ牽制セラレテ下落

ヲ重ネ十圓十錢ヨリ十圓二三十錢内外ヲ以テ越月▲七月漸落ヲ續ケ一時一級九圓六十錢ノ安値ヲ現ハシタルモ其後對米輸出好況ヲ呈スルニ至リ漸々昂騰十三圓三十錢ヲ最高値トシテ人氣引緩ミ十二圓八十錢保合越月▲八月ニ入りテ一躍十五圓九十錢ト暴騰シタルカ又忽チ反動的暴落シ北米線運賃ノ漸騰其他ノ惡材料ヲ加ヘテ一氣十三圓ニ奔落一高一低ヲ繰返シテ遂ニ十二圓ト暴落シ▲九月一級十一圓五十錢ニ生レ一時十二圓ト上伸セルヲ又々十一圓三十錢ト下押一高一低十二圓二十錢前後ノ成行ニテ越月▲十月漸次軟調ヲ迎リテ▲十一月新物ノ品質粗惡出廻不足等ノ結果引續キ閑散相場亦變化ナク一級十四圓五十錢ヲ高値ニ漸次下押シ十三圓七八十錢ニテ沈靜裡ニ越月▲十二月四圓ノ不勢ニ人氣引立タス只裾物ニ對シテ四圓五七十錢見當ヲ以テ商談成立スルノミ▲一月裾物ハ引續キ商談アリ不合丙四圓六十錢ト出來ヲ始メトシ連日昂騰五圓八十錢ヨリ六圓ヲ唱ヘラレタルカ月末ニ至リ反動モ加味シテ五圓六十錢見當トナリ一級品ハ當限十三圓五六十錢ノ氣配ナリシ▲二月裾物ハ例ニヨリ好況ニテ丙五圓五十錢ヨリ月末ニ至リテハ丙五圓九十錢ヨリ六圓一杯一級品ハ十二圓見當ニテ越月▲三月一般經濟界不況ノ爲賣買更ニナク相場ハ奈邊ニアルカ捕捉シ難キ狀勢ニテ上旬ノ成行一級十一圓八九十錢處廣ク唱ヘラレタルカ中旬以降人氣益々惡敷遂ニ十圓臺割リ間モナク九圓モ大臺割ノ八圓十錢ト大暴落ヲ演シ月末多少引返シタルモ伸力添ハス八圓四五十錢唱ニテ月ヲ終レリ

一、菜豆各種▲四月金時、大福、鶉豆等ハ全然内地本位ニ化シタルモノ、如ク金時ハ四等最高八圓七十五

錢最低七圓七十錢大福ハ賣物拂底ニテ纏マリタル商談ナク四等九圓五六十錢搦ノ相場ニアリ中長鶉ハ最高四等七圓七十錢最低七圓▲五月大福賣物不足ノ爲メ閑散相場ハ四等九圓七八十錢搦ミ金時市況閑散相場ハ四等七圓三四十錢ヨリ七圓七八十錢ノ間ヲ往來シ中長鶉ハ檢四等七圓六七十錢保合ヒ長鶉ハ米國再度ノ活況ニテ上伸ノ傾向ヲ帶ビ檢四等六圓八十錢ヨリ八圓ニ暴騰シ下旬ニ入りテハ九圓二十錢搦ミノ相場ニアリビルマ隱元小豆ノ高移ニ連レ手堅ク五等七圓六十錢ト一部商談アリタルカ品拂底ニテ休商同様ノ閑散▲六月金時最高檢四等八圓五十錢ヨリ最低七圓六十錢成行委セノ市況閑散大福亦市況閑散ニシテ四等十圓ヨリ漸落八圓六十錢乃至八圓七十錢ノ成行長鶉亦不況ニテ四等九圓五十錢ヨリ漸落シテ七圓三十錢ニ及ビ月末ニハ稍硬調ヲ示シタルモ伸力ナク七圓七八十錢成行相場ナリ中長鶉檢四等七圓二十錢ヨリ漸落シテ相場ハ不合格トノ區分認メ難キ不勢裡ニ六圓七八十錢搦ミ成行ニテ總月▲七月米國筋ノ買氣ヲ注カレシ、大福ハ一般色豆ノ沈靜ナルニ似ス好況ヲ呈シ檢四等十圓迄買進マレタルモ其後亦々軟勢ヲ迎リ九圓五六十錢持合ヒ閑散中長鶉買更ニナク人氣漸次軟化シ四等七圓七十錢搦ヲ以テ閑散裡ニ長鶉豆檢四等七圓五十錢前後保合ヒシカヒシカ月末更ニ上伸八圓三四十錢見當成行ニテ金時一般ニ不況ノ場合ニ連レ檢四等七圓前後保合ヒシカ月末七圓八九十錢ト上伸ス各品トモ大ナル變化ナク越月▲八月金時品枯ノ場合トテ四等八圓三十錢迄上伸セシモ其後市況軟化シ遂ニ七圓迄下落セルカ新物走リハ御祝儀的ニイ檢物十圓ト取引モラレ大福四等

十圓七八十錢ノ見當ナリシカ其後内地需要著シク減退シ九圓見當ノ成行ニテ閑散長鶉米國筋ノ買進ミニ四等八圓五十錢ヨリ九圓五十錢ト昂騰セルモ市況漸々惡化シテ四等八圓ト下落シ中長鶉月初メ長鶉高ノ刺戟ヲ受ケ四等七圓七十錢ヨリ八圓迄上伸セルモ其後著シク需要減退シ四等六圓七十錢見當迄下落セリ各品種共砂糖暴騰ノ影響ヲ受ケ内地筋需要ノ減退シタルニ因リ漸落歩調ヲ迎レルモノカ▲九月大福殆ント相手次第ノ商情ニテ四等八圓五十錢乃至九圓成行相場ナリシカ產地ハ雨害ノ爲メ品痛ミヲ生シタル振合アリトテ頗ル手堅ク新五等十四圓四五十錢ヲ唱フルニ至ルヤ古品亦生色アリ九圓五十錢見當リ迄上伸金時新物五等十圓七十錢中長鶉新五等九圓三十錢ト賣買アリ長鶉ハ在荷殆ント拂底相場ハ新五等十圓六七十錢古品四等八圓五十錢ノ成行ナリシ▲十月金時四等十一圓前後保合下旬ニ入り人氣消沈軟調ヲ迎リ九圓七十錢ト下落ス賣買薄大福古品ノ賣買絶無中長鶉四等十圓三十錢見當ニテ下旬ニ入り他品ノ軟化ニ連レ引緩ミ八圓十錢ト下押シ又九圓ト上伸セルモ金時ノ軟化ニ連レ商談尠ク八圓七八十錢見當ニテ出廻待テノ風情長鶉新物ハ四等十一圓五十錢ヨリ十二圓ト上伸シ下旬ニ入り金中ノ不勢ト共ニ氣配崩レ十圓迄下押シタルモ出廻薄ノ事連賣買閑散ナカラ四等十圓七八十錢保合ヒ越月セリ▲十一月大福四圓ノ事情不味相場ハ四等十四圓五十錢ヨリ漸次下値ヲ迎リ十三圓七十錢ト下押セルカ月末ニ近ツキ十四圓二三十錢保合金時五等九圓五十錢ヨリ十圓前後保合長鶉ハ相場變化ナク五等九圓八十錢ヲ高値ニ九圓五六十錢保合中長鶉ハ五等八圓五六十錢保合ノマ、閑散ナル商狀ヲ以テ下旬ニ入り幾分強合ミ五等八圓八十錢保

合ヒ越月セリ▲十二月大福五等十四圓三十五錢保合ノ姿ナリシカ年末關係旁々軟化シ月末十三圓六七
 錢乃至十三圓三十四錢見當沈靜ナル商狀金時賣買杜絶漸落ノ形勢ニテ五等九圓二十錢ノ安値ヲ見セタル
 カ月末必要筋ノ買物ニ九圓七十錢ト出來長鶉市況沈靜五等九圓七八十錢内外保合中長鶉端物以外賣買ナ
 ク五等八圓七八十錢ヨリ漸落シテ八圓二三十錢見當ノ保合越年セリ▲一月金時米國筋幾分引合セノ報ア
 リ輸出向上品不足ト相俟テ五等ハ十圓五十錢ト唱ヘラレタルモ底意軟弱月末五等十圓二三十錢ト下押ノ
 形勢大福市況閑散五等十四圓三十錢ト一部手合アリ中長鶉五等八圓十錢ヨリ八圓三十五錢裾物ハ五等ニ
 比較シ割高ノ有様ニテ不合乙ノ八圓十錢ト手堅ク好値出現シタルモ四圓ノ關係上漸落ニ傾キ長鶉月初メ
 五等ノ九圓八九十錢處ナリシモノ月末ニ至リテ不合甲ノ十圓五十錢ト上伸五等ハ品不足ニテ十二圓以上
 ヲ唱ヘタルカ入荷激増ト共ニ漸落シ五等ノ十一圓一杯ト稍軟調九鶉五等ノ十圓二三十錢廣ク唱ヘラレ市
 況香味ナク閑散ナリシカ下旬長鶉ノ好況ニ連レ本品モ底意頑健ニ維持シ五等十圓八九十錢ト上伸シタル
 カ月末他品ノ不味ト共ニ下押又々五等ノ十圓一杯ト云フ不況ニ終レリ▲二月大福ハ月替リ勿々五等ノ十
 四圓ドタト出來セリ其後之トイフ商談モナク他色豆ノ不況ヲ眺メテ人氣引立タス五等ノ十三圓七八十錢
 小住來不合物ハ丙ノ六圓ヨリ六圓二十錢ト比較的圓滑ニ商談成立セリ金時五等ノ十圓三四十錢見當賣買
 閑散ナリシカ月末ニ至リテ人氣稍引締リ五等十圓八十錢不合甲九圓八十錢丙六圓五十錢ト相當氣強キ商
 勢長鶉商内至テ閑散相場ハ五等九圓八九十錢不合裾物ハ相當ニ賣買サレ甲九圓五十錢乙八圓五十錢丙七

圓七十五錢ト出來中長鶉賣物不足トテ具體的商談整ハサルモ氣配概シテ小堅ク保合五等八圓七八十錢ヨ
 リ九圓一杯搦ノ唱ニ不合丙ノ七圓十五錢ヨリ三十錢月末七圓處小往來▲三月大福四等十三圓八十錢五等
 十三圓五十錢ト出來シタルモ中旬以降鈍狀ヲ呈シ相場次第ニ軟化シ月末ニ入りテハ遂ニ十圓ヨリ又一段
 下押シ五等九圓五十錢ト崩落セリ金時五等十圓七十錢ト好値持續シ旺盛ナル手合ヲ見タリシカ中旬以降
 米價ノ崩落ト共ニ自理安歩調ニ移リ五等ノ十圓二三十錢不合甲ノ九圓六十錢ト下押シ保合ノ儘越月セリ
 長鶉本品ハ上物賣買殆ントナク裾物専門五等ノ十圓八九十錢不合甲ノ十圓乙ノ八圓八十錢丙ノ七圓七十
 五錢ト弗々手合セ行レタルモノナリ安歩調ニテ五等十圓四五十錢甲九圓六七十錢丙七圓三四十錢保合中
 長鶉内地筋ノ買氣惡シカラス特ニ屑物好況ニテ甲ノ八圓七八十錢乙ノ六十錢丙ノ七圓七八十錢處出來シ
 タルモ漸次人氣軟走シ月末ニ入りテハ相場益軟弱ニテ不合乙ノ七圓九十錢丙ノ四十錢ト出來シ頗ル沈靜
 ナル商情ナリシ

一、菜種▲四月品拂底ト海外ヨリノ入注ヲ傳フル等ニテ活氣アリ洋四等十一圓四十錢和四等十圓四十錢
 ヨリ洋四等十一圓八十錢和四等十圓八十錢ト上昂▲五月材料益々稀薄トナルト共ニ植物油ノ海外輸出好
 況ナルニ連レ漸々硬化シ遂ニ洋四等十五圓ノ高値ヲ持續シ▲六月船腹不足且ツハ輸出不引合旁軟調ヲ含
 ミ一時洋四等十三圓ト奔落セルモ押目ハ各地製油家ノ買進ミトナリ材料ノ減退ニ更ニ氣勢ヲ高メ又々十
 四圓三十錢ト昂騰セリ▲七月新種時季モ近ツキ需要地モ差迫リ買ヒ來ラヌ四圓ノ事情一時不振氣乘薄ク
 洋四等十四圓五十錢ニアリタルカ歐米ヨリノ注文照會アリ漸次上伸四等十四圓七十錢一方和種ハ產地漸

次鎌入ノ折柄中旬後小口物ナカラ出廻日ヲ追フテ活況ヲ呈シツ、アレト出鼻早々ノ事迎安値賣惜シク腰入レ買ハン手口モ無ク新四等十四圓二十錢搦時機待ノ風情ナリシ▲八月初メ洋四等十五圓三十錢ヲ高値ニ十四圓、十三圓八十錢ト奔落ヲ見セタルカ成行キ賣物ナク結局洋四等十四圓一二十錢前途高含ノ商狀ニテ▲九月ニ入ルヤ油界不振ノ影響ヲ受ケ漸落十三圓五十錢ニ下落セルモ中旬ニ入り輸出筋ノ買進ニ十四圓六十錢ト昂騰下旬種水相場ノ強硬ヲ見一商談毎ニ昂進ス遂ニ又十五圓ノ高値ヲ現出セリ▲十月引續キ買氣衰ヘス洋四等十五圓二十錢ヨリ漸次昂騰歩調ヲ迎リ四等十六圓三十錢迄上伸▲十一月漸次硬調ヲ帶ヒ洋四等十七圓三十錢迄昂騰シ下旬ニ入りテ内地注文稍薄レシモ猶四等十七圓一二十錢保合▲十二月製油界モ不振材料ノ不足ト相俟テ閑散ナル商情ニ終レリ相場ハ安値洋四等十七圓七八十錢ヨリ高値四等十八圓五十錢ト益向上ノ傾向アリ▲一月材料拂底ニテ目立タル取引ナシ那邊カ相場ナルカ殆ント捕捉スルニ由ナク洋五等ノ十七圓五七十錢見當ニテ下旬ニ移リ品益々不足トテ五等ノ十八圓三五十錢唱フルアリ然レトモ引續キ無商談至極閑散二三材料皆無ノ爲メ無商談ニ經過セリ

一、亞麻種▲三四五月材料殆ント拂底ノ場合ナレト植物油輸出ノ盛況ニ連レ注文殺到相場ハ四等八圓一二十錢ヨリ漸次昂騰四月ニ入りテハ十圓ト高値出現先高見込ニテ▲六月ニ入り人氣益々沸騰シ五等十一圓三十五錢ヨリ甲ハ十圓八十錢ト商談成立シタルモ何分品不足ニ十五六儀ノ小口ニ止マリ多少ノ纏マリ物アレハ五等ノ十二圓以上賣レ行クヘキ盛況▲七月產地ニ隠レタル殘品弗々出廻リツ、アルニ過キス小

口物四等十一圓五十錢前後閑散ナル市況ナリシカ月末製油筋ノ買氣良好ニテ十二圓ト上伸▲八月早魁ノ爲メ結實不良收穫減ノ聲ニ新物高見込ニアリテ賣側警戒四等十三圓前後保合閑散ナル商情ナリシカ英國政府調節策ノ發表ニ亞麻仁油ノ低落トナリ對外爲替相場高ニ輸出不振トナリ茲許市況日ニ惡化シ十二圓ト下落セルカ月末幾分引返ス▲九月四等十二圓五十錢持合ヒタルカ月末ニ至リ十二圓七十錢ト昂騰▲十月四等十三圓八十錢迄上伸ノ後十三圓乃至十三圓五十錢保合ニアリシカ下旬ニ入り十六圓ト一層ノ上伸ヲ見セ猶買氣惡シカラサル風情ナリシ▲十一月五等十三圓六七十錢唱ナルモ賣物少ク引續キ沈靜ナル成行ナリシカ月末ニ入りテハ十四圓八十五錢搦保合高含ミノ商狀ニテ▲十二月四圓殆ント無材料ノ場合時偶ノ小口物以外商談ナク四等ノ十六圓前後保合ニ變化ナク▲一月年明ケ早々ト材料薄ノ爲メ賣買閑散ナルモ五等十五圓八九十錢ヨリ十六圓見當保合▲二月三月在荷益薄ク商談殆ント皆無一般成行ヨリ相場ハ五等ノ十六圓五七十錢見當ナランカ

一、麥類▲四五月小麥在荷少ク殆ント商談ナシ相場ハ四等十圓搦ミ燕麥小麥同様ニテ相場ハ四等九圓七八十錢ヨリ十圓三五十錢區々大持合▲六月小麥需要ハ一部專業者ニ限ラレ時偶商談ヲ見ル位ニテ更ニ纏マリタル手合無ク相場ハ四等十圓五十錢搦燕麥材料拂底ノ姿ニテ手持者ハ依然高値ヲ主張シ四等十一圓五十錢ヨリ漸次昂勢ヲ迎リ十二圓五十錢ノ相場ニテ越月▲七月燕麥在荷拂底商談行ハレス出廻待チノ市況ニテ相場ハ四等ノ十三圓ヲ中心ニ上下五十錢ノ間ニアリ▲八月小麥收穫季ニ入り連日ノ好晴ハ干燥良

好ニシテ出廻リモ豫想ヨリ増加ノ趨勢ニアルモ相場ハ沈靜中旬迄四等十一圓五十錢保合下旬ニ入り人氣引緩ミ十圓五十錢見當ニテ越月燕麥古品拂底ト大麥高ノ場合トテ新物ハ好人氣ニ迎ヘラレ四等十一圓五十錢ヨリ十二圓ト上進セルカ出廻増加ト共ニ軟走シ九圓八十錢ト奔落▲九月小麥ハ保合ノ商狀ニテ中旬ニ移リ十圓三十錢ト稍軟化シタルモ月末四等十圓八十錢ト昂騰燕麥四等十圓乃至十圓五十錢ト保合タルカ水害大減收ヲ氣構ヘ茲許幾分手堅ク十一圓ト昂進セリ▲十月小麥米價高ニ硬化シ四等十一圓ヨリ十一圓八十錢ト上伸月末ニ入り材料ハ薄トテ目立チタル商談モナク▲十一月小麥四等十圓三十錢ヨリ十圓八十錢ト保合ヒシカ製粉安ニ連レ十圓ト軟走燕麥至極沈靜ナル商狀相場ハ五等十圓保合▲十二月小麥四等十一圓二三十錢保合ニテ商狀閑散燕麥實需不振ノ結果伸力ナク五等ノ十圓保合ニ越年▲一月小麥濠洲小麥ノ輸出禁止說事實トシテ現ハレ來ルヘキ模樣トテ五等ノ十二圓ヨリ十二圓三十錢ト昂騰燕麥初商內五等ノ十圓二十五錢ト手合セアリシノミニテ其後無商談相場トシテ值頃捕捉シ難ク月末ニ入り品薄トテ常用筋ノ買視キニ五等ノ十圓三十錢ロ檢ノ八圓六十錢ト手堅ク越月▲二月小麥一ノ商談ヲ聞カス相場ハ五等ノ十二圓一杯唱ヘ燕麥五等ノ十圓一杯ニロ檢八圓五六十錢處唱ヘラレシカ具體的取引ナク此邊小往來ノ姿ニテ閑散不況▲三月小麥先月來變化ナク市況頗ル閑散相場ハ五等ノ十二圓二十錢處唱ヘ燕麥五等ノ九圓八十錢小往來下旬ニ入り五等九圓七十錢ト出來シ稍軟味ヲ帶ヒ此邊保合ノ儘越月セリ

一、蕎麥▲四五月材料殆ント拂底東京其他ヨリ注文殺到市場ハ品枯レノ爲メ相場モ亦暴騰ヲ重ネ五等十

圓以下ノ賣物ナシト云フ商狀▲六七月全國ヲ通シテ拂底ノ光景ニテ端物相場ハ四等ノ十一圓七月ニ入りテハ十一圓五十錢見當▲八月產地ハ連日ノ晴天ニ收穫進捗シ弗々出廻アルモ古品拂底セル後ナレハ燒石ニ水ノ觀アリ相場ハ四等十一圓五十錢入荷待チノ風情▲九月新物四等十圓乃至十圓五十錢保合タルカ下旬ニ入り水害ニテ大減收ノ聲ニ手堅キ商調ヲ迫リ十一圓ト昂騰セリ▲十月四等十一圓八十錢ト上伸セルモ下旬ニ入りテ稍軟化シ十一圓保合▲十一月益々下押シ四等九圓七十錢ヨリ漸次昂騰ノ歩ヲ進メ十圓八十錢迄上進セルカ中下旬ニ拂リ一高一低ノ儘越月▲十二月ニ入りテ米價高ニ連レ又四等十圓八十錢ト上進セルカ年末關係等ニテ伸力添ハス相場ハ次第ニ軟化シ十圓一二十錢活氣ナキ商狀ニテ越月▲一月賣人ハ五等十圓二三十錢ヲ主張シ買人ハ付口安ク九圓五六十錢以上ハ進マサル模樣ニテ殆ント無商談▲二月三月市況閑散ヲ極メ内地注文モ依然拂取ラス五等九圓四十五錢前後小往來ノ狀勢ナリシカ期米安等ニ促サレ稍下押シ五等ノ九圓三十錢處大保合ニテ越月セリ

一、澱粉▲四月前月來沈靜ニ傾キシ人氣ハ當月ニ入り形勢稍恢復ノ姿ニテ檢一等十圓九十錢ト生レタルカ一寸軟化シテ十圓五十錢ト下押シ九月ニ至リ海外市場氣直リノ聲ヲ動機ニ十一圓八十錢ト奔騰シテ中旬ニ入り遂ニ十三圓ノ高値ヲ現ハシタルカ上ケ過キノ反動ヲ加味シテ忽チ軟走十二圓五十錢ト下押ノマ、保合▲五月十二圓五十錢ヲ中心ニ機會ヲ待チ來ル折柄六月ニハ倫敦五六月積三十八磅ノ高報ニ接シ市況俄然活氣ヲ呈シ十三圓二十錢ヨリ十三圓九十錢ト暴騰シテ中旬ニ移リ倫敦市場ハ益々活況ヲ添ヘ來

ルノ如ク五六月積四十五磅ノ入電アリ爲メニ殺氣立テル中繼市場ノ刺戟ヲ受ケ活氣横溢十六圓三十錢ト
慕進シテ下旬ニ入り刻々昂勢ヲ迎ラントセル氣先倫敦見送或ハ反動的引緩ミノ報ヲ入レ神戸港ノ漸落ヲ
移シテ恐慌投ケ出シノ爲メ市場混乱ヲ來シマハラ連ノ動搖止マヌ益々軟勢ニ傾キ遂ニ十四圓迄奔落シテ
波瀾重疊其後外國市場ノ風靡シ來レト反動的買進ミニヨリ頽勢ハ急激ニ挽回セラレテ歩調強健ノ度ヲ
加ヘ十六圓五十錢ノ高値ヲ現ハシ前途尙高含ミノ形勢ナリシ▲六月檢一現物十六圓二十五錢ト生レ十六
圓六十錢ト上伸シ其後多少ノ騰落アリ概シテ漸落歩調ヲ迎リ遂ニ十三圓十錢迄叩キ込タル際獨逸調印受
諾ノ報ヲ傳ヘテ形勢ヲ硬化セシメ漸ク十四圓九十錢迄跳返シタルカ飽迄戻賣ノ優勢ナルト海外ノ不振神
戶市場ノ不勢歐航運賃ノ漸騰船腹ノ不足等ハ惡材料トナリテ再度十三圓臺ヲ覗カントシ月末又十四圓二
十五錢ト立直リタリ▲七月講和條約調印ヲ終ルヤ英佛ノ商界ハ益々活氣ヲ呈シ現物五十磅ト高値ヲ報シ
來ルノミナラス神戸市場ノ硬化ト茲許又一部大手ノ買氣優勢ナルトマハラノ買進ミニ十五圓三十五錢ト
暴騰シ其後多少ノ波瀾アリ十四圓八十錢前後ノ相場ニテ中旬ニ移リ時恰カモ端境季ナルト歐洲市場ノ不
勢供給過剩ノ聲等仕手ノ冷靜ト相俟テ自然的軟調ヲ迎リ十四圓二十錢ト下押シ下旬ニ入り商勢益不振對
英爲替相場ノ混乱タルト且ツ英佛市場モ其後保合情勢ニアル事情等ニテ場面活氣更ニ無ク遂ニ十三圓八
十錢ト漸落セリ▲八月市況ハ底意弱カラス十月積即チ新物ニ對スル買氣亦惡シカラス左レト對運賃懸念
並ニ爲替相場暴騰ノ打撃アリシカ偶々小手亡豆暴騰ノ刺戟ヲ受ケ檢一等十三圓五六十錢搦ヨリ十四圓四

十五錢迄上伸セルカ忽チ反動的下落ヲ來シ引續キ軟勢ヲ迎リテ下旬ニ入り益々不況ニ陥リ遂ニ十圓三十
錢ト奔落シ猶更ニ下落スヘキ形勢ニテ越月▲九月海外市場ハ倫敦三十九磅ヲ報スルノミニシテ神戸市場
日増ニ軟化スル等不振不況ヲ極メ檢一等十圓ト下落シ日増先安氣構へ各生産地ハ賣躊躇ノ風情ニテ形勢
混沌タルアリシカ橫神市場ノ稍活況ヲ帶ヒ來リシ報ニ一時十一圓四十錢ト奔騰シタルモ直チニ十一圓ト
軟化シ折柄輸出禁止說佛國輸入禁止說等流布セラレ人氣動搖裡ニ賣物増加逐日軟走シテ月末十圓五七十
錢處保合ヒ平凡裡ニ越月セリ▲十月海外市場ハ一電毎ニ面白カラサル商情ヲ報シ氣勢更ニ昂ラス檢一十
圓三十錢ヲ安値ニ十圓八十錢迄一昂一落平凡ナル商狀ヲ持續シ中旬ヨリ下旬ニ亘リ益々軟走シ要金筋ノ
急キ賣ト產地ヨリ續々賣物入荷アリ檢一等十圓ハ脆クモ破レ九圓七十錢ト瓦落ス前途香ハシカラサル商
勢ニアリ▲十一月海外市場ハ依然不振狀態ニアリ近キ將來ニ於ケル回復至難ナルカ如ク檢一等九圓六十
錢ヲ高値トシ一般ニ弱氣ヲ迎リ來リシカ中旬神戸市場ノ稍活況ニ連レ十圓ト昂騰ヲ見セタルノミニテ直
チニ軟化シ遂ニ九圓臺割ノ八圓七十錢ト下落シ月末ニハ九圓十五錢ト一寸戻シタルモ無材料ノ人爲相場
トテ再ヒ八圓七十錢ト逆戻リ弱保合ノ儘越月▲十二月歲末接近ト銀行ノ貸出警戒ニ先行賣物増加ノ傾向
アル等場面ハ引續キ不振ノ商調ヲ迎リ七圓七十錢ト下押シ中旬ニ入りテハ八圓臺ヲ現出シ下旬ニ移リテ
八圓七十錢ト一時ノ安値ニ比シ百丁ノ戻ヲ見セタルマ、又鈍狀ヲ呈シ八圓四十五錢保合ヒ閑散ナル商勢
ト化シ月末ニ至リテ大手筋ノ海外賣込ミヲ傳ヘ強氣ノ買煽リニ一躍九圓五十錢ト奔騰シテ年代リヲ待ツ

ノ情勢▲一月舊臘來九圓五十錢ヲ持續シタル場面ハ忽チ軟調トナリ臺割八圓八十錢ト没落シ其後漸落歩調ヲ辿リ一昂一低ノ小往來ニテ不況不振ノ悲觀裡ニ越月セリ▲二月三月海外ノ事情依然トシテ面白カラス輸出ノ前途全ク暗澹トシテ人氣銷沈シ茲許檢一等八圓五十錢ヨリ三十五錢ト下押シ益々漸落ノ商情ヲ辿リ遂ニ八圓臺割ヲ現出三月末ニ至リ結局七圓五十錢ト崩レ慘憺タル商勢裡ニ經過シタリ(統計表參照)

第三章 會 議

大正八年度ニ於テハ評議員會ヲ開クコト三回通常總會ヲ開クコト一回臨時總會ノ開會前後二回トス以下順次決議事項其他ノ概要ヲ記スヘシ

第一節 評議員會

▲第二十三回評議員會 大正八年六月十九日午前十一時本會事務所ニ於テ第二十三回評議員會ヲ開會ス出席並缺席評議員左ノ如シ

出席評議員 (六名)

- 岩村 德治郎君
- 塚島 由太郎君
- 澤口 善助君
- 伊井 億右衛門君
- 伊豫田 徳次郎君
- 林 與三郎君

缺席評議員 (五名)

- 高橋 喜藏君
- 中島 勘七君
- 中川 浩介君
- 田中 友次郎君
- 太力川 善吉君

井上副組長、山崎理事、萩谷稻村ノ兩書記列席

中村組長缺席ニ付井上副組長代リテ開會ヲ宣シ且ツ改正定款ニヨレハ總會ハ年一回(一月)ノ規程ナルカ從來ノ役員ハ本月ヲ以テ任期滿了トナルカ故ニ之カ改選ト八年度豫算ノ變更等種々必要ヲ認メ臨時總會ヲ招集ノコトニ執計フヒタレハ茲ニ各位ノ御參集ヲ煩シタリト述ヘ次テ検査事業ヲ北海道廳ニ引繼キタル經過地方費補助金ノ交付方申請並認可ノ指令及ヒ補助金ノ交付アリタル次第等ヲ詳細報告シ定款ノ規程ニ基キ議長ノ選舉ヲ求ム而シテ滿場一致ノ推薦ニヨリ岩村德治郎君議長トナル

議長岩村君 議場ノ同意ヲ得テ伊井億右衛門君、澤口善助君ヲ決議録署名員ニ指名シ井上副組長、山崎理事提案ノ各號ニツキ夫々説明シ塚島評議員ヨリハ總會ニ報告スヘキ本會ノ財産及專務ノ狀況監査經過ヲ報告シテ全員ノ承認アリ議事續行ノ件左ノ決議ヲ爲セリ

第一號案 大正七年度事務成績報告ノ件

第二號案 大正七年度經費決算ノ件

(以上二案全員一致議會省略原案全部ヲ承認シ且ツ事務成績ノ印刷ニ際リテハ趣旨ヲ誤ラサル限リハ

字句ノ修正ヲ理事者ニ一任スルコトニ決定)

第三號案 剰余金處分ニ關スル件

(全員一致原案通り決定)

第四號案 功勞者表彰ニ關スル件

(全員一致原案可決)

第五號案 定款改正ニ關スル件

(原案通り決定)

第六號案 臨時手當支給規程改正ニ關スル件

(讀會省略原案可決)

第七號案 大正八年度經費豫算更正ノ件

(全員一致原案ヲ可決)

第八號案 役員改選ニ關スル件

(全員一致總會ニ提案スルコトニ決ス)

諮問事項

一、農産物検査諮問會委員及査定委員推薦ニ關スル件

(諮問會員ハ各組合ヨリ一名宛(組合組長ヲ以テ)充ツルコト査定委員ハ總會開會日ヲ待テ各組合ヨリ
意問ヲ答申スルコトニ決定)

二、理事辭職ノ件

(全員一致承認ノ外ナカルヘシト爲シ且ツ永年在職ノ勞ニ酬ユル爲メ慰勞金二百五十圓ヲ贈ルコト尙
辭任後本會ノ事務取扱ノ囑託等ニ關シテハ改選後ノ組長ニ一任ノコトニ決定)

議長岩村君 議案全部議了ヲ告ケ且ツ第四號案功勞者表彰考查委員トシテハ伊井(中央)岩村(小樽)伊豫
田(函館)林(東部)ノ各評議員諸君ニ決定シタリト報告シ井上副組長各員精勵ノ勞ヲ謝シテ閉會ヲ宣ス時
ニ午後五時ナリ

(附記 閉會後引續キ考查委員會開會井上副組長、伊井、伊豫田、林、岩村ノ各員出席詮考審議ヲ盡
クシ午後八時終了閉會シタリ)

▲第二十四回評議員會 大正八年十月二日午後零時四十分第二十四回評議員會ヲ本會事務所ニ於テ開會
ス出席並ニ缺席評議員左ノ如シ

出席評議員(四名)

井上安次郎君、弓削万次郎君、山口樂平君、林興三郎君

缺席評議員(四名)

伊井億右衛門君、澤口善助君、伊豫田德次郎君、菅野儀三郎君
副組長田中友次郎君、同清原次平君、萩谷鶴川兩書記出席
組長岩村德治郎君、副組長塚島由太郎君缺席

北海道廳屬遠藤喜四郎君、農産物検査所長事務取扱横瀬農夫也君、臨席

岩村組長缺席ニ付田中副組長代リテ開會ヲ宣シ先ツ現職就任ノ挨拶ヲ述ヘ且ツ北海道廳ヨリ大正九年度ニ於テモ検査事業施行ノ爲メ本會所有ノ建築物無償使用方依頼越サレタルカ本會ニ取リテハ重大問題ナルニヨリ他ノ諸案件ト共ニ各位ノ御意見聴取ノ必要ヲ認メ本會ヲ招集シタレハ何分ノ御審議アリタシト述ヘ清原副組長亦就任ノ挨拶ヲ述ヘ規程ニヨリ議長選舉ニ移リタルカ投票ノ形式ニヨラス滿場井上安次郎君ヲ推薦シ井上君議長席ニ著ク

議長井上君議場ニ諮リテ議事録署名員ニ山口樂平君、林與三郎君ヲ指名シ左記議案ヲ審議決定シタリ
第一號案本會所有建築物無償貸與ニ關スル件

(本案ニ就テハ關聯上本會存續ノ得失並財產ノ處分等ニ關シ議論區々ニ亘リタルモ關聯問題タル會ノ將來ニ就テハ大体ニ於テ名義存續ノ意見一致シ其レ以外ノ問題ハ茲ニ決定スヘキ限リニ非ストノ諒解ニテ本議案進行ニ歸著シ結局滿場一致續會省略原案ヲ可決セリ)

第二號案農産物検査規則中一部改正建議ノ件

(原案通り即チ等級標準ノ内容現行三等品程度ノモノヲ一等ニ以下順次繰上ケ又精選袋入品ノ二階級ヲ一階級ニ包裝吸入ノ規程中單収使用ヲ認メサル様改正ヲ建議スルコトニ決定)

第三號案 検査標準品査定委員ノ増員請願ノ件

(本案ハ本會ヨリ推薦スヘキ検査標準品査定委員ヲ十二名ニ増員シ且ツ雜穀澱粉兩者共通ノモノトセラレンコトノ請願ニシテ原案通り決定)

第四號案 重要農産物種子ノ改良統一ニ關シ北海道廳長官ニ建議ノ件

(原案ノ通り決定)

議長井上君議案全部審議終レリト告ケ復席シ田中副組長各員ノ勞ヲ謝シ午後四時閉會ヲ宣セリ

▲第二十五回評議員會大正九年一月十三日午前十一時三十分本會事務所ニ於テ第二十五回評議員會ヲ開會ス出席並缺席評議員左ノ如シ

出席評議員(七名)

井上安次郎君 弓削万治郎君 伊井億右衛門君 伊豫田德次郎君

山口樂平君 菅野儀三郎君 林 與三郎君

缺席評議員(一名)

澤口善助君

塚嶋、清原、田中三副組長萩谷書記出席

岩村組長缺席ニ付塚嶋副組長代リテ挨拶アリ且ツ岩村組長ハ舊臘以來旅行不在ノ爲メ議案ハ田中清原兩副組長ト審議ノ上作成提案シタリ其ノ詳細ハ開議ノ上ニ説明スヘケレハ可然御審議アリタシト述ヘ規程ニヨリ議長ノ選舉ニ移リシカ滿場一致ヲ以テ投票ヲ用ヒス井上安次郎君ヲ推シ井上君議長トナル議長井上君議場ノ同意ヲ得テ決議録署名員ニ伊豫田徳次郎君林與三郎君ヲ指名シ左ノ議案ヲ審議決定シタリ

第一號案 定款改正ノ件

(原案可決)

第二號案 給料及旅費支給規程改正ノ件

(本案ハ汽車賃宿泊料等昂騰ノ結果從來ノ支給額ニ約五割増ノ程度ヲ以テ改正スル原案ニシテ二三讀會省略原案可決)

第三號案 大正九年度經常部及臨時部歳入歳出豫算

(本案ニ對シテハ種々ノ質問アリ希望アリ充分意見ノ交換アリタル後滿場一致ヲ以テ原案可決)

第五號案 組長辭任ニ關スル件

(辭意ハ到底翻ヘシ難キモノト認メ總會ニ提案ノコトニ決ス)

第六號案 未粉澱粉ノ移輸出検査廢止ニ關スル建議

(本案ニ就テハ特ニ井上君ヨリ道廳當局ト折衝ノ顛末報告アリ各員意見ノ交換アリテ結局検査諮問開會度數ヲ増サル、樣建議ノ件ト共ニ總會ニ提案ノコトニ決定ス)

以上決議ノ後塚嶋副組長ヨリ山崎囑託理事辭任ニ關シテ報告アリ又井上議長ヨリ現在ノ役員ハ大正十年六月滿期トナルカ現行定款ニ總會ヲ一回(一月)ト規定セル上ハ前記ノ滿期改選ハ特ニ大正十一年一月ノ總會ニ於テ行フ様大正十年一月ノ定時總會ニ附議ノコト、シタシト協議シ何レモ異議ナク決定右ニテ議長井上君ヨリ議案全部議了ノ旨ヲ告ケ塚嶋副組長ノ挨拶ニヨリテ午後五時半閉會ス

第一節 通常總會

▲第十二回通常總會 大正九年一月十四日午前十一時三十分第十二回通常總會ヲ本會事務所ニ於テ開會ス出席代表員左ノ如シ

出席代表員(六名)

高畑旭君(一番) 荒谷又與門君(二番) 長谷川寅次郎君(九番) 中島定六君(十番) 世木澤藤三郎君(十一番) 澤田義三郎君(十二番)

缺席代表員(六名)

豊田正治郎君(三番) 岸明治君(四番) 田淵幸三郎君(五番) 畔上作太郎君(六番) 森本一郎君(八番)
西口宗一君(七番)

評議員井上安次郎君、弓削万治郎君、伊井億右衛門君、伊豫田徳次郎君、山口樂平君、菅野儀三郎君出席北海道廳屬角川新一郎君午後一時ヨリ臨席セラル塚島、田中、清原ノ各副組長及萩谷書記出席
岩村組長缺席ニ付副組長塚島由太郎君議長席ニ着キ一場ノ挨拶ヲ述ヘテ開會ヲ宣シ議場ニ諮リテ決議録署名員ニ高畑旭君、長谷川寅次郎君、中島定六君ヲ指名ス

議長塚島君ハ開議ニ先チ組長岩村君久シク旅行不在且ツ旅行先ヨリ辭任申出ラレタル等ノ事情ニテ已ムナク議案配付ノ遅延シタル理由ヲ陳謝シ更ニ九年度豫算案作成ニ付テハ岩村組長就任以來鋭意講究シテ決定セラレタル方法ニ準據シ調査事業遂行ノ計畫ニテ按排立案シタルカ其ノ實施ノ方法等ニ關シテハ今後一層有力ナル各位ノ御指導ニヨリ十分ノ効果ヲ收メント期スル旨説明シ議事ニ入り左記各案ノ決議ヲ爲シタリ

議案第一號 定款改正ノ件

(本案ハ出席代表員定數ニ達セサルニヨリ撤回ス)

議案第二號 大正九年度經常部並臨時部歳入歳出豫算ノ件

(本案ハ臨時部ハ調査報告並業務成績印刷費ノ中ニ特ニ中村多四郎君、弓削万治郎君、岩村徳治郎君、

井上安次郎君ヨリ寄附アリタルモノト説明ヲ爲シ審議ノ末原案全部ヲ可決ス)

議案第三號 組長補缺選舉ニ關スル件

(岩村組長ノ辭任ハ已ムナキモノト認メ之ヲ承認シ直ニ補缺選舉ニ移リ井上安次郎君當選ス尙組長ニハ謝狀ニ金百圓ニ相當スル記念品ヲ添ヘ並ニ山崎囑託理事ニ同様五十圓ニ相當スル記念品贈呈ノコトニ決定ス)

議案第四號 未粉澱粉移輸出検査廢止ニ關シ建議ノ件

議案第五號 農産物検査施行ニ關スル諮問會ヲ適當ニ開會セラレンコトヲ建議ノ件

(以上二案トモ原案ヲ可決シ建議ノ文案ハ正副組長ニ一任シ且ツ意思ノ徹底ヲ圖ル爲メ委員五名即チ三副組長ト井上、弓削兩評議員ノ參應陳情スルコトニ決定ス)

右議案ノ外井上安次郎君組長ニ當選ノ結果評議員ニ欠員ヲ生スルコト、ナリシヲ以テ議長塚島君滿場ニ諮リテ評議員補欠選舉ヲ行ヒタルニ高畑旭君當選シタリ

議長塚島君ハ更ニ橋本鹿兒島縣知事閣下ハ會テ本道在任中大ニ本會ノ爲ニ聲援ヲ興ヘラレ關係最モ深キ事情アリシニ其ノ令宰最近逝去セラレシト聞ク依テ本會ノ決議ニヨリ吊電ヲ贈リタシト謀リ滿場之ニ贊成吊電ヲ送ルコトニ決定

議事終了後井上安次郎君ヨリ組長當選ニ對スル挨拶アリ又塚島副組長ヨリ検査道營後ノ實態ニツキ希望開陳等アリテ閉會ヲ宣セラレシハ午後三時半ナリキ

第三節 臨時總會

▲第七回臨時總會 大正八年六月二十一日午後零時十分第七回臨時總會ヲ小樽俱樂部ニ於テ開會ス出席並缺席代表員左ノ如シ

出席代表員(十一名)

高畑旭君(二番) 弓削万治郎君(三番) 田淵幸三郎君(七番) 菅野儀三郎君(八番) 清原次平君(十番)
山口樂平君(十三番) 長谷川寅次郎君(十四番) 中島定六君(十六番) 中村久作君(十七番) 山口由太郎君(十九番) 澤田義三郎君(二十番)

缺席代表員(九名)

蔭割安太郎君(一番) 藤澤琴吉君(四番) 内田長七君(五番) 高倉安次郎君(六番) 小野寺京三郎君(九番) 西口宗一君(十一番) 森本一郎君(十二番) 濱崎治助君(十五番) 世木澤藤三郎君(十八番)
井上副組長山崎理事萩谷稻村尚書記出席
評議員岩村德治郎君出席

中村組長缺席ニ付井上副組長代リテ開會ヲ告ケ且ツ臨時總會招集ノ事情並ニ検査道營移營ノ經過ヲ概述シ次テ山田道應技師ニ囑託シタル調査事業ノ顛末検査事業引繼ノ概要八年度經費補助金受領ノ經過ヲ報

告シ終リニ永田前組長ヨリノ挨拶ヲ傳達シ尙今次提案ノ大体ニ就キ説明シテ其ノ審議ヲ求メ議場ノ同意ヲ得テ高畑旭君、田淵幸三郎君、山口樂平君、中島定吉君ヲ決議録署名員ニ指名シ議事ニ移リテ左ノ諸一案ヲ決議セリ

議案第一號 大正七年度業務成績報告

同 第二號同年度歳入歳出決算報告

(以上二三案ハ定款ノ規程ニヨリ中村久作君推サレテ議長ト爲リ岩村評議員ハ本會ノ財産並業務ノ大要監査ノ報告ヲ爲シ審議ノ結果字句ノ修正ハ理事者ニ一任ノ條件ヲ附シ滿場一致原案承認ニ決ス)

議案第三號 剩餘金處分ニ關スル件

(本案ノ内容ハ一部ヲ廢職トナル職員賞與金ニ充テ一部ヲ功勞者表彰費ニ充ツルモノニテ讀會省略シ滿場一致原案ヲ可決ス)

議案第四號 定款改正ニ關スル件

(議員定數ニ滿タサレトモ第四十二條及第四十六條ノ改正ハ主務省ノ注意ニヨリ提案シタルモノナルニヨリ假決議ノ上其筋ノ指揮ヲ請フコトヲ番外ヨリ希望シ滿場之レニ異議ナク且ツ第四十條ニ(燕麥ハ二十貫匁建ヲ加ヘテ改正ノコトニ番外モ同意シテ可決ス)

議案第五號 大正八年度經費豫算更正ノ件

(本案ハ審議ノ末満場一致ヲ以テ原案可決)
議案第六號 役員改選ニ關スル件

(本案投票ノ結果左ノ如ク當選ス)

組長 岩村徳治郎君

副組長 塚島由太郎君、田中友次郎君、清原次平君、

評議員 伊井億右衛門君、澤口善助君、井上安次郎君、弓削万治郎君、伊豫田徳次郎君、山口樂

平君菅野儀三郎君、林與三郎君

以上議案議了弓削君(三番) 清原君(十番)田淵君(七番)等ヨリ緊急ノ動議アリテ審議ノ結果左ノ諸案ニ
ツキ輕キハ検査所長ニ交渉ヲ試ミ其他ハ建議若クハ請願ノ形式ニヨリテ提出執計フコトニ決定ス

一、本道農産物ニ對スル現在施行ノ検査ト同様ノ検査ヲ内地各輸出港ニ於テ施行セラレタキ旨當局ニ建
議ノ件

二、移輸出検査料ハ大正九年度ヨリ實費ヲ以テ施行セラレタキ旨當局ニ建議ノ件

三、検査規則中生産検査隊ニ關スル規程中「横一ヶ所」ヲ「横二ヶ所」ニ移輸出検査隊ニ關スル規程中「横
十文字」トアルヲ「横二ヶ所緊小口一ヶ所」ト改正ノ建議

四、封緘紙ノ使用實際ニ適セサルニヨリ證印押捺ノ方法ニ改正セララル、様建議

五、検査施行上ニ關シ左ノ各項ヲ請願スルコト

(i) 検査申請數量ニ増減ノアル場合一ハ中止ヲ爲シ一ハ追加ヲ認メサルカ受檢者ノ苦痛ト不便不尠ヲ
以テ之ヲ認メラル、執計ヲ要望スルコト

(2) 容量不足ノ場合ハ検査ヲ翌日迄延長セララル、様要望スルコト

(3) 検査ニハ總テ棄權扱ヲ認メラル、様要望スルコト

(4) 各地ニ於ケル検査不統一ニツキ嚴格ニ統一勵行ヲ計ラル、様請願スルコト

(5) 産米検査證票ニ從來ノ如ク重量ヲ記入スルコト

議長井上君ハ本會ヨリ推薦スヘキ検査標準品査定員ノ増員割當ヲ申出方ヲ謀リ満場輸出業者ハ別トシ
テ四組合ヨリ各二名宛割當ヲラル、様交渉方ヲ希望シ亞テ改選ニヨリ引退セララル、役員ニ對シ從來同
様ノ取扱ヲ爲スニ就キ協議シ結局中村組長ニハ補缺當選ノ事故感謝狀ヲ贈リ井上副組長ニハ金盃一個
ヲ贈呈ノコトニ満場一致可決シ井上岩村兩君ノ挨拶アリテ議長ハ検査當局ニ交渉スル委員トシテ清原
君、弓削君、山口君、山口(由太郎)君ヲ指名シ午後五時五十分閉會ス

▲第八回臨時總會大正八年十月三日出席代表員荒谷又與門君、豊田正治郎君、中島定六君ノ三名ニシテ
定數ニ達セス流會トナル

▲大正八年十月十二日午前十一時十分第八回臨時總會ヲ小樽色内町海産商同業組合會議室ニ於テ開會ス

出席並缺席代表員左ノ如シ

出席代表員(四名)

荒谷又與門君(二番) 豊田正治郎君(三番) 長谷川寅次郎君(九番) 世木澤藤三郎(十一番)

缺席代表員(八名)

高畑旭君(一番) 西口宗一君(七番) 森本一郎君(八番) 中島定六君(十番) 澤田義三郎君(十二番)
岸明治君(四番) 田淵幸三郎君(五番) 畔上作太郎君(六番)

岩村組長、田中、塚島、清原三副組長、萩谷書記出席、評議員弓削萬治郎君、山口樂平君、林與三郎君
列席北海道廳屬遠藤喜四郎君、佐藤龜太郎君、農産物検査所長事務取扱横瀬農夫也君臨席ス
岩村組長議長席ニ着キ各員ノ勞ヲ謝シ且ツ東部代表員、岸明治君、田淵幸三郎君ハ出席途中汽車ノ故障
ニ會シ欠席ノ已ムナキヲ報告シ且ツ再招集ノ本會ハ出席少數ナレトモ規定ノ員數ニ適合セリト告ケ更ニ
本會調査事業ノ進行ニ關シ各員從來ノ應援ヲ謝シテ開議ス

議長岩村君議場ノ同意ヲ得テ決議録署名員ニ豊田正治郎君、長谷川寅次郎君、世木澤藤三郎君ヲ指名シ
議事ニ入リテ左ノ決議ヲ爲セリ

議案第一號 本會所有建築物無償貸與ニ關スル件

(本案ハ慎重審議ノ結果) 大正九年度ニ於テハ地方費補助金ヲ可成五千圓ニ増加ノ執計アリタキコト

(二) 抽出見本ノ還付ニヨル收入ヲ安定ナラシムル爲ニ相當ノ執計アリタキコトノ希望ヲ付シテ原案又可
決セリ)

議案第二號 農産物検査規則中ノ一部改正建議ノ件

(本案内容ハ等級ノ内容變更精選袋入品ノ二階級ヲ一階級ニ改ムルコト及ヒ包装吸入ノ規程中單収廢
止ノ諸項ニシテ多少ノ修正ヲ加ヘテ原案可決)

議案第三號 検査標準品査定委員ノ増員請願ノ件

(本案ノ内容ハ本會ヨリ推薦スヘキ検査標準品査定委員ヲ十二名ニ増員シ委員ハ總テ雜穀澱粉兩者共
通ノモノトセラレタキ請願ニシテ滿場一致原案ヲ可決セリ)

議案第四號 重要農産物種子ノ改良統一ニ關シ北海道廳長官ニ建議ノ件

(本案ハ讀會省略原案可決)

議事終ルヤ岩村議長ヨリ各員ノ勞ヲ謝シ午後五時三十五分閉會ス

第四章 處務ノ概要

第一節 認可指令

本年度ニ於テ本會ヨリ申請シタル諸般ノ件ニ關シ北海道廳長官ヨリ認可指令アリタルモノ以下掲クル所
ノ如シ

◎本會經費中ニ地方費ノ補助金交付ニ關シ大正八年四月二十六日付申請シタルニ同年五月十二日付ヲ以
テ左ノ條件ヲ附シ金貳千圓補助ノ指令アリタリ

記

- 一、補助金ハ事業費ニ充用スヘシ
- 一、補助金ノ支出ハ事業年度經過後速ニ費途ヲ區分シ報告スヘシ

◎大正八年六月二十五日付申請シタル組長、副組長選任ノ件ハ同年六月三十日付ヲ以テ又同月二十八日
付申請シタル評議員選任ノ件ハ同年七月五日付ヲ以テ認可ノ指令アリタリ選任認可ノ役員左ノ如シ

組長	岩村德治郎	
副組長	塚島由太郎	田中友次郎
評議員	井上安次郎	弓削萬治郎
	伊井億右衛門	伊豫田德次郎
	菅野儀三郎	林 與三郎
		清原次平
		澤口善助
		山口樂平

◎大正八年六月二十四日付申請シタル大正八年度經費豫算變更ノ件ハ同年七月二日付ヲ以テ認可指令セ

ラレタリ

(第五章會計ノ部參照)

◎大正八年六月二十四日付定款變更命令ノ件臨時總會ニ於ケル假決議ヲ添ヘ申請シタルニ同年七月三日
付左ノ命令ヲ接受シタリ

内勸第九三九九號

小樽區堺町 北海道雜穀商同業組合聯合會

其ノ聯合會定款中左記ノ通り變更ヲ命ス

大正八年七月三日

北海道廳長官 笠井信一

記

- 一、第四十條 各組員ハ澱粉ハ正味百ポンド建燕麥ハ同貳拾貫匁建ヲ以テ其ノ他ノ雜穀ハ和百斤正
味十六貫匁ヲ以テ取引スルモノトス
- 一、第四十二條 第二項中取引ヲ中止ノ下「セシメ尙其ノ事由ヲ聯合組合各組員ノ店頭ニ揭示」ノ二
十三字ヲ削除ス

一、第四十六條中「第三十七條」ノ五字ヲ削除ス

◎大正九年一月十六日付ヲ以テ大正九年度本會經費豫算ノ認可ヲ申請シタルニ同年二月四日付認可ノ指

令アリタリ豫算ノ詳細ハ載セテ第五章會計ノ部ニアリ
 ◎組長岩村德治郎辭任ニ就キ大正九年一月十六日付井上安次郎ヲ組長ニ選任ノ申請ニ對シ一月二十日付ヲ以テ認可ノ指令アリタリ
 ◎大正九年一月十六日付評議員高畑旭ノ選任申請ニ對シ同年二月四日付認可ノ指令アリタリ
 ◎給料及旅費支給規程中第九條ノ左記表改正ノ件大正九年一月十六日付認可申請シタルニ二月二日付認可セラレタリ

第九條ノ左記表改正左ノ如シ

雇	書	汽	汽	車	車	日當一日每ニ	宿泊料一夜每ニ
		一	一	一	一		
		哩	海	馬	里		
		每	里	每	每		
		ニ	每	ニ	ニ		
		六	六	四	四	二〇〇	三〇〇
		錢	錢	錢	錢	錢	錢
		四	四	三〇	一	二〇	二〇
		錢	錢	錢	錢	錢	錢

◎會報發行上出版手續省略ノ件大正九年二月二十九日付内務大臣宛願出ノ處同年三月九日付許可セラレタリ

第二節 役員及職員

本年度内ニ於テ役員及代表員ノ更迭シタルモノ左ノ如シ

一、就任者

就任年月日	職名	氏名	摘要	就任年月日	職名	氏名	摘要
大正八年六月三十日	組長	岩村德治郎	改選ニ	大正八年六月三十日	副組長	田中友次郎	改選ニ
同	副組長	塚島由太郎	同	同	同	清原次平	同
大正七年五月八日	評議員	井上安次郎	同	大正八年六月十二日	代表員	世木澤藤三郎	同
同	同	弓削万治郎	同	同	同	澤田義三郎	同
同	同	澤口善助	同	大正七年七月二十七日	同	西口宗一	同
同	同	伊井億右衛門	同	同	同	森本一郎	同
同	同	伊豫田徳次郎	同	同	同	長谷川寅次郎	同
同	同	山口樂平	同	大正七年七月二十六日	同	畔上作太郎	同
同	同	菅野儀三郎	同	同	同	田淵幸三郎	同
同	同	林與三郎	同	同	同	岸明治	同
大正七年四月八日	代表員	高畑旭	同	大正九年九月二十八日	同	豊田正治郎	補任
同	同	荒谷又與門	同	大正九年九月三十日	同	井上安次郎	同
同	同	盛勇三	同	大正九年四月九日	評議員	高畑旭	同
大正八年六月十八日	同	中島定六	同	大正十一年一月二十一日	代表員	山崎周信	同

二、退任者

退任年月日	職名	氏名	摘要	退任年月日	職名	氏名	摘要
大正八年六月二十一日	組長	中村多四良	満期	大正八年六月二十二日	代表員	内田長七	満期
同	評議員	岩村徳治郎	同	同	同	高倉安次郎	同
同	同	高橋喜藏	同	同	同	菅野儀三郎	同
同	同	塚島由太郎	同	同	同	小野寺京三郎	同
同	同	太刀川善吉	同	同	同	清原次平	同
同	同	田中友次郎	同	同	同	山口樂平	同
同	同	中島勘七	同	同	同	濱崎治助	同
大正八年六月二十二日	代表員	蔭割安太郎	同	大正九年一月十四日	同	山口由太郎	同
同	同	弓削万治郎	同	同	同	盛村徳治郎	同
同	同	藤澤琴吉	同	同	同	岩村徳治郎	同
大正九年一月十四日	評議員	井上安次郎	當選	同	代表員	高畑旭	同

右ノ如クニシテ本年度末現在ノ本會役員代表員ハ組長一名副組長三名評議員八名(各組合二名宛選出)代表員十二名(各組合三名宛選出)ナリトス左ノ如シ

組長 井上安次郎

副組長 塚島由太郎 田中友次郎 清原次平
 評議員 弓削万治郎 高畑旭 伊井億右衛門
 澤口善助 山口樂平 伊豫田徳次郎

代表員 菅野儀三郎 林與三郎 豊田正治郎
 山崎周信 荒谷又與門 澤田義三郎
 中島定六 世木澤藤三郎 長谷川寅次郎
 西口宗一 森本一郎 岸明治
 畔上作太郎 田淵幸三郎

又北海道廳ヨリ農産物検査諮問會委員及検査標準品査定委員並豫備委員トシテ囑託セラレタルモノ左ノ如シ

諮問委員 井上安次郎 塚島由太郎
 田中友次郎 清原次平
 査定委員 中村多四良 世木澤藤三郎
 伊井億右衛門 船山清藏
 只野寛 服部力

同豫備委員

- 井上兼吉
- 大井寛治
- 豊田正治郎
- 荒谷又與門
- 高橋喜藏
- 蔭割安太郎
- 弓削万治郎
- 藤澤琴吉
- 井上安次郎
- (以上組合員ヨリ)
- 長谷川直義
- 西浦又吉 (以上組合員外)

年度内本會職員中理事山崎周信ハ病氣ノ故ヲ以テ大正八年六月二十四日辞任調査員兼書記稻村貞文ハ同シク同年七月二十一日辞任而シテ調査員トシテ同年七月十一日長尾忠一同年十月一日武藤理雄書記兼調査員トシテ就任シタリシカ武藤理雄ハ大正九年一月十二日辞任シタリ年度末ニ於ケル現在ノ職員左ノ如シ

- 書記 萩谷三五八
- 鶴川長治
- 調査員 長尾忠一
- 雇野口文治郎

第三節 功勞者表彰

本會多年ノ功勞者ニ對シ所定ノ表彰規程ニヨリ之ヲ表彰スヘキコトハ前年度決議シタル所ナルヲ以テ大

正八年六月十九日開會ノ評議員會ニ於テ功績考査委員トシテ時ノ副組長井上安次郎、評議員岩村德治郎伊井億右衛門、伊豫田德次郎、林與三郎ノ五君ヲ舉ケ右委員諸君ハ即日委員會ヲ開キ豫メ調査シタル功績ニ就キ慎重審査ヲ盡クシ大正八年六月二十二日午前十時小樽俱樂部ニ於テ表彰式ヲ舉行シタリ式辞表彰ノ辞及表彰者ノ氏名等左ノ如シ

式 辞

茲ニ本日ノ佳辰ヲトシ貴賓各位ノ貴臨ヲ仰キテ本會規程ノ表彰式ヲ舉クルヲ得タルハ本職ノ最モ光榮トシ且ツ感謝措ク能ハサル所ナリ
抑々雜穀澱粉ハ本道重要物産タルニ拘ラス曾テ聲價ヲ内外市場ニ失墜シ取引狀態亦甚タ乱雜ニ流レテ弊實益々増長セントスル傾向アリ其匡濟ノ要義ハ畢竟検査ノ勵行ニ在リト爲シ概チ大正二年五月本會ヲ創設シテ主要農産物ノ検査ヲ見ルニ至レリ爾來成績年ヲ逐フテ舉リ検査ノ威信内外ニ認メラレ昨大正七年度ノ如キハ作況ノ不良價格低落等ノ障礙アリシモ尙且ツ一千二百余萬ノ検査數量ヲ算シ取引關係亦頓ニ革正セラレタルハ一ハ時局ノ影響ト時勢ノ推移トニ胚胎スヘカランモ組合員ノ協力従事員ノ奮闘當局ノ指導等共ニ相結合融和スルニ非スンハ焉ソ克ク此ノ好成绩ヲ收ムルヲ得ンヤ今ヤ時運ノ變轉ニヨリ検査事業ハ舉テ道廳地方費ノ經營ニ移管セラレ本會亦之ヲ助成シテ以テ組合員共同ノ利益ヲ増進スヘキ使命ヲ荷ヒテ現存スルコト、ナレリ蓋本會歴史上ノ大改革ニシテ恰モ事業上ノ一段落ヲ劃

スルモノト謂フ可シ由來組合事業ノ缺陷ハ情實ノ纏綿ニアリ其ノ特徴ハ實質ノ助長ニアリ之カ缺陷ヲ排除シ之カ特徴ヲ發揮セシムルハ實ニ當面ノ責任者ト直接間接ニ之ヲ補助シ遂行スル一般關係者トノ絶倫ノ智囊ト異數ノ精力ト而シテ超越セル人格トニ俟タサル可ラサルヤ論ナキ所トス本會カ今日ノ成果ヲ贏チ得タル所以ノモノ寔ニ偶然ニアラス此ノ秋ニ方リテ如上功勞者ノ推頌シテ長ヘニ其ノ偉績ヲ遺サントスルハ蓋當然ノ歸結ナリトス

顧ルニ過去數年ニ亘レル世界ノ動乱ハ漸ク其局ヲ結ヒテ平和ノ克復正ニ近キニアラントス而シテ激烈ナル東西ノ商戰續テ來ル可キハ想像ニ難カラス本會ハ既ニ検査事業ヲ道營ニ移シタルモ尙遂行スヘキ事務甚タ多シ吾人ハ今後一層ノ努力ヲ拂ヒ深ク組合員ノ協力一致ニ信賴シ益々會務ノ振興ト斯業ノ發展ニ努メテ光輝アル過去ノ歴史ヲ汚サバランコトヲ期ス之ヲ以テ式辭ト爲ス

大正八年六月二十二日

北海道雜穀商同業組合聯合會

組長 井上安次郎

表彰狀

(表狀ノモノニハ末段ヲ單ニ深甚ナル謝意ヲ表ストセリ)

本會創始以降茲ニ七星霜事業年ト共ニ張ノ成績月ニ從テ舉リ今ヤ受檢個數一千二百万ヲ超ヘ歲計三十八万圓ニ垂ントシ從業員亦四百名ニ及ヒ検査ノ權威等シク中外ノ具瞻スル所トナル斯ノ如キハ本邦斯種検査機關中其ノ比儔ヲ見サル所ナリトス蓋是(職名挿入)トシテ貴下カ本會ノ爲メニ致サレタル努力ヲ具體

化シタル象徵ナルナカラシヤ本會ハ茲ニ偉大ナル貴下ノ功績ニ對シ本會表彰規程ニ依リ金盃(銀盃、木盃)ヲ贈呈シ深甚ナル謝意ヲ表スルト共ニ貴下ノ功勞ヲ表彰ス

大正八年六月二十二日

北海道雜穀商同業組合聯合會

○金盃ヲ贈リタル功勞者(十七名)

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 岩村德治郎君 | 井上安次郎君 | 辻田吉之助君 |
| 香村英太郎君 | 高橋喜藏君 | 塚島由太郎君 |
| 澤口善助君 | 伊井億右衛門君 | 中島定六君 |
| 中村久作君 | 永田巖君 | 高倉安次郎君 |
| 田中友次郎君 | 山口樂平君 | 岡本忠藏君 |
| 橋本正治君 | 山田勝伴君 | |

○銀盃一組ヲ贈リタル者(二十名)

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 弓削万治郎君 | 中村多四良君 | 岩瀬桂次郎君 |
| 内田長七君 | 高橋榮治君 | 松永平治郎君 |
| 世木澤藤三郎君 | 林與三郎君 | 中島勘七君 |
| 清原次平君 | 中川浩介君 | 井上兼吉君 |

根本傳四郎君
長谷川寅次郎君
山崎周信君

太刀川善吉君
西口宗一君
故中村光德君

○銀盃ヲ贈リタル者(四十五名)

高畑旭君
豐田正治郎君
荒谷又與門君
中谷彦太郎君
澤田義三郎君
白崎彦太郎君
大島直吉君
田淵幸三郎君
山崎景一君
松永久米造君
堀江福太郎君

藤澤琴吉君
井澤十九一君
横山壽雄君
磯野進君
藤田長次郎君
龜井啓次郎君
佐藤彰助君
成田芳太郎君
中村捨吉君
村上佐市君
長尾達三郎君

○木盃ヲ贈リタル者(四十五名)

只野寛君
奥由千春君
小林喜一郎君
新井太一郎君
橋場彌佐君
小山只四郎君
中島融君
吉野長太郎君
金子佐太郎君
清水良正君
吉田五三郎君
八幡與太郎君
山田兵吉君
池上三次君

神山閑一郎君
南場吉次郎君
横瀬農夫也君
曾田伊助君
山崎重太郎君
丸山文三郎君
小平圓治君
喜多村峰吉君
鈴木英力君
佐々木多利治君
内田周二君
須藤圓治君
西川源吾君
飯島梅太郎君

船山清藏君
小笠原金次郎君
小林藤五郎君
遠藤喜四郎君
今與太郎君
井上武君
荒井伊之吉君
小林喜久治君
新與三郎君
福利三郎君
谷野吉太郎君
前田梧郎君
鈴木勝太郎君
青山正三郎君

- 泉谷政喜君
- 赤松正一君
- 田邊佐太郎君
- 渡邊廣志君
- 田中精一君
- 山口德造君
- 佐藤慶治君
- 杉元猶元君
- 松島雪次郎君
- 荒谷三郎君
- 中林義次郎君
- 故白鳥勝三君
- 五井野豊作君
- 松倉定保君
- 高田春吉君
- 才賀重太郎君
- 白岩柳吉君
- 鯨岡稔君
- 櫻吉理吉君
- 三上彌平君
- 前園五郎君
- 岸田三男吉君
- 田岡彦一君
- 岩本堯明君
- 中山德四郎君
- 今井藤次郎君
- 福田政義君
- 光錢成房君
- 飯岡平次郎君
- 佐々木養三郎君
- 杉田五郎作君
- 越逸事君
- 村田八三郎君
- 鎌倉兼助君
- 井澤宗助君
- 森敏也君
- 進藤貞治君
- 帳佐亥之助君
- 佐々木金吾君
- 福田彦作君
- 石黒卓彌君
- 本堂市三郎君

○褒狀ヲ贈リタル者(三十一名)

- 林兼太郎君
- 寺田良助君
- 小柳五郎君
- (以上)
- 村井久造君

第四節 建議及請願

本年度内ニ於テ總會ノ決議ニ基キ本會ヨリ當局ニ建議若クハ請願シタルモノ總テ十一件トス左ニ年月ノ順ヲ追フテ之ヲ記スヘシ

○大正八年七月七日付ヲ以テ重要輸出港ニ於テ雜穀澱粉ノ輸出検査開始ニ關シ左ノ建議ヲ爲シタリ

建議書

道産雜穀澱粉ノ海外輸出ニ際シ横濱、神戸、大阪等ノ重要輸出港ニ於テ更ニ輸出検査ヲ速ニ施行セラレ
機主務大臣ニ稟請セラレンコトヲ建議ス

理由

本道拓殖ノ實年ト共ニ舉リ農産物ノ大宗タル雜穀澱粉ハ駿々トシテ其ノ産額ヲ激増シ海外ノ販路次第ニ擴張シテ需要生産年毎ニ加ハリ今ヤ本邦輸出品中極メテ重要ノ位置ヲ占ムルニ至レリ試ニ輸出雜穀ノ主ナル豌豆及菜豆ニ就キ最近三ケ年ニ於ケル産額増加ノ趨勢並價格ヲ示セハ左ノ如シ

年	豌豆		菜豆	
	産額	産格	産額	産格
大正四年	二四八、五六 ^斤	三、四四六、八一 ^円	三四二、一〇 ^斤	五、四四五、七三 ^円
大正五年	二五五、八九	八、三四四、五三	四六六、八一〇	一〇、三三三、四二八
大正六年	六二、九七三		一、〇二六、六六六	

豌豆菜豆馬鈴薯等ハ言フマテモナク本道ヲ以テ本邦ノ主産地トナシ而シテ其ノ巨額ナル生産物ノ大部分ハ海外ニ於テ消費セラル、ニ想到スルトキハ雜穀澱粉ノ經濟界ニ於ル位置決シテ輕視ス可ラズナリ左ニ最近三ヶ年ニ於ケル雜穀澱粉輸出ノ斤量並價格ヲ表示シテ國家經濟上ノ重要輸出品タルヲ證スヘシ

年	雜穀澱粉		計	
	斤量	價格	斤量	價格
大正四年	二五、九六一、八八〇	一五、五二、五八 ^円	一七、七五、二七七	四、七四、六〇〇
大正五年	一五、五二、五八 ^円	一八、六五五、六四七	四七、七五、二七七	七、八、三七七、四一〇
大正六年	二〇、〇七、一六八	二六、〇四、一八一	一七、七五、二七七	一一、四三、七六三
大正七年	二〇、〇七、一六八	二六、〇四、一八一	一七、七五、二七七	一一、四三、七六三

願フニ本會創立以前ニ於テ弊價ヲ失墜シ内外ノ需要一時殆ト杜絶ニ頻セントシタル雜穀澱粉ハ斯ノ如キ驚異ニ値スル輸出上好況ヲ呈セルハ固ヨリ時局ノ實セル好影響ニ因ルコト尠カラサル可シト雖モ一面又

本會ノ嚴正ナル検査施行ニヨリテ品質調製乾燥等ノ改善ヲ勸メ不正若クハ劣悪ナル輸出品ノ積送ヲ防遏シタニ非レハ爲ソ能ク此ノ効果ヲ收ムルヲ得ヘケンヤ

抑々輸出検査ノ勵行ハ道産雜穀澱粉ノ品位ヲ改善シ市價ヲ昂騰セシメ且ツ其販路ヲ擴大シタルハ多言ヲ俟タスト雖モ退テ是等商品ノ輸出セラル、ノ實際狀況ヲ顧慮スルトキハ未タ俄ニ晏如タルヲ許サ、ルモマアリ何トナレハ如上檢了品ノ本道ヨリ直輸出セラル、モノハ其數極メテ寡少ニシテ其大部分ハ横濱、神戸、大阪等ノ重要輸出港ニ於ケル取扱商人ノ手ヨリ一定ノ標準ニ準據セスシテ解俵配合改造ヲ施サレ且ツ何等検査證印證票ナキ包装ヲ以テ各需要地ニ仕向ラル、ヲ以テ本道ニ於ケル嚴正ナル検査ノ効果ハ輸出商品ニ對シテ殆ト無意義ノモノトナルノミナラス徒ニ手數ト費用トヲ要スル實況ニアリ今豌豆及菜豆澱粉ニツキ最近三ヶ年ニ於ケル各輸出港ヨリ輸出セラレタル數量ヲ觀ルニ左ノ如シ

産地	大正四年		大正五年		大正六年	
	豌豆	菜豆	豌豆	菜豆	豌豆	菜豆
小樽	七、六二、八三三	六、九八二、四八九	八、四三三、四六八	五、三八、六一 ^斤	一五、一〇五、九四七	一四、四四、六一四
横濱	一一、〇六六、四一一	二四、八四六、八七四	二五、四〇九、三一九	三三、〇〇六、二二四	一七、八一五、八六九	八〇、八一六、一六〇
神戸	一六、四三三、四四〇	二一、〇七四、二六〇	一九、九二七、五七三	一八、七二五、六九一	一六、七八五、七二九	四三、一八五
大阪	三三、七四三	一一六、九七五	一〇七、三四二	一五二、四七二	一一五、八五七	三三、九六五
門司	一、一三〇、四〇〇	五〇五、七二二	一、四五、九六二	三五二、四二四	五三四、一六八	二五、六六

其他	二二〇	八一,五〇〇	一五五,七四〇	八三,八六六	九五,七五五	四六,七六二
計	三三,二五,〇三六	五三,六〇七,八二〇	五六,八五〇,八八四	五七,三九九,二七六	五一,三三三,三〇五	一四二,四一,九四六

北海道ヨリ直輸出	大	正	五	年	大	正	七	年
		澱	粉					
横濱		一三,二六七,九七〇						一,九〇五,七〇二
神戸		一一,六八八,六六四						四六,七〇九,一一〇
大阪		二〇,二八八,二七六						八一,九六六,八六一
門司		一,二〇四,八八八						三,八〇四,〇四一
其他		一,三五四,八六三						五,一〇九,〇五三
計		一〇三,七九四						四八五,二八八
		四七,九八,三四二						三二九,九五〇,一五五

是ノ如キ事實ハ需要ニ應スル商取引ノ關係上必然ニシテ已ヲ得サル事ナラント雖モ現狀ノ推移ニ委シテ願ミサルハ永ク其聲價ヲ維持シ且ク輸出ノ旺盛ヲ將來ニ期待スヘキ所以ノ途ニ非スト信スルヲ以テ本會ハ昨年三月輸出雜穀澱粉ノ品質統一ニ關シ當局大臣ニ稟請スル所アリタルモ未タ實現セラレサルハ私ニ遺憾トスル所ナリ今ヤ世界ノ動亂終熄シ媾和條約成立シテ平和ノ經濟戰是ヨリ愈猛烈ナラントスルノ時運ニ逢着ス此秋ニアタリ品質不統一ノ雜穀澱粉ヲ海外ニ輸出スルカ如キハ實ニ國家ノ耻辱ナルノミナラ

又延テハ曾テ開拓シ得タル販路ノ縮小ヲ招致スルノ虞アルヲ免レヌ殊ニ検査事業既ニ道營ニ移リタル今日ニ於テ検査ノ威信ヲ向上シ商品ノ眞價ヲ發揚センニハ相當機關ニヨリテ一日モ早く重要輸出港ニ於テモ道廳施行ノ輸出検査ト同様ノ検査施行ヲ切望ニ堪ヘサルナリ

茲ニ特記スヘキハ移出検査輸出検査ノ兩意義ナリトス單ニ文字上ヨリ解スルトキハ移出ト云ヒ輸出ト稱スルモ敢テ異ナルナカルヘケンモ本道生産狀態ヨリ見ルモ將亦取引關係ヨリ察スルモ所謂粗成品即生産其儘ノ狀態ニ於テ商品トスルヲ必要トスルモノト一步ヲ進メテ之ニ人撰加工ヲ施シ精選品トシテ商品ニ供スルヲ利益トスルモノト二様アリ前者ニ對シテ執行スルハ移出検査ニシテ後者ニ對スルハ輸出検査ト稱シ得ヘシ故ニ當時本會検査規程ニ於テ前者ニハ單ニ等級上ノ階級ヲ附シテ直接間接ニ生産ノ改善ヲ圖リ後者ニハ(特)ノ特殊階級ヲ設ケテ外國商品トシテ適當ナルコトヲ表明セリ御應ニ於ケル検査規程モ畢竟此ノ意義ヲ踏襲セラレタル外ナラサルヘシ然ルニ内地市場カ會々移出検査合格品(多クハ俵以)ニ對シ精選加工スルノ事實アルヲ觀テ直チニ本道輸出検査ノ不完全ナルヲ唱ヒ寧ロ内地輸出港ニ於テ配合人撰スルノ止ム可カラサルモノト見做シ從テ本道當業者ノ絶叫スル如キ輸出港検査ノ喫緊事タルヲ了解セサルモノアリ主務官廳カ之カ施設ニ就キ何等考慮ヲ廻ラササル所以ノモノハ或ハ斯ノ如キ事實ヲ混淆セサルモノニシテ根底ニ於テ誤謬アルニアラサルナキカ

右總會ノ決議ニ基キ謹テ及建議候也

◎大正八年七月八日付ヲ以テ農産物検査規則中一部改正ノ建議ヲ爲セリ

建議書

北海道廳令第三十一號(大正八年三月廿二日)農産物検査規則中第二十五條及第三十二條包裝ノ項ハ入ノ規定ヲ左ノ如ク改正セラレンコトヲ建議ス

第二十五條三、包裝 雜穀俵又ハ叭入ノ條文中末段「横一個所ヲ二筋繩ニテ」トアルヲ「横二ヶ所ヲ二筋繩ニテ」ト改ムルコト 第三十二條包裝 雜穀俵又ハ叭入ノ條文中叭ノ荷造方法ニ就テ「横十文字二筋繩」トアルヲ「横二ヶ所緊小口一ヶ所二筋繩」ト改ムルコト

理由

包裝ノ改善未タ完カラサルカ爲ニ内地諸港ニ於ケル着荷品ノ乱表多ク之カ爲ニ生スル損害鈔カラサ
ルコトハ屢耳ニスル所ニシテ殊ニ叭ニ於テ其ノ然ルヲ見ル因テ從來ノ慣一ヶ所ヲ二ヶ所ニ改メテ内
容脱漏ノ虞ナカラシメンコトヲ望ミ速ニ此改正ノ實現セラレンコトヲ懇請ス

右本會臨時總會ノ決議ニヨリ謹テ及建議候也

◎大正八年七月九日付ヲ以テ雜穀澱粉ノ移輸出検査手数料ノ改正ニ關シ左ノ建議ヲナシタリ

建議書

北海道農産物検査料中雜穀澱粉ノ移輸出検査手数料ヲ大正九年度ヨリ實費ヲ以テ施行セラル、様改正セ

ラレンコトヲ建議ス

理由

現行検査手数料ハ検査ノ種類ヲ均一ノ検査手数料ヲ徵取セラレツ、アリ然レトモ地域廣
汎ナル産地ニ於ケル生産検査ト已ニ生産検査ヲ經タル市場出廻品ニ於ケル移輸出検査トハ其ノ施行
上ニ要スル費用ノ多寡手數ノ難易輕重蓋シ同一ノ談ニ非ルナリ然カモ生産検査ハ其本然ノ性質上尙
上整理スルニ從テ益範圍ヲ擴大シ之ニ附帶スヘキ事項モ亦愈多キヲ加ヘ從テ手數ト費用ヲ要スヘキ
モ移輸出検査ハ正ニ之ト反對ノ事實ヲ現スヘキハ寔ニ賭易キコトナリトス

由來商品ハ相場ノ高低常ナラサルモ検査料ハ之ニ附帶スル諸經費ト共ニ營業者ノ負擔ニ歸スルヲ常
態トスルヲ以テ到底自己所有商品ノ負擔以外ニ生産検査ニ要シタル經費ヲ負擔スルノ餘裕ナキノミ
ナラス是洵ニ正當ナル條理ニ非スシテ一般商人ノ最モ苦痛ヲ感スル所ナリ曩ニ本年一月二十二日檢
査料ノ規定ニ關シ建議シタル精神モ蓋シ亦之ニ外ナラス希クハ検査施行ノ實費ニ顧慮シ大正九年度
ヨリハ生産検査手数料ト相當ノ差額アラシムル様規定ヲ改正セラレンコトヲ懇請ス

右本會臨時總會ノ決議ニ因リ謹テ及建議候也

◎大正八年七月九日付ヲ以テ検査施行上ニ關シ左ノ請願書ヲ提出シタリ

検査施行上ニ關スル請願

昨年十一月北海道會ノ決議ニ因リ大正八年度ヨリ北海道地方費事業トシテ農産物ノ生産検査及其移輸出検査施行相成候處左記ノ各項ハ何レモ雜穀取扱業者トシテ最モ苦痛ヲ感シ候ニ付御取扱上何分ノ御斟酌相成度本會臨時總會ノ決議ニヨリ謹テ及請願候也

第一容量又ハ重量不足ノ場合検査中止ニ關スル件

「容量又ハ重量ニシテ規定ニ適セサルトキハ検査ヲ中止スルコトアルヘシ」ト規則第十五條ニ規定セラレ、ハ誠ニ當然ノ次第ナレモ容量又ハ重量ノ不足ハ受檢者ニ於テハ之ヲ補足スルコト一舉手一投足ノ勞ニ過キサレハ此場合ニ於テハ相當入目ヲ受檢者ニ命ジ該検査ヲ中止スルコトナク受檢數量ニ應ジ相當期間延長取扱ノ便ヲ與ヘラレタシ受檢者ニ於テ其指示ニ基キ直ニ相當入目ヲ爲スニ於テハ検査ノ根本精神ニ背馳スルコトナク且ツ受檢者ノ利益甚大ナルモノアレハ規則運用上特ニ此ノ御執計ヲ懇請ス

第二等級決定ニ關スル件

移輸出検査ニ於テハ受檢者ハ勞メテ等級限度ノ商品ヲ作製シテ検査ニ提供スルヲ常トス故ニ往々ニシテ受檢者ノ要望スル等級ト検査執行員ノ決定ト懸隔相一致セサルコトアリ此場合ニ於テ本會検査施行當時ハ特ニ其ノ受檢者ノ棄權ヲ認メ別ニ等級ヲ附スルコトナク之ヲ改造シテ其ノ再提供ヲ許容シ來リタルモ現時ノ検査施行方法ニ於テハ全然之ヲ許サス苟モ一旦提供シタルモノハ必ス其ノ決定シタル等級ヲ附セラル、トトナレリ然ルニ商人トシテハ需給ノ關係契約ノ履行船積ノ事情等ヨリ一定ノ數量ニ對スル或等

穀品ノ作成ヲ必要トスル場合ニ於テ以上ノ如キ改造ノ猶豫ヲモ與ヘラレサルハ洵ニ苦痛ニ堪ヘサル所ナリトス殊ニ袋入品等ニ於テ之ヲ改造シタル場合ハ袋ニ對シテ裏返シ使用ヲ承認セラル、モ要スルニ古袋使用ノ形態トナリ容器改善獎勵ノ趣旨ニ照ラシ時運ニ逆フコト、ナルノミナラス失費ヲ要スルコト、ナルハ遺憾ニ堪ヘス故ニ検査施行ニ際シ相當條件ノ下ニ從來呼稱シタル棄權扱ヲ認容セラレ改造ノ余地ヲ與ヘラル、様規定ノ改正ヲ懇請ス

第三検査ノ統 一ヲ勵行セラル、件

検査ノ統一ヲ期スルコトハ頗ル困難ノ問題ニシテ本會施行當時ニ於テモ検査員技能ノ向上ト検査制度ノ改善トニ就テハ特ニ意ヲ須キタル所ニテ道營實施後モ亦克ク之ニ留意セラレツ、アルヘシト雖往々澱粉未粉ノ生産検査(イ檢)ノモノカ之ヲ精製スレハ干燥不良ニシテ検査ヲ受クルコト能ハサルモノアルハ精製業者ノ苦痛不尠所ニシテ検査アルカ故ニ却テ紛擾ヲ惹起スルヤノ憾アリ又豆類ノ検査ニ至リテモ之ニ類スル實例尠ナカラサルヲ認ム是亦移輸出當業者ノ甚苦痛トスル所ナレハ今後検査ノ統一ニ就キ相當設備ヲ整ヘ一層御勵行アラレンコトヲ懇請ス

◎大正八年八月二日付ヲ以テ検査施行上封緘紙貼付ノ規定改正ニ關シ左ノ建議ヲ爲セリ

雜穀ノ生産検査ニ於ケル封緘紙貼付ノ規定改正ニ關スル建議生産検査ヲ行ヒタル雜穀澱粉ノ小口卷封ノ上ニ貼付セラル、封緘紙ハ實際上離脱スルモノ多ク取扱上不便甚大ナルヲ以テ検査證印押捺ニヨリ検査

等級ヲ表示セラル、様規定ノ改正アランコトヲ建議ス

理由

現行農産物検査規則第二十八條ニハ其ノ末段ニ於テ「封緘紙ヲ卷封ノ封目又ハ箱ノ蓋ニ掛ケテ貼付シ契印ヲ施スヘシ」ト規定シアリ而シテ其ノ實施上ノ結果ニ就テ之ヲ觀ルニ或ハ入庫ノ場合ニ或ハ輸送ノ途中ニ離脱シテ検査證ノ表示ヲ失ヒ爲ニ當業者及一般貨物取扱者ノ不便不利不尠況ヤ出廻最盛ノ降雪時季ニ至ラハ事實上貼付愈困難トナリテ離脱シ去ルモノ益々多カルヘク事態此ノ如クナラハ賣買取引及運送取扱上甚タ澁滞ヲ來シ紛擾頻發ノ惧アルノミナラス検査施行上ニ於テモ再ヒ手數ヲ要スル等經濟上ニ及ホス影響不尠ト思惟ス願フニ證印押捺ハ生産検査即チ庭検査執行上携帶ニ不便ナリトノ理由ト各府縣ノ實例トニヨリ封緘紙使用ヲ規定セラレタルナランモ寒氣強烈ナル本道又以テ府縣同様ニ律セントスルハ謬レルノミナラス各地幸ニ受檢組合等ノ設ケ續出シテ或程度迄ノ集合検査實行セラル、現状ナルニ於テハ検査證印ノ押捺必ツシモ不能ノ施設ニ非ルヘキカト信ス因テ希クハ徒ニ勞多クシテ不完全ナル封緘紙貼付ノ規定ヲ廢シ代フルニ證印押捺ヲ以テ検査等級ノ表示トセラレンコトヲ望ム

右本會第七回臨時總會ノ決議ニヨリ謹テ及建議候也

○大正八年十月二十日付ヲ以テ検査規則中一部改正ニ關スル建議書並ニ重要農産物種子ノ改良統一ニ關

スル建議書ヲ提出セリ

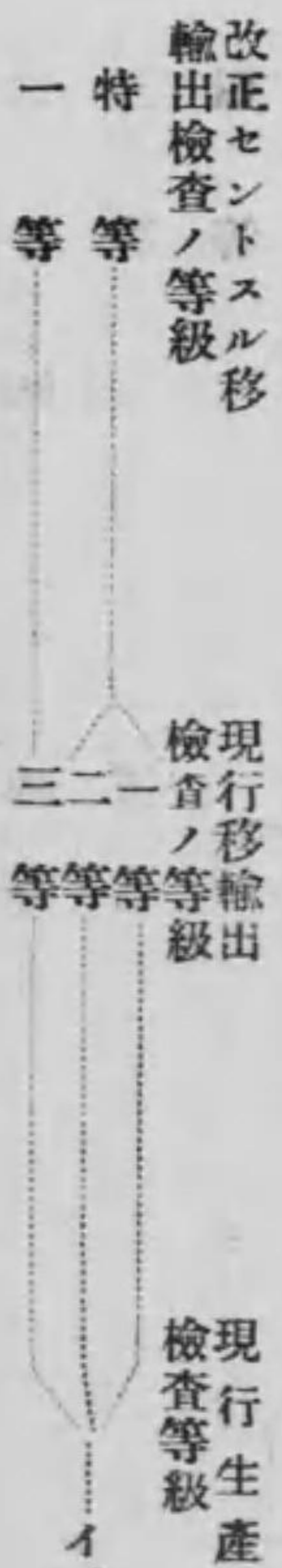
農産物検査規則中一部改正ニ關スル建議

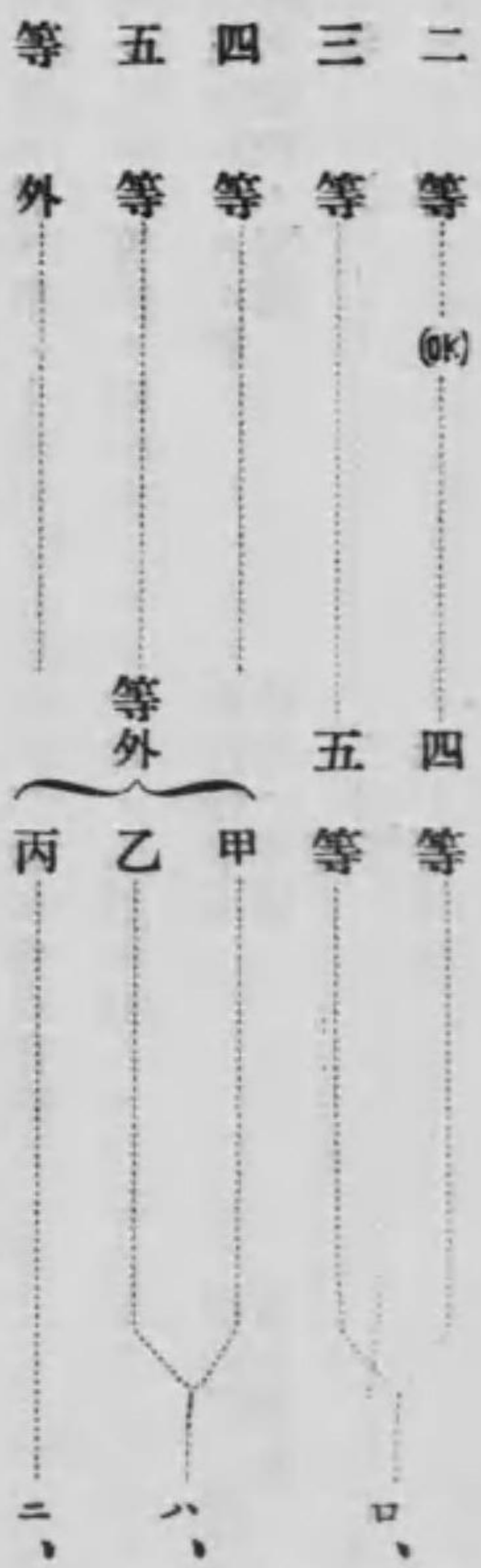
北海道廳令第三十一號(大正八年三月廿三日付)農産物検査規則中第三十三條第三十四條及第三十六條ノ一部並第三十二條第一項第二號ノ末段ヲ左ノ要旨ニ依リテ改正シ第三十二條第一項第二號ノ末段ノ改正ハ可成速ニ其他ノ條項ノ改正ハ大正九年度新穀ヨリ實施セラレンコトヲ建議ス

改正ノ要旨

第三十三條第一項第一號移輸出雜穀ノ等級ハ特一二三、四五等及等外トナシ其標準ノ内容ニ於テハ現時ノ標準二等品程度以上ノモノヲ特等トシ三等品程度ノモノヲ一等トシ以下順ヲ追フテ現時ノ等外丙格ノモノヲ單ニ等外トナス從テ第三號ノ「等外品」ハ之ヲ甲乙丙ニ區分ス」ノ文字ヲ削除スルコト第三十四條ノ精選袋入品ノ二階級ヲ一階級ニ改メ其内容ハ雜穀ニアリテハ改正等級ノ二等品澱粉ニアリテハ一等品ヲ充當ノコトトス從テ第三十六條ノ記號精選二級品ニ削除スルコト

右改正セントスル等級ヲ明瞭ナラシムル爲メ對照表示スレバ左ノ如シ





級粉ニ關スル等級ハ現行ノ通リトシ其ノ一等品ヲok品ニ充ツ

第三十二條第一項第二號移輸出検査包装入ノ規定中末段單以ノ使用ヲ認メサルコトニ改ムルコト以上ノ改正ニ抵觸ノ諸規定ハ自然改正ヲ要スルコト

理由

現行生産検査ハ等級寡少ニシテ各階級ノ範圍廣キニ失スルカ爲メニ該検査ノ目的タル生産改良ノ獎勵上遺憾ナキ能ハス理想トシテハ更ニ細別スヘキ等級増加ノ必要ヲ認ムレトモ検査制度實施ノ初期ニ屬スルヲ以テ暫ク現行ノ儘トナスヘキモ移輸出検査ノ等級中現今ノ標準ニ於テハ一、二等ハ市場取引ノ實際上殆ト有名無實ニ屬スルハ當業者ノ普ク認ムル所ニシテ大正二年検査事業創始以來順次生産改良ノ傾向ヲ呈シツヽアルニ不拘検査ノ成績ニ於テハ却テ逐年饒多ナル等外品ヲ計上スル結果ヲ見ルノ奇現象ヲ示スニ至レリ斯ノ如キハ検査實施ニ際シ鑑定強キニ失シ自然累年ノ査定標準ヲ昂

進セシメタルニ外ナラスト認ム又手撰品ニ◎ノ二階級ヲ設ケタルハ戰時ニ於ケル海外ノ急需ニ應シタル臨機ノ施設ニシテ己ニ平和克復シタル今日以後ニ於テハ海外市場ニ歡迎セラメ、適當ノ程度ニ於テ之レヲ◎ノ一階級トナシ以テ品質ノ精選統一ヲ計リ倍々聲價ノ發揚ニ努ムルヲ緊要ノ處置ナラト認ム

更ニ聯合會検査施行時代ニ於テ移輸出検査ノ包装ニ付單以ノ使用ヲ認メタルハ其當時内地へ移入セル朝鮮大豆ノ單以荷造ニ見ルモ格別荷痛ミノ事實ナカリシヲ以テ之ヲ使用シ得ルニ於テハ本道經濟上裨益尠カラスト認メタルニヨリ品質優良ナルモノニ限り使用シ得ル規定ヲ設ケタルモ其後本道ニ移入セラレタル現品ハ實質粗惡ノモノ多數ヲ占メ之レカ爲メ單以荷造ヲ以テ移輸出シタル雜穀ハ荷痛ミ甚タシク需用地到ル處ニ於テ非難ノ聲ヲ聞クニ至ルハ甚遺憾トスル所ニシテ薬工品生産地ニ於ケル製造ノ實體ハ本會ノ希望ニ適合スヘキ完全ナル品質ノ供給ヲナシ得サルモノト認ムルヲ以テ包装ノ根本的改善ヲ企圖スル今日進ンテ其廢止ヲ要望スル所以ナリ

右本會第八回臨時總會ノ決議ニ因リ謹テ及建議候也

重要農産物種子ノ改良統一ニ關シ建議ノ件

本道生産ノ豌豆菜豆其他ノ雜穀ハ海外輸出品トシテ本邦經濟上ノ重要ノ位地ヲ占ムルニ至レルコト尙ニ慶賀ニ値スヘシト雖モ生産改良ノ効果遲々タルヲ惟フニ及ヒテハ憂慮ニ堪ヘサルモノナキニ非ス御慮深

此點ニ留意セラレ本年度ニ於テ生産検査ヲ斷行セラレタレモ検査ノ統一實績ヲ舉ケ且ツ生産改良ノ目的ヲ達成セムカ爲ニハ一步溯リテ種子ノ改良統一ヲ圖ルコト最モ緊切ナリト思惟ス因テ適切ノ方法ニヨリテ一日モ早ク優良統一ノ種子ヲ普ク全道生産者ニ配布ノ御施設アラシムコトヲ切望ス

理由

本道雜穀ノ品質改善ヲ圖ルハ刻下緊急ノ要務タルコト多言ヲ要セス之レカ生産改良ヲ目的トシテ農事試験場郡町村農會ニ於テハ數年來種子ノ改良統一ニ努メラル其理想ニ於テハ固ヨリ間然スル所ナシト雖モ農事試験場ニ於ケル方法ハ刻下ノ急ニ應スル施設トシテハ隔靴搔癢ノ感ナキ能ハス種子ノ學理的改善ヲ期スルコト固ヨリ可ナリト雖モ本道對外貿易ヲシテ益々優勢ナラシムルニハ品質優良ニシテ且ツ統一セラレタル一定ノ品種ヲ多數供給スルヲ以テ最善ノ策ナリト信ス爾テ生産界ノ現狀ヲ見ルニ播種期ニ於テ所用ノ種子ヲ市場ニ求ムルモノ不尠故ニ品種ノ系統ヲ紊シ生産品ヲシテ多種多様ナラシムルノ結果ヲ生シツ、アリ從テ検査施行上ニ於テモ鑑定複雜ノ因ヲ爲シ自然不統一ヲ來スノ虞ナシトセス因テ速ニ改良統一ノ種子ヲ一般生産者ニ頒布スルヲ以テ機宜ニ適シタル措置ナリト思惟ス即チ農事試験場又各支場ノ施設ヲ擴張シ郡町村農會ノ實質ヲ充實セシメ以テ優良種子ノ普及ヲ迅速ナラシメ或ハ生産者ノ種子購入ニ際シ農産物検査所ヲシテ其撰擇指導ノ任ニ當ラシムルカ如キ何レモ應急ノ一方法ト見ルヲ得ヘキカ之ヲ要スルニ現今ノ施設計畫ニ一步ヲ進メテ更ニ有効適

切ノ方法ヲ講究シ改良統一セラレタル種子ノ頒布ヲ促進スルハ生産検査ノ實施ト相待チ本道貿易ノ大勢ニ順應スル要務ナリト信ス

右本會第八回臨時總會ノ決議ニヨリ謹テ及建議候也

◎大正八年十月二十日付ヲ以テ検査標準品査定委員ノ増員ニ關スル請願及ヒ補助金増額ノ請願書ヲ提出シタリ

検査標準品査定委員ノ増員請願ノ件

大正八年四月北海道應告示第百八十二號農産物検査標準品査定規則ニ依リ本年六月内勸第八八三七號ヲ以テ本會役員又ハ組合員中ヨリ相當鑑識ヲ有スル者推薦方御通牒ニ依リ其當時一組合ヨリ二名宛ノ割當ニテ推舉致置候結果雜穀六名澱粉三名ノ委員御囑託相成候處申迄モナク検査ノ標準品ハ検査等級ノ基準ニシテ商取引ノ實態ニ直接至大ノ關係ヲ有スルノミナラス生産改良上ニ影響スル所亦最モ大ナルカ故ニ標準ノ作製ハ極メテ慎重ヲ要スヘキコト、存候然ルニ現在四千有余名ノ組合員ヲ包有スル本會ヨリ推薦シタル雜穀及澱粉ノ査定委員上記ノ如キ僅少ノ數ニテハ適切ノ標準品ヲ査定スルコト至難ノ業ト被考候而テ推薦スヘキ人員ニ制限アリ且ツ本會各組合同ノ衡平保持ノ關係モ之アリ旁々近時雜穀生産地トシテ重要視セララル、北見方面及有力ナル澱粉再製業者多數ヲ有スル小樽等、リ當該委員ノ推薦不能トナリタル如キ寔ニ遺憾ニ堪ヘサル一例ニ候就テハ本會所屬組合員ヨリ推舉スヘキ人員ヲ更ニ四名増員シ且ツ委

員ハ總テ雜穀澱粉兩者共通ノモノトシテ囑託相成様特ニ御詮議ニ預リ度
本會第八回臨時總會ノ決議ニヨリ謹テ及請願候也

補助金増額ノ請願

検査事業ノ移營ニヨリ大正八年度ヨリ主タル事業ヲ失ヒタル本會ハ其存廢ニ關シ當時聯合各組合互ニ意見ヲ異ニスル所アリタルモ結局道營検査ノ美ヲ濟サシムル趣旨ニ則リ本會存續ノ議ヲ決シ爾來改修シタル定款ニ基キ事業ノ遂行ニ努力シ來リ候然ルニ翻テ財政關係ヲ稽フル時ハ主要財源トシテ認ムヘキモノ僅ニ移輸出検査ノ際抽出サレタル見本ノ還付ニヨリテ生スヘキ資質不安定ナル收入豫想一万圓内外ニ過キス如斯微々タル此財源ヲ以テ廣表十一洲ニ亘ル全道ヲ抱擁セル本組合聯合會ノ歴史の体面ヲ維持シ且ツ其ノ活躍ヲ遂ケテ存置ニ意義アラシムルハ事實上寔ニ至難ノ義ト存候殊ニ物價ノ昂騰ハ殆ト底止スルノ所ナキ趨勢ニアリ此時ニ際シ尙ホ本會所有財産タル小樽外二十二ヶ所ノ建築物ヲ大正九年度ニ於テモ敢テ無償貸附ニ決シタルハ要スルニ検査事業援助ノ精神ニ外ナラス而シテ他ニ收入ノ途ナキ本會ハ當該年度ニ於ケル豫算經理上一層ノ困難ヲ極メ事業遂行ノ資空乏ヲ告ケ或ハ本會ノ存立ヲ無意義ナラシムルノ虞ナキニ非スト存候

上述ノ事由ニ因リ本會カ建築物無償貸附ヲ決シタル微意御酌量ノ上格別ノ御詮議ヲ以テ大正九年度ニ於テハ補助金三千圓ヲ増加シ總額五千圓交付セラル、様特ニ御配慮相煩度茲ニ第八回臨時總會ノ決議ニヨ

リ謹テ請願候也

◎大正九年一月二十二日付ヲ以テ農産物検査諮問會ニ關スル建議及未粉澱粉ノ移輸出検査廢止ニ關スル建議ヲ爲セリ

農産物検査諮問會ニ關スル建議

農産物検査施行ニ關スル諮問會ヲ適當ニ開會セラレテ検査ニ關スル諸般ノ問題ハ細大トナク諮問セラレシコトヲ建議ス

理由

大正八年度ヨリ地方費事業トシテ本道産雜穀澱粉ノ生産並ニ移輸出検査ヲ實施セラル、ニ方リ特ニ諮問機關ヲ設置シテ事業ノ遂行ニ遺漏ナキヲ期セラレタルハ寔ニ機宜ノ御措置ト信ス思フニ検査ノ意義ヲ徹底セシメ所期ノ目的ヲ達成センニハ改善ヲ加ヘ施設ヲ要スヘキ事項固ヨリ尠ナラサルヘシ而モ本事業ノ特質トシテ些々タル事項ノ施設改善モ當事者ノ蒙ムル利害關係ノ影響甚大ナルモノアレハ實行ニ先チテ周到ノ研究ト細心ノ留意ヲ要スヘキハ言ヲ俟タサル所トス願ルニ諮問機關ノ成立以來日ヲ經月ヲ累ネタルモ其ノ開會僅ニ一回ニ過キス斯ノ如キハ經費豫算ノ關係其ノ他已ムヲ得サルニ由ルヘキモ該機關設置ノ趣旨ニ照ラシ聊カ遺憾ノ嫌ナキニ非ス庶幾クハ自今該機關ヲ善用シ其開會度數ヲ増シ検査上ノ諸問題ニ對スル適當ノ解決ヲ需メ施設上ノ參考ニ資シテ官民一致協力ノ

實ヲ舉ケラレシコトヲ

右本會第十二回定時總會ノ決議ニ依リ謹テ及建議候也

未粉澱粉移輸出検査廢止ニ關スル建議

未粉澱粉ノ移輸出検査ヲ施行シ之ニ精粉同様ノ記號ヲ附セラル、ハ幾多ノ弊害ヲ醸成シ當業者多年ノ努力ニヨリ贏チ得タル本道澱粉ノ販路ト聲價ヲ失墜スル虞アルヲ以テ該検査ノ施行ヲ廢止セラレンコトヲ建議ス

理由

- 一、内地ニ於ケル需用ヲ獎勵シ未粉ヲ道外ニ移出セシムルコト多キニ至ラハ内地市場ノ供給過剩トナリ益々市價ヲ低落セシメテ農家ニ不利ヲ與フルコトニ歸着シ事實上農家救済ノ意義ニ背馳スルコトナルヘシ
- 二、未粉ハ精粉ニ比シ價格ニ差違アリト謂フモ必意未粉ノ荷造簡易ナルニヨル而シテ之ヲ移輸出スルニ當リテハ精粉同様完全ノ荷造ヲ要スルヲ以テ價格ノ差違僅少トナリ未粉トシテ需用ハ或ハ期待ニ副ハサルコトアルヘシ果シテ然ラハ其移輸出検査ハ結局無意義ノコトナルヘシ
- 三、未粉ノ儘内地ニ移出セラレタルモノハ検査ノ煩ナク且ツ勞銀低廉ノ事情等ヨリ斯業ニ經驗ナキ内地ニ於テ精粉ニ加工セラル、コトアルヘシ其加工ニ當リテハ自然莢雜物ノ除去ヲ怠リ乾燥ヲ不良

ナラシメテ品質粗惡ニ陥ルハ勿論時ニ或ハ種々混入セラレタル不良品ヲ海外市場ニ輸出セラル、虞アルヲ免レス對外貿易上最モ寒心ニ堪ヘサルコトナリトス

四、未粉ノ儘内地ニ移出セラレタルモノハ又未粉ノ儘海外ニ輸出セラル、コトヲ豫想セサル可カラズ其必然ノ結果トシテ精粉工業ハ次第ニ内地若クハ海外ニ移リ逐年發達シタル本道ノ加工工業ハ衰退ノ悲運ニ逢着シ品位ノ改善等ハ到底之ヲ期シ得サルコトナルヘシ殊ニ又精粉同様ノ記號ニヨリテ未粉ノ輸出セラル、コトアラハ世界優秀ノ名聲ヲ博シタル檢一日本粉ノ品位ト聲價ハ復タ海外市場ニ見ルヲ得サルニ至ルヘシ

五、検査ニ對スル標準品ハ最モ嚴正ナル査定會ニ於テ作成セラル、コトハ現行規程ノ明示スル所トス而シテ未粉澱粉ニ對シテハ未タ曾テ標準品ノ査定ナシ強テ精粉ニ準シテ之ヲ検査スルカ如キハ移輸出検査ノ權威保持上其當ヲ得タルモノト謂フ可ニス

以上列記スル所ハ未粉澱粉ノ移輸出禁止ヲ要望スル理由ノ一端ニ過キス之ヲ要スルニ農家一時ノ困難ヲ救済セントスル施設ハ道産澱粉ノ將來ニ對シ却テ甚大ナル不利益ヲ招致スル虞アルヲ以テ此際斷然未粉ノ移輸出検査ヲ廢止セラレタシ右本會第十二回定時總會ノ決議ニ依リ謹テ及建議候也

第五節 検査切手ノ處理

検査事業執行中検査料徴收ノ便法トシテ本會ノ發行シタル検査切手ハ事業ノ移管ト共ニ使用停止トナリタルヲ以テ元買捌所タル北海道銀行本支店ヨリ返付ヲ受ケタル分ハ中村、井上ノ前正副組長ニ於テ嚴密ニ其ノ數量ヲ對照シ大正八年八月中全部之ヲ却却處分シ又小賣人若クハ組合受檢者ノ手許ニ殘存シタル部分ニ對シテハ引換方周知ノ手段ヲ執リ漸次之ヲ現金ニ引換タリ即チ斯ノ如クシテ決算期末迄ニ回收シタルモノ、數量ハ一錢券四千六百六十五枚二錢券二万五千二百二十枚十錢券一万二百九枚二十錢券四千八百十八枚四十錢券六枚一圓券八百二十一枚二圓券十八枚ニシテ此總金額ハ三千三百八十九圓九十五錢ニ達シタリ而シテ回收済ノモノハ小樽在任評議員立會照合ヲ了シテ全部燒却處分ヲ果シタリ

第六節 文書取扱件數

大正八年度ヲ通シテ本會カ取扱ヒタル文書ノ件數ハ發送ニ於テ四百五十六件收受ニ於テ千八百十三件合計二千二百六十九件トス一見極メテ少キニ似タレトモ一件ノ發送ニシテ文書ノ總數百餘通ニ上ルカ如キ場合多クアリ例ヘハ調査事項ノ報告照會ノ如キ總テ一件トシテ處理シタルカ故ニ實際取扱ヒタル文書ノ發送收受ハ其數量蓋シ必シモ寡少ニ非ルナリ只事業縮少ノ今日亦前年度ノ如キ多數ノ件數ニ上ラサルハ固ヨリ當然ノコトナリトス

第七節 雜件

上來ノ記述ハ大正八年度ニ於ケル處務ノ大要ナリトス尙記述ニ漏レタル雜件ノ主ナルモノヲ摘録スレハ左ノ如シ

- 一、五月二十九日 多年本會ノ爲メ從事セラレタル理事山崎周信氏ヨリ辞任届出アリタリ
- 一、六月八日 新歸朝者北海道廳技師(本會海外販路調査囑託)山田勝伸氏ヲ招請シテ堺小學校ヲ會場トシ海外視察上ノ講演會ヲ開催シタリ
- 一、六月二十二日 小樽俱樂部ニ於テ本會功勞者ノ表彰式ヲ舉行シタリ
- 一、六月二十三日 北海道廳ノ照會ニヨリテ農産物検査諮問委員ヲ推薦シ同三十日ニ検査標準品査定委員ヲ推薦照復シタリ
- 一、六月二十五日 臨時總會假決議ノ定款變更條項ニ關シ各組合及缺席代表員ニ夫々通知シタリ
- 一、六月三十日 大正七年度業務成績及決算報告ヲ其筋ニ提出シタリ
- 一、七月三日 元理事山崎周信氏ニ當分ノ間理事ノ事務取扱方ヲ囑託シタリ
- 一、七月十六日 東部組合ノ總會アリ山崎囑託理事之ニ臨席ス
- 一、七月二十日 副組長會議ヲ催シ塚島、清原兩副組長出席岩村組長座長トナリ調査事業實行上ノ方針

其他ニ關シ協議シタリ

- 一、七月二十二日 ヨリ同二十四日ニ亙リ道内主要地ノ組合員ニ調査事務囑託ノ依頼ヲ爲セリ
- 一、八月八日 前正副組長タル中村多四良、井上安次郎ノ兩君來所鶴川書記立會ニテ北海道銀行ヨリ返付ノ検査切手ヲ調査シ數量點檢ノ後全部燒却シタリ其枚數左ノ如シ

一 錢 券	六八、二〇三枚	二 錢 券	二四〇、三九五枚
十 錢 券	一八七、〇二九枚	二十 錢 券	七五、四七〇枚
一 圓 券	三五、七九二枚		
合計	六〇六、八八九枚		

- 一、八月二十五日 代表員盛勇三君辭任届出アリ九月二十九日ニ至リ補欠代表者ノ通知ヲ受ケタリ
- 一、九月末 ヨリ十月中旬ニ亙リ職員ヲ出張セシメテ全道出廻狀態調査ヲ兼テ調査囑託員トノ連絡ヲ計リタリ
- 二、九月三十日 副組長會ヲ開催シ臨時總會ニ提案スヘキ議案ニツキ協議シタリ
- 二、十月三日 評議員山口樂平君本會會計ノ事務ヲ監査セラレタリ
- 一、十一月ヨリ十二月ニ亙リ岩村組長内地視察ヲ遂ケ且ツ東京、横濱、神戸、大坂、下關等ニ於ケル適材ヲ物色シ本會調査事務ヲ囑託シタリ

- 一、大正九年一月十二日 副組長會議ヲ開催シ總會ニ提案スヘキ大正九年度經費豫算其他重要事項ニツキ協議シタリ

- 一、大正九年一月十二日 評議員伊井億右衛門君、林與三郎君本會事務ノ監査ヲ行ハレタリ
- 一、大正九年一月十四日 開催ノ通常總會ニ於テ組長岩村德治郎君ノ辭任承認アリ次テ補欠當選ノ井上安次郎君一月三十日就任アリタリ
- 一、二月十日 北海道農産物検査所ヨリ大正八年度雜穀澱粉ノ検査標準品ノ配附ヲ受ケタリ
- 一、二月二十日 從來休刊シタリシ會報ヲ再刊シ爾來毎月發行ノ事トセリ
- 一、三月末 井上組長ハ内地視察ヲ兼テ神戸大阪方面ノ調査囑託員ヲ更任シ又職員ハ全道各方面ニ出張シテ各支廳農會等ト調査上ノ連絡ヲ計リタリ
- 一、三月三十一日 東京、横濱ノ調査囑託員ヲ解任シ又道内道外ノ調査囑託員ニ對シ本年度調査事務遂行ニ關スル感謝狀ヲ贈呈シタリ全文左ノ如シ

感 謝 狀

本會調査事業遂行ニ方リ書下ノ誠誠ナル援助ニ因リ充ク感目ヲ達成シタルハ寔ニ感謝ノ至リニ堪ヘサルナリ茲ニ大正八年度終リヲ告クルニ際シ謹テ謝意ヲ表ス

大正九年三月三十一日

北海道雜穀商同業組合聯合會
組長 井上安次郎

第五章 會計

大正八年度北海道雜穀聯合會經費豫算更正(大正八年六月二十一日決議)
商同業組合(同年七月二十一日認可)

經常部 歲入之部

科 目	豫算額	更正額	増△減	附 記
第二款 雜 收 入	13,000,000	14,500,000	1,500,000	
第一項 雜 收 入	13,000,000	14,500,000	1,500,000	
第四目 雜 收 入	4,950,000	6,450,000	1,500,000	不用電話及不用品賣却代
合 計	15,000,000	16,500,000	1,500,000	

歲出之部

科 目	豫算額	更正額	増△減	附 記
第一款 事 業 費	2,750,000	5,947,500	3,197,500	
第一項 試驗及調査費	1,500,000	1,945,000	445,000	
第一目 調 査 費	1,500,000	1,945,000	445,000	調査員月四十五圓一人自七月至三月九ヶ月分
第三項 檢 査 切 手 買 戻 費	1,000,000	3,500,000	2,500,000	貳錢券貳万枚四百圓十錢券五千枚五百圓貳拾錢券五千枚千圓壹圓券五百枚五百圓貳圓券五十枚百圓
第一目 同 上	1,000,000	3,500,000	2,500,000	
第四項 雜 給		2,912,500	2,912,500	
第一目 賞 與		90,000	90,000	調査員月俸ノ二ヶ月分
第二目 手 當		2,012,500	2,012,500	同上月俸ノ五割自七月至三月九ヶ月分
第二款 事 務 費	6,471,800	8,047,100	1,575,300	
第一項 報酬及俸給	3,044,000	3,134,000	90,000	
第二目 俸 給	2,544,000	2,644,000	90,000	書記平均額ヲ四十五圓ニ増差額自七月至三月九ヶ月分
第二項 雜 給	2,327,800	3,058,100	730,300	

第二目 備人料	二〇六・〇〇〇	四四八・〇〇〇	二四一・〇〇〇	小使一名月二十三圓自七月至三月九ヶ月分價與金三十五圓
第三目 賞與	四四・〇〇〇	四四四・〇〇〇	二〇・〇〇〇	書記俸給増差額ノ二ヶ月分
第五目 手當	九一六・八〇〇	一、三九〇・二〇〇	四七三・四〇〇	臨時手當支給規定改正ノ結果ニ因ル
第三項 需用費	一、〇八五・〇〇〇	一、八三五・〇〇〇	一七五、〇〇〇	
第二目 消耗品費	三〇〇・〇〇〇	五〇〇・〇〇〇	二〇〇・〇〇〇	筆紙最用紙帳簿類百圓薪炭點火料百圓
第三目 印刷書及費	二三五・〇〇〇	三三五・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇	業務成績五百部一部二十錢ヲ四十錢ニ増差額
第四目 通信運搬費	四〇〇・〇〇〇	五五〇・〇〇〇	一五〇・〇〇〇	郵便電信料百三十圓荷造及運搬費貳拾圓
第五目 雜費	一〇〇・〇〇〇	四〇〇・〇〇〇	三〇〇・〇〇〇	諸雜費
第三款 會議費	九一〇・六八〇	一、七〇〇・六八〇	八〇〇・〇〇〇	
第一項 總會費	五五九・四一〇	一、〇五五・四一〇	五〇〇・〇〇〇	總會一回分旅費並ニ諸雜費
第二項 評議員會費	三五五・二七〇	六四五・二七〇	三〇〇・〇〇〇	評議員會一回分旅費並ニ雜費
第四款 豫備費	四、八六七・五二〇	七九四・六一〇	四、〇七二・九一〇	
合計	一五、〇〇〇・〇〇〇	一六、五〇〇・〇〇〇	一、五〇〇・〇〇〇	

理由

歳入ノ部第二款第一項第四目ニ於テ金千五百圓ヲ増加シタルハ既定豫算タル金四千九百五十四圓ニ對シ既ニ金千貳百三十七圓ノ自然増収アリタレトモ尙且電話壹個買却未済ノモノアリテ收入確實ナルニ因ル

歳出之部第一款第一項第一目ニ於テ金四百五圓ノ増額ヲ要スルハ囑託員ノミニテハ調査事務執行上不便ナカラサルヲ以テ調査員トシテ別ニ一名ヲ專任スル必要アルニ因ル、第三項第一目ニ於テ金貳千五百圓ノ増額ヲ要スルハ検査切手買戻ノ豫想外ニ多額ニ上リタルニ因ル、第四項第一目ヲ新設シ金九拾圓ヲ計上シタルハ調査員任用ノ結果ニ因ル、同第二目ヲ新設シ金貳百貳圓五拾錢ヲ計上シタルハ同上ノ結果ニ因ル

第二款第一項第二目ニ於テ金九拾圓ノ増額ヲ要スルハ少數ノ定員書記ヲ以テ諸般ノ事務ニ當ルシムルヲ以テ適任者ヲ任用セサル可カラサルニ依リ任用ノ都合上豫算ニ不足ヲ生スル虞レアルニ因ル、第二項第二目ニ於テ金貳百四十圓ノ増額ヲ要スルハ給仕ノミニテハ内外ノ用ヲ辨セシムル能ハサルヲ以テ小使一名雇入ノ必要アルニ因ル、同第三目ニ於テ金貳拾圓ノ増額ヲ要スルハ書記給増額ノ結果ニ因ル、同第五目ニ於テ金四百七拾三圓四拾錢ノ増額ヲ要スルハ戰時經濟狀態ノ依然持續スルノミナラス倍々物價昂騰ノ傾向アルヲ以テ一般官吏ノ待遇ニ準シ手當支給規定ヲ改正スルノ止ムヲ得サリシニ因ル、第三項第二目ニ於テ金貳百圓ノ増額ヲ要スルハ物價ノ昂騰依然トシテ止マサルヲ以テ經理困難ナルニ因ル、同第三目ニ於テ金百圓ヲ増加シタルハ業務成績印刷費ニ不足ヲ生スルニ因ル、同第四目ニ於テ金百五拾圓ノ増額ヲ要スルハ検査事業移管前ノ事務ヲ繼承處理スル爲メ多額ノ通信費運搬費ヲ要シタルニ因ル同第五目ニ於テ金參百圓ノ増額ヲ要スルハ事務室再度移轉ノ爲メ其都度電燈ノ取付電話ノ移轉其ノ他ノ雜費ヲ要シタルニ因ル

第三款第一項ニ於テ金五百圓ノ増額ヲ要スルハ臨時總會召集ノ必要アルニ因ル、第二項ニ於テ金參百圓ノ増額ヲ要スルハ評議員會召集ヲ一回分増加スル必要アルニ因ル

大正九年度經費豫算

經常部

科 目	豫算年度		對 比 增 減	附 記
	本年 額	前年 額		
第一款 補助金	三,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	
第一項 補助金	三,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	
第一目 道補助金	三,五〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	北海道廳ヨリ交付ヲ受クル見込
第二款 雑収入	八,一〇〇,〇〇〇	四,五〇〇,〇〇〇	三,六〇〇,〇〇〇	
第一項 雑収入	八,一〇〇,〇〇〇	四,五〇〇,〇〇〇	三,六〇〇,〇〇〇	
第一目 預金利子	三〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	銀行預金利子
第二目 過怠金	—	三〇,〇〇〇	—	
第三目 抽出見本 賣却代	八,〇〇〇,〇〇〇	八,〇〇〇,〇〇〇	—	移輸出検査ノ抽出見本道廳ヨリ返戻 ヲ受クル分
第四目 雑収入	七〇,〇〇〇	六,四五〇,〇〇〇	六,三八〇,〇〇〇	不用品賣却代
第三款 繰越金	一,四〇〇,〇〇〇	—	一,四〇〇,〇〇〇	
第一項 繰越金	一,四〇〇,〇〇〇	—	一,四〇〇,〇〇〇	
第二項 繰越金	—	—	—	
第三項 繰越金	—	—	—	
第四項 繰越金	—	—	—	
合計	一,四〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇	—	

科 目	豫算年度		對 比 增 減	附 記
	本年 額	前年 額		
第一款 事業費	六,六五四,〇〇〇	五,九四七,五〇〇	七〇六,五〇〇	
第一項 試験 調査費	四,七四〇,〇〇〇	一,九〇五,〇〇〇	二,八三五,〇〇〇	道外要ノ所五ヶ所ニ對シ調査 託報一ヶ所平均三百八十圓 那四ヶ所ニ對シ臨時報一ヶ所 平均百圓其他ノ調査費六百圓
第一目 調査費	二,九〇〇,〇〇〇	一,九〇五,〇〇〇	九九五,〇〇〇	
第二目 俸給	一,二六〇,〇〇〇	—	一,二六〇,〇〇〇	書記一人月六十五圓雇一人四十圓
第三目 旅費	五六四,〇〇〇	—	五六四,〇〇〇	職員旅費汽車賃四千八百圓分一理六 錢汽船賃百圓分一理六錢日當六十 圓分一理貳圓宿泊四十八夜分一夜三 圓
第二項 需用費	一,〇九〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	八四〇,〇〇〇	
第一目 圖書 印刷費	三五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇	調査報告毎月五百部一部五錢此金額 三百圓其他ノ印刷費五十圓
第二目 雜費	—	一〇〇,〇〇〇	—	
合計	一,四〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇	—	

第三目	消耗品費	200.000					用紙及文房具代
第四目	通搬信費	540.000			540.000		郵便電信料百八十圓約東郵便料六十圓囑託員通信費三百圓
第三項	檢査切手買戻費		3,500.000			3,500.000	
第一目	檢査切手買戻費		3,500.000			3,500.000	
第四項	雜給	840.000		292.500	547.500		
第一目	賞與	210.000		90.000	120.000		職員俸給二ヶ月分
第二目	手當	630.000		101.500	427.500		職員俸給額ノ五割
第二款	事務費	5,369.940		8,477.100	1,050.000	2,835.260	
第一項	報酬及俸給	2,000.000		3,134.000		1,092.000	
第一目	役員報酬	500.000		500.000			前年度通り
第二目	俸給	1,500.000		2,634.000		1,092.000	書記二人月俸平均六十五圓
第二項	雜給	2,000.940		3,058.100	570.000	1,111.260	
第一目	旅費	248.940		733.000		454.060	役員旅費汽車賃二千四百四十二圓分一哩七錢日當二十一日分一日三圓宿泊十二夜分一夜三圓

第二目	備入料	550.000		448.000		570.000		給任一人月十五圓小使一人月二十圓賞與七十圓臨時人夫延十人一人壹圓五十錢
第三目	賞與	260.000		440.000		184.000		職員俸給二ヶ月分
第四目	賄料			730.000		730.000		
第五目	手當	990.000		1,390.200		400.200		職員並ニ給任小使俸給額ノ五割
第三項	需用費	1,210.000		1,835.000		650.000		
第一目	備品費	50.000		50.000				印章代並ニ諸修繕費
第二目	消耗品費	400.000		500.000		100.000		用紙及文房具類薪炭點火料
第三目	圖書及印刷費	370.000		335.000		350.000		官報新聞雜誌十種七十圓圖書十冊三十圓業務成績三百部貳百四十圓其他ノ印刷費三十圓
第四目	通搬信費	150.000		550.000		400.000		電話使用料市外通話料九十圓郵便電信料五十圓荷造及運搬費拾圓
第五目	雜費	250.000		400.000		150.000		諸雜費
第四項	雜支出	330.000		110.000		130.000		
第一目	退職給與基金	330.000		110.000		130.000		
第三款	會議費	634.740		1,710.660		1,075.940		

第一項 總會費	三六八・六四〇	一、〇五五・四一〇	六八六・七〇〇	一回分旅費並ニ雜費
第二項 評議員會費	二六六・一〇〇	六五五・二七〇	三八九・一七〇	同上
第四款 豫備費	三九四・三二〇	七九四・六二〇	四〇〇・三〇〇	
合計	一三、〇〇〇・〇〇〇	一六、五〇〇・〇〇〇	四、四一一・五〇〇	七、九一一・五〇〇

理由

歳入ノ部第一款補助金ニ於テ前年度ニ比シ金千五百圓ヲ増加シタルハ補助金増額ノ請願ヲ爲シタルニ因ル
 第二款雜收入ニ於テ金六千四百圓ヲ減額シタルハ主トシテ不用品賣却代金ノ減少シタルニ因ル
 第三款繰越金ノ科目ヲ設ケ金千四百圓ヲ計上シタルハ前年度雜收入ニ於テ電話賣却代ノ增收アリタルヲ以テ繰越金ノ確實ナルニ因ル
 歳出ノ部第一款事業費ニ於テ金七百六圓五拾錢ヲ増加シタルハ前年度ノ検査切手買戻費ヲ計上セザリシモ一面調査事業ヲ擴張セシ結果ニ因ル

大正九年度經費豫算

臨時部 歳入

科 目	豫算年度	前年度	對比増減	附 記
第一款 寄附金	二五〇・〇〇〇			
合計	二五〇・〇〇〇			中村多四郎外三名ヨリ寄附金

歳出

科 目	豫算年度	前年度	對比増減	附 記
第一款 圖書及印刷費	二五〇・〇〇〇			
第一項 圖書印刷費	二五〇・〇〇〇			調査報告並ニ業務成績印刷代
合計	二五〇・〇〇〇			

大正八年度歳入歳出決算

經常部 歳入之部

科	目	決算額	豫算額	◎増減	附記
第一款	補助金	二,000,000	二,000,000		
	第一項 補助金	二,000,000	二,000,000		
第二款	雑収入	一七,二九,四四五	一四,五〇〇,〇〇〇	◎ 二,七九,四四五	
	第一項 雑収入	一七,二九,四四五	一四,五〇〇,〇〇〇	◎ 二,七九,四四五	
	第一項 預金利子	一七〇,二一〇	一〇〇,〇〇〇	◎ 一五〇,二一〇	北海道銀行當座預金利子
	第二項 過怠金徴収		三〇〇,〇〇〇	◎ 三〇〇,〇〇〇	
	第三項 抽出見本 賣却代	八,五八,二七〇	八,〇〇〇,〇〇〇	◎ 五八,二七〇	移出検査抽出見本北海道農産物検査所ヨリ交付ヲ受ケタル分
	第四項 雑収入	八,五三,一〇五	六,四五〇,〇〇〇	◎ 二,〇八,一〇五	電話十一個賣却代七千四百十四圓野付牛所在建物一棟賣却代五十圓不用雜穀賣却代三百八十六圓八錢不用雜穀賣却代ノ過年度分六百五十四圓九十三錢五厘其 他ノ雑収入七十五圓
合	計	一九,二九,四四五	一六,五〇〇,〇〇〇	◎ 二,七九,四四五	

歳出之部

科	目	決算額	豫算額	◎増減	附記
第一款	事業費	五,八四七,二三〇	五,九四七,五〇〇	◎ 一〇〇,二七〇	
	第一項 試験及調査費	一,九〇三,七五〇	一,九〇五,〇〇〇	◎ 一,二五〇	調査員俸給三百五十二圓十錢調査電話報並手當六百六十九圓十錢調査出十三錢蠟粉七十五錢旅費六十一錢及市場調査費百九十九圓六十一錢
	第二項 需用費	一七五,八六〇	二五〇,〇〇〇	◎ 七四,一四〇	
	第一目 圖書及印刷費	一七五,八六〇	一五〇,〇〇〇	◎ 二五,八六〇	參考用圖書三圓七十四錢諸調査用紙印刷費九十九圓六十二錢調査報告七十二圓五十錢
	第二目 雜費		一〇〇,〇〇〇	◎ 一〇〇,〇〇〇	
	第三項 検査切手費	三,三八九,九五〇	三,五〇〇,〇〇〇	◎ 一一〇,〇五〇	
	第一目 検査切手買戻費	三,三八九,九五〇	三,五〇〇,〇〇〇	◎ 一一〇,〇五〇	壹錢券四千六百六十五枚貳錢券貳萬五千貳百貳十枚拾錢券一萬貳百九十九枚肆百八十八枚拾捌錢券四十九枚壹圓券八百二十一枚貳圓券十八枚
	第四項 雜給	三七七,六七〇	二九二,五〇〇	◎ 八五,一七〇	
	第一目 賞與	九〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇		調査員賞與

第二目 手当當	二八七・六七〇	二〇二・五〇〇	八五・一七〇	同 手當
第二款 事務費	八、一七三・一六〇	八、〇四七・二〇〇	一一五・九六〇	
第一項 報酬及俸給	二、三二四・九二〇	三、一三四・〇〇〇	八一九・〇八〇	
第一目 役員報酬	四四九・九二〇	五〇〇・〇〇〇	五〇・〇八〇	組長報酬ノ年額貳百圓副組長報酬年額百圓三人
第二目 俸給	一、八六五・〇〇〇	二、六三四・〇〇〇	七六九・〇〇〇	理事年俸千貳百圓一人三月分書記三人最高六十八圓最低三十八圓雇一人月三十五圓
第二項 雜給	三、二五一・三七〇	三、〇五八・一〇〇	一九三・二七〇	
第一目 旅費	八三八・七〇〇	七〇三・〇〇〇	一一五・七〇〇	役員旅費日當三圓六十一日宿泊三圓二方夜汽車七錢三四六四哩相長京坂地當貳圓五十錢三日宿泊三圓一夜汽車五錢二百二十八哩
第二目 傭人料	三二七・七二〇	四四八・〇〇〇	一一〇・二七〇	日宿泊一圓八十錢二夜汽車四錢五百九十二哩六錢八十四哩
第三目 賞與	四四四・〇〇〇	四四四・〇〇〇		給任一人月額十一圓小使一人月額十四圓臨時小使賃與四人分一人平均十三圓五十錢
第四目 賄料	五〇・一五〇	七三・〇〇〇	三・八五〇	職員賞與十八分
第五目 手當	一、五九〇・七九〇	一、三九〇・二〇〇	二〇〇・五九〇	職員給仕夜勤賄料職員百二十一夜分一夜三十五錢給仕五十二夜分一夜十五錢職員及給仕小使手當

第三項 需用費	二、五六八・八七〇	一、八三五・〇〇〇	七五・一八七〇	
第一目 備品費	二二・八〇〇	五〇・〇〇〇	二八・二〇〇	器具九圓四十錢修繕料拾貳圓四十錢
第二目 消耗品費	四七八・三二〇	五〇〇・〇〇〇	二二・七六〇	諸用紙百二十四圓六錢筆墨文具三十圓五十二錢帳簿貳十圓新炭點火料二百一十一圓九錢其他、雜品八十四圓四十五錢
第三目 圖書印刷費及	六六七・二二〇	三三五・〇〇〇	三三・二二〇	官報新聞雜誌九十一圓五錢圖書九圓八十七錢業務成續貳百一圓貳拾五圓海外調查報告貳百九十一圓貳拾五圓
第四目 通信運搬費	四八七・二二〇	五五〇・〇〇〇	六二・八八〇	郵便電信料三百二十八圓貳拾錢約東郵便利三圓七十九錢電話使用料百十二圓五十二錢市外通話料三拾四圓十錢荷造及運搬費八圓五十一錢
第五目 雜費	九三三・六一〇	四〇〇・〇〇〇	五三・六一〇	正副組長ノ贈呈記念品三百二十圓十錢理事贈與慰勞金三百圓元旦長節祝賀式費三十三圓三十七錢事務協議會諸雜費式費九十七圓十五錢其他ノ諸雜費九十九圓九十九錢
第四項 雜支出	一一〇・〇〇〇	一一〇・〇〇〇		
第一目 退職金給	一一〇・〇〇〇	一一〇・〇〇〇		
第二款 會議費	一、八三四・六二〇	一、七二〇・六八〇	一一三・九四〇	
第一項 總會費	一一四九・〇四〇	一、〇五五・四一〇	九三・六三〇	總會四回分代表員旅費日當六百四十二圓九十九錢會場席料及諸雜費五百六圓五錢
第二項 評議員會費	六八五・五八〇	六五五・二七〇	三〇・三二〇	評議員會四回分旅費日當六百六十八圓九十八錢諸雜費十六圓六十錢

第四款 豫備費		七九四・六二〇	七九四・六二〇	內第一款第一項一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百
合 計	一五、八五五・〇一〇	一六、五〇〇・〇〇〇	六四四・九九〇	

收支差引金三千三百六十四圓三十九錢五厘ノ剩餘

說明

歲入之部

第二款第一項一日ニ於テ金百五拾圓貳錢ノ增收ハ前年度分當座預金利子ノ收入アリタルニ因ル
 同 二目ノ收入ナキハ定款違背者ヨリ過意金ノ徵收セシモノナキニ因ル
 同 三目ニ於テ金五百拾八圓貳拾七錢ノ增收ハ抽出見本ノ交附額増加シタルニ因ル
 同 四目ニ於テ金貳千八拾壹圓壹錢五厘ノ增收ハ電話費却代ノ豫定價格以上ノ增收ト用品ノ賣却並ニ過年度分ノ不用雜費却代金ノ收入アリタル等ニ因ル

歲出之部

第一款第一項一日ニ於テ剩餘ヲ生スル見込ニテ金四拾五圓ヲ第二項一日ニ流用減額シタルモ後チ管内出張ノ必要ヲ生シ旅費支出上金四拾三圓七拾五錢ノ不足ヲ生シタルニ依リ豫備費ヨリ流用處辨シタリ
 第二款第一項一日ニ於テ金貳拾五圓八拾六錢ノ超過ヲ來セルハ調査報告費ノ減少シタルモ一面用紙印刷ノ必要ヲ生シ且ツ參考用圖書購入ノ爲メ兼ニ第一項一日ヨリ金四拾五圓ヲ流用増額シタルモ豫定ノ圖書年度內購入シ得サリシニ依リ結局金拾九圓拾四錢ノ剩餘ヲ生シタ

同 二目ニ於ケル剩餘ハ年度內支出ナカリシニ因ルモノニシテ該剩餘ハ第四項二目ニ流用減額シタリ
 第三項一日ニ於テ金百拾圓五錢ノ剩餘ヲ生シタルハ年度內引換申出ナキニ因ル
 第四項二目ニ於テ金八拾五圓拾七錢ノ超過ヲ來セルハ臨時手當支給ノ結果ニシテ該不足ニ對シ第二項二目ヨリ金百圓ヲ流用増額シタルヲ以テ結局金拾四圓八拾三錢ノ剩餘ヲ生シタリ
 第二款第一項一日ニ於テ金五拾圓八錢ノ剩餘ヲ生シタルハ副組長就任ノ選レタルニ因ル
 同 二目ニ於テ金七百六拾九圓ノ剩餘ヲ生シタルハ理事ノ欠員ナリシ結果ニ依ルモノニシテ該剩餘ノ內第二項一日ヘ金百五拾圓同五目ヘ金貳百五拾圓第三項三日ヘ金參百參拾參圓ヲ流用減額シ結局金參拾六圓ノ剩餘ヲ生シタリ
 第二項一日ニ於テ金百參拾五圓七拾錢ノ超過ヲ來シタルハ役員出張ノ度數増加シタルニ因ル此ノ不足額ハ第一項二目ヨリ金百五拾圓ヲ流用處辨シタルヲ以テ結局金拾四圓參拾錢ノ剩餘ヲ生シタリ
 同 二目ニ於テ金百貳拾圓貳拾七錢ノ剩餘ヲ生シタルハ小使任命ノ都合上支給額ノ減少シタルニ因ル
 同 四目ニ於テ金貳拾貳圓八拾五錢ノ剩餘ヲ生シタルハ夜勤度數ノ減シタルニ因ル
 同 五目ニ於テ金貳百圓五拾九錢ノ超過ヲ來シタルハ職員並ニ給仕小使ニ臨時手當支給ノ結果ニシテ兼ニ第一項二目ヨリ金貳百五拾圓ヲ流用増額シタルヲ以テ結局金四拾九圓四拾壹錢ノ剩餘ヲ生シタリ第三項一日ニ於テ金貳拾八圓貳拾錢ノ剩餘ヲ生シタルハ節約ノ結果ニ因ル
 同 二目ニ於テ金貳拾壹圓七拾八錢ノ剩餘ヲ生シタルハ說寫節約ニ努メタルニ因ル
 同 三目ニ於テ金參百參拾二圓拾貳錢ノ超過ヲ來シタルハ會報ノ發行並ニ山田技師ノ海外調査報告ノ二刷等豫算外ノ支出ヲ要シタルニ因ル此不足額ハ第一項二目ヨリ金參百三拾三圓ヲ流用處辨セリ
 同 四目ニ於テ金六拾貳圓八拾八錢ノ剩餘ヲ生シタルハ郵便電信料ノ減少シタルニ因ル

同 五目ニ於テ金五百三拾貳圓六拾壹錢ノ超過ヲ來シタルハ正副組長ノ退任ニ際シ記念品ノ贈呈山崎理事へ贈與慰勞金等ニ諸協議會ノ雜費等豫算外ノ支出アリシニ因ルモノニシテ此不足額ハ豫備費ヨリ流用處辨セリ
 第三款第一項ニ於テ金九拾三圓六拾三錢ノ超過ヲ來シタルハ總會日數延長ノ結果ニ因ル面シテ繰ニ第二項へ金貳拾圓ヲ流用減額シタルヲ以テ更ラニ其不足額百拾三圓六拾三錢ヲ豫備費ヨリ流用處辨セリ
 第二項ニ於テ金參拾圓參拾壹錢ノ超過ハ同上ノ理由ニシテ此不足額ノ第一項ヨリ金貳拾圓豫備費ヨリ金拾圓參拾壹錢ヲ流用處辨セリ
 第四款豫備費ヨリ第一款第一項一目へ金四拾參圓七拾五錢第二款第三項五目へ金五百參拾貳圓六拾壹錢第三款第一項へ金百拾三圓六拾三錢同第二項へ金拾圓參拾壹錢合計金七百圓參拾錢ヲ流用處辨シ全九拾四圓參拾貳錢ノ剩餘ヲ生シタリ
 以上説明ノ如ク歲入歲出ニ於テ金三千三百六拾四圓參拾九錢五厘ノ剩餘ヲ生シタルヲ以テ之ヲ翌年度ニ繰越シタリ

本會 財產

本會ノ主ナル財產左ノ如シ

(一) 土地 建物

倉庫石造)	宅地	坪數	價	格	備考
八・五五六	一六三・五〇〇	九、一七二・八〇〇	小樽區堺町七十八番地		
	一一・八七五	一七、五三三・六九〇	同上所在		
		二、四八〇・一五〇	本館三階建三十八坪七合五勺 附屬二階建六十三坪 平家建十坪壹合二勺五才		
			同上所在		

建物	坪數	價	格	備考
三三・四五二	六・〇〇〇	九〇・〇〇〇	本別所在 (東部組合ヨリ買入)	
四一・七五〇	一四・〇〇〇	一一〇・〇〇〇	止若所在 (同)	
四五・六三三	一一・〇〇〇	一八〇・〇〇〇	新得所在 (同)	
計		四七、四五二・〇八〇		
同		八・七五〇	三三・二五〇	音更所在 (同)
同		六・〇〇〇	九〇・〇〇〇	札內所在 (同)
同		一一・二五〇	一六八・七五〇	清水所在 (同)
同		一一・二五〇	一六八・七五〇	池田所在 (同)
同		一〇・〇〇〇	一五〇・〇〇〇	斜里所在 (同)
同		七・五〇〇	一一三・五〇〇	紋別所在 (同)

同	一一二五〇	一六八七五〇	高島所在 (同)	上)
同	三〇〇〇	四五〇〇〇	勇足所在 (同)	上)
同	三〇〇〇	四五〇〇〇	伏古所在 (同)	上)
同	一〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	芽室所在 (同)	上)
同	六〇〇〇	九〇〇〇〇	浦幌所在 (同)	上)
同	六〇〇〇	九〇〇〇〇	利別所在 (同)	上)
同	一三〇〇〇	一八〇〇〇〇	茂寄所在 (同)	上)
同	一三〇〇〇	一八〇〇〇〇	足寄所在 (同)	上)
同	九〇〇〇	一一二〇〇〇	佐念頃所在 (同)	上)
計	一一三九〇〇〇			
合計		四九、八三〇、八〇〇		

(備考) 價格欄金額ハ宅地及東部組合ヨリ買入タル建物ハ買入價格新築建物ハ建築費ヲ掲上セリ
 (二) 什器
 金庫外七拾四點
 此評價金千六百參拾六圓貳錢

附

北海道雜穀商同業組合聯合會定款 (大正八年二月十九日改正認可)

第一章 組織名稱及事務所ノ位置

第一條 本會ハ明治三十三年法律第三十五號重要物産同業組合法ニ準據シ左記同業組合ヲ聯合シテ之ヲ組織ス

小樽雜穀商同業組合

北海道中央雜穀商同業組合

北海道東部雜穀商同業組合

函館雜穀商同業組合

第二條 本會ハ北海道雜穀商同業組合聯合會ト稱シ事務所ヲ小樽區ニ置ク

第二章 目的及其業務

第三條 本會ハ本道產雜穀澱粉ノ弊價ヲ向上シ其ノ販路ヲ擴張シ營業上ノ弊害ヲ矯正シ共同ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的トス

第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ業務ヲ執行スルモノトス

一、検査事業ニ關シ重要ナル事項ヲ調査シ當局ノ諮問ニ應ヘ又ハ建議ヲ爲ス

- 二、移輸出雜穀澱粉ノ品位及包裝容器等ノ改善ニ關スル研究調査ヲ爲スコト
- 三、雜穀澱粉ノ生産販路並内外市場ニ於ケル需給關係ノ調査ヲ爲スコト
- 四、聯合各組合組員ノ取引狀態ヲ監察シ不正行爲ノ取締ヲ爲スコト
- 五、其他必要ナル諸般ノ施設及調査ヲ爲スコト

第三章 役員選舉及資格權限

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、組長 一名
- 一、副組長 三名
- 一、評議員 八名

第六條 組長副組長並評議員ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ評議員ハ聯合各組合ノ組合員ヨリ二名宛選出スルモノトス

前項ノ選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行ヒ得票ノ最モ多キ者ヲ當選者トス若シ得票同數ナル時ハ年長ニヨリ同年ナルトキハ抽籤ヲ以テ當選者ヲ定ム

第七條 正副組長並評議員ノ任期ハ各二個年トシ滿期再選スル事ヲ得組長副組長並評議員ニ關員ヲ生シ通常總會ヲ俟ツコト能ハサルトキハ臨時總會ヲ開キ補闕選舉ヲ行フモノトス
補闕選舉ニ依リ就任シタル者ハ前任者ノ殘任期ヲ繼承スルモノトス
第八條 役員ニ當選シタル者ハ正當ノ事由ナクシテ辭スルコトヲ得ス

第九條 組長ハ本會全般ノ事務ヲ統理ス

第十條 副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス組長副組長共ニ事故アルトキハ評議員中互選ヲ以テ代理ス

第十一條 評議員會ハ評議員ヲ以テ組織シ必要ト認メタル時組長之ヲ招集ス
評議員三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ示シ評議員會ノ招集ヲ請求シタル時ハ組長ハ之ヲ招集スヘシ

前項ノ場合ニ於テ組長カ一週間内ニ評議員會招集ノ手續ヲ爲ササル時ハ請求者ハ之ヲ招集スルコトヲ得

第十二條 評議員會ノ職務權限左ノ如シ

- 一、組長ヨリ總會ニ提出スル議案ヲ審査シ組長ニ對シ意見ヲ述フルコト
- 二、本會ノ財産及業務ノ狀況ヲ監査シ毎事業年度一回以上之ヲ總會ニ報告スルコト
- 三、組長ノ諮問ニ應スルコト

第十三條 評議員會ノ議長ハ出席評議員中ヨリ毎回之ヲ互選スルモノトス

第十四條 第二十一條第二十三條第二十五條乃至第二十七條ノ規定ハ評議員會ニ之ヲ準用ス

第十五條 本會ニ理事一名書記若干名ヲ置ク

理事ハ組長ノ指揮ヲ受ケ本會ノ事務ヲ管理シ書記ハ組長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ分掌ス
理事及書記ハ組長之ヲ任免ス但シ理事ノ任免ニ就テハ評議員會ニ諮問スルモノトス

第十六條 本會役員及代表員ノ報酬並旅費額ハ總會ノ決議ニヨル理事以下事務員ノ報酬及旅費額ハ評議員會ニ諮問シテ組長之ヲ定ム

第十七條 本會ノ代表員ハ十二名トシ聯合各組合ヨリ各三名宛選出スルモノトス

第十八條 代表員ノ任期ハ二個年トシ滿期再選スルコトヲ得但シ闕員ヲ生シタルトキハ一個月以内ニ補闕選舉ヲ行フモノトス補闕選舉ニ依リ就任シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期ヲ繼クモノトス

第十九條 代表員ニ當選シタル者ハ正當ノ事由ナクシテ辞スル事ヲ得ス

第四章 總 會

第二十條 總會ハ代表員ヲ以テ組織シ通常臨時ノ二種トス通常總會ハ毎年一月之ヲ開キ臨時總會ハ組長ノ必要ト認メタルトキ又ハ代表員定數ノ五分ノ一以上カ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ示シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組長ハ之ヲ招集スヘシ評議員カ第十二條第二號ノ規定ニ依リ報告ヲ爲スタメ總會ノ招集ヲ請求シタル時亦同シ

前項請求ノ場合ニ於テ組長一週間内ニ臨時總會招集ノ手續ヲ爲サハル時ハ請求者ハ北海道廳長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スル事ヲ得

第二十一條 通常總會並臨時總會ハ開會十日以前ニ組長ヨリ其ノ日時場所及議事ノ項目ヲ各代表員ニ通知スヘシ但シ臨時急施ヲ要スル場合ハ開會通知ノ期日ヲ短縮スルコトヲ得

第二十二條 總會ノ決議ニ附スヘキ事項左ノ如シ

- 一、翌年度施行スヘキ事業方法
- 二、經費豫算及徵收方法
- 三、諸官衙諮問(重大ナルモノ)

第二十四、其ノ他必要ノ事項

第二十三條 會議ハ代表員定數ノ半數以上出席スルニ非レハ開會スルコトヲ得ス

前項ニ定メタル員數ノ代表員出席セザルトキハ出席シタル代表員ノ過半數ヲ以テ假決議ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各代表員ニ對シテ假決議ノ趣旨ノ通知ヲ發シ更ニ一ヶ月内ニ第二回ノ總會ヲ招集スルコトヲ要ス

第二回ノ總會ニ於テハ出席シタル代表員ノ過半數ヲ以テ假決議ノ認否ヲ決ス

第二十四條 會議ノ議長ハ組長之ニ任ス組長事故アルトキハ副組長之ニ代リ若シ正副組長共事故アルトキハ代表員中ヨリ之ヲ互選スルモノトス

第二十五條 議事ハ出席員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス若シ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

第二十六條 總會ノ議長、決議録ヲ作り左ノ事項ヲ記載シ議長及出席者二名以上之ニ記名捺印スヘシ

一、開會ノ日時及場所

二、代表員ノ定數及出席者ノ員數

三、議事ノ要領

四、議決シタル事項

五、賛否ノ數

第二十七條 本會ノ議事ハ普通ノ會議法ニ依ル

第五章 會計

第二十八條 本會ノ費用ハ財産ヨリ生スル收入地方費補助金並雜收入ヲ以テ之ニ充テ剩餘金ヲ生シタル

トキハ總會ノ決議ヲ經テ積立金ニ編入シ又ハ翌年度ニ繰越スモノトス但シ收入其ノ他ノ都合ニ依リ

經費支出ニ差支ヲ生シタルトキハ評議員會ニ諮リ一時借入ヲ爲シ之ヲ處理シ借入金ハ當該年度内豫

定ノ收入ヲ以テ返還スルモノトス

第二十九條 聯合各組合組合員移輸出検査ノ受檢ニ際シ抽出サレタル雜穀澱粉ノ見本ハ之ヲ本會ニ申受

ケ豫算ニ繰入ルルモノトス

第三十條 豫算ノ變更ヲ要スル場合ハ總會ノ決議ヲ經豫算ノ流用ヲ要スル場合ハ評議員會ノ決議ヲ經

シ但シ豫算ノ流用ハ同款内項目ノ金額ニ限ルモノトス

第三十一條 會計年度ハ毎年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第三十二條 本會ノ業務成績及經費決算ハ毎年會計年度後三ヶ月以内ニ書面ヲ以テ評議員及代表員ノ承

認ヲ經テ主務官廳及聯合各組合ニ報告スルモノトス

第六章 加入及脱退

第三十三條 本會ニ加盟セントスル組合ハ其組合會又ハ總會ノ決議ニ基キ定款ヲ添ヘ加入ノ申込ヲ爲ス

ヘシ加入ノ申込アリタルトキハ總會ニ於テ之ヲ決スルモノトス

第三十四條 本會ヲ脱退セントスル組合ハ其組合會又ハ總會ノ決議ニ基キ農商務大臣ノ認可寫ヲ添ヘ脱

退届ヲ差出スヘシ

脱退シタル組合ハ本會ノ財産ニ付分配ヲ要求スルコトヲ得サルモノトス

第七章 定款變更並聯合會解散

第三十五條 定款ノ變更ハ總會ニ於テ代表員三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ決議スルコトヲ得ス

本會ノ解散ハ聯合組合三分ノ二以上ノ同意アルヲ要ス

第三十六條 精算人ハ精算ノ結果財産ニ剩餘ヲ生シタルトキハ各組合ニ配付シ不足ヲ生シタルトキハ各

組合ヨリ徴收スルモノトス

前項ノ分配又ハ賦課方法ハ解散當時ノ聯合各組合半數以上ノ同意ニ依リ之ヲ決スルモノトス

第八章 移輸出雜穀澱粉ノ取締

第三十七條 聯合各組合ノ組合員ハ成規ノ検査ヲ受ケサル雜穀及澱粉ヲ授受、移出、又ハ輸出スルコトヲ得ス検査済ノモノト雖有効期間經過シタルモノニ付亦同シ

第三十八條 組合員ハ自己ノ取扱ニ係ル精選袋入ノ雜穀及澱粉ニ對シ責任ヲ明示スル爲メ北海道廳ニ登録シタル責任番號票ヲ包装面ニ附スヘシ

第三十九條 組合員ハ恣ニ自家ノ責任番號ヲ變更スルコトヲ得ス

第九章 取引規定

第四十條 各組合員ハ澱粉ハ正味百ポンド建燕麥ハ三十貫匁建ヲ以テ其他ノ雜穀ハ和百斤正味十六貫匁建ヲ以テ取引スルモノトス

第四十一條 聯合組合各組合員ハ取引上最モ信義ヲ重ンシ需用地ニ之ヲ積送スルニ際シテ必ス検査ノ等級要領ヲ明示スヘシ

第四十二條 注文ニ際シ該等級品ヲ積送シ若シ注文主ニ於テ故ナク苦情ヲ構ヘ或ハ直引ヲ強要シ荷受ヲ爲ササル者アルトキハ其ノ由ヲ詳記シ所屬組合ノ組長ヲ經テ本會事務所ヘ申告スヘシ

同一ノ荷受主ニシテ前項ノ行爲ニ依リ組合員中ヨリ三回以上ノ申告アリタルトキハ組長ハ其ノ顛末

ヲ調査シ事實ト認ムルトキハ被申告者ニ對シ其ノ履行ヲ促シ仍之ニ應セサルトキハ次期ノ評議員會ノ決議ヲ經一時組合員ト被申告者トノ取引ヲ中止セシムルコトアルヘシ

第四十三條 評議員會ニ於テ前條第二項ノ決議ヲ爲シタルトキハ本會組長ハ其ノ趣旨ヲ聯合組合各組合員ニ通知スヘシ

組合員前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ決議ノ事項ヲ遵守スヘシ

第四十四條 第四十二條ノ申告者ニシテ契約履行又ハ損害賠償ヲ受ケタルトキハ其ノ旨所屬組合長ヲ經テ本會ニ届出ツヘシ

組合員ニシテ前項ノ事項ヲ知リタルトキハ本會ニ申告スルコトヲ得

第四十五條 本會ハ取引中止ノ事故消滅セリト認メタルトキハ組長ハ其ノ旨ヲ各組合員ニ通知スヘシ

第十章 違約處分

第四十六條 聯合各組合ノ組合員ニシテ第三十八條第三十九條第四十三條第二項第四十四條第一項ノ規定ニ違背シタルモノアルトキハ組長其ノ實否ヲ調査シ評議員ニ諮詢シテ五圓以上五百圓以下ノ過怠金ヲ徴收シ又ハ違約物件ヲ沒收ス但シ過怠金及沒收シタル物件ハ本會ノ雜收入トシテ經費ニ繰込ムモノトス

前項過怠金ヲ徴收シ又ハ違約物件ヲ沒收シタルトキハ其旨所屬組合ニ通告ス

第四十七條 現在就任ノ本會役員及代表員ハ大正八年六月ノ改選期迄尙從前ノ例ニ依ル但シ其間缺員ヲ生スルモ第五條第十七條ノ員數ニ缺クルコトナキ限リハ別ニ補缺選舉ヲ行ハサルモノトス

第四十八條 前條以外ノ各改正條項ハ大正八年四月一日ヨリ實施ス

第四十九條

第五十條

第五十一條

第五十二條

第五十三條

第五十四條

第五十五條

第五十六條

第五十七條

第五十八條

第五十九條

第六十條

第六十一條

第六十二條

第六十三條

第六十四條

第六十五條

第六十六條

第六十七條

第六十八條

第六十九條

第七十條

第七十一條

第七十二條

第七十三條

第七十四條

第七十五條

第七十六條

第七十七條

第七十八條

第七十九條

第八十條

第八十一條

第八十二條

第八十三條

第八十四條

第八十五條

第八十六條

大正八年度雜穀澱粉相場月別表 (小樽)(單位錢)

月 品 名	大正八年四月			同 五 月		
	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均
小豆	11.55	11.00	11.28	12.50	11.70	12.10
大納言小豆	14.50	13.00	13.80	13.50	12.50	13.00
大豆	8.70	8.00	8.35	9.00	8.20	8.60
大秋田大豆	8.55	8.35	8.45	8.90	8.35	8.65
大豆	—	—	—	—	—	—
黑大福大豆	9.70	8.50	9.10	1.00	9.00	9.50
元豆	—	—	—	8.00	—	8.00
室蘭福元豆	—	—	—	—	—	—
大豆	10.10	9.35	9.73	13.50	10.50	12.00
手丸亡鴉豆	7.80	7.50	7.65	8.70	7.80	8.25
大豆	7.40	6.20	6.80	9.20	6.35	7.73
長中長鴉豆	7.00	6.35	6.58	7.45	6.50	6.98
元豆	8.00	7.30	7.65	8.15	7.45	7.80
金時元豆	7.70	6.70	7.20	7.80	7.00	7.40
元豆	9.35	8.55	8.91	10.45	9.00	9.73
熊本隱元豆	12.80	11.00	11.90	18.00	12.70	15.25
麥	—	—	—	11.00	—	11.00
小蕎麥	9.10	8.85	8.98	11.30	9.15	10.23
種	16.70	10.70	11.20	14.50	11.55	13.08
洋和菜種	—	—	—	—	—	—
種	—	—	—	9.50	7.55	.53
亞燕澱粉	10.30	8.85	9.58	10.30	—	10.30
	12.50	10.55	11.53	16.50	12.40	14.45

品名	大正八年六月			同 七 月		
	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均
小豆	14.00	12.80	13.40	15.80	12.60	14.20
大納言小豆	—	—	—	16.50	—	16.50
大豆	9.30	9.00	9.15	11.50	8.50	1.00
大秋田大豆	9.60	9.00	9.30	10.20	8.70	9.45
大豆	—	—	—	—	—	—
黒大福大豆	9.85	7.80	8.83	9.80	7.80	8.80
元豆	—	—	—	—	—	—
室蘭福元豆	—	—	—	8.40	—	8.40
大豆	11.90	1.00	10.95	11.80	9.30	10.55
手丸鴉豆	—	—	—	—	—	—
大豆	9.15	6.20	7.68	7.80	6.50	7.15
長中長鴉豆	7.45	6.20	6.83	7.50	6.40	6.95
元豆	8.10	6.40	7.25	9.00	6.50	7.75
金時元豆	7.50	6.20	6.85	9.00	6.60	7.80
元豆	1.00	9.65	9.83	7.40	6.40	6.90
熊本碗元豆	18.45	16.10	17.28	19.50	10.25	14.88
麥	—	—	—	—	—	—
小蕎麥	11.60	11.55	11.58	11.50	—	11.50
種	15.00	13.00	14.00	15.10	10.40	12.75
洋和菜種	—	—	—	14.40	10.30	12.35
種	11.70	10.50	11.10	—	—	—
麻種	—	—	—	—	—	—
粉	16.00	13.35	14.75	15.30	12.00	13.65

同 八 月			同 九 月			同 十 月		
最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均
15.60	14.80	15.20	16.50	8.60	12.55	16.80	13.30	15.05
15.30	—	15.30	12.80	8.50	16.50	16.00	13.50	—
11.70	10.50	11.10	11.90	8.50	10.20	11.60	10.60	—
11.05	—	11.05	11.50	9.30	10.40	11.60	9.90	10.75
—	—	—	—	—	—	—	—	—
9.70	8.20	8.95	13.00	7.00	1.90	16.30	14.50	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	7.00	6.20	6.60	—	—	—
15.30	12.60	13.95	12.40	10.40	11.40	14.30	8.20	—
—	—	—	—	—	—	14.45	12.00	13.25
9.80	7.40	8.60	10.70	6.90	8.80	11.00	7.80	0
7.70	6.40	7.05	9.50	6.50	8.00	—	—	—
7.80	6.80	7.30	10.70	6.60	8.65	11.30	8.20	.75
7.70	7.10	7.40	7.30	7.00	7.15	—	—	—
9.80	8.20	9.00	12.00	9.60	10.80	—	—	—
17.40	13.00	15.20	15.00	12.70	13.85	14.40	11.00	12.70
—	—	—	10.80	9.40	10.10	11.30	11.00	11.15
—	—	—	11.50	5.50	8.50	12.00	9.80	10.90
15.30	13.00	14.15	14.70	12.70	13.70	16.00	14.75	153.75
14.50	11.00	12.75	—	—	—	12.50	—	12.50
11.50	11.30	11.40	14.70	11.90	13.30	15.00	12.50	13.75
9.40	9.10	9.25	8.80	7.50	8.15	11.50	8.40	9.95
14.40	10.40	12.40	11.75	10.55	11.15	11.35	9.85	10.60

品名	大正八年十一月			同十二月		
	最高	最低	平均	最高	最低	平均
	小豆	15.00	14.90	14.95	16.50	14.13
納言小豆	16.55	16.00	16.28	16.10	15.90	16.00
大豆	11.80	11.50	11.65	12.00	11.40	11.70
秋田大豆	12.40	10.80	11.60	12.50	11.50	12.00
大豆	14.50	13.85	14.18	14.20	13.80	14.00
大福大豆	14.70	13.80	14.25	14.50	13.70	14.10
元豆	—	—	—	—	—	—
關福元豆	—	—	—	—	—	—
大豆	14.00	9.00	11.50	11.00	9.90	10.45
亡鵝豆	10.10	9.80	9.95	15.00	10.00	12.50
大豆	10.30	9.50	9.90	9.75	9.65	9.70
長鵝豆	9.70	8.35	9.03	12.50	8.00	10.25
元豆	10.00	9.30	9.65	10.10	9.70	9.90
時元豆	8.50	—	8.50	8.50	7.80	8.15
元豆	10.70	8.70	9.70	14.00	13.50	13.75
本碗元豆	13.85	11.35	12.60	14.15	9.70	11.93
麥	10.55	9.90	10.23	11.80	10.75	11.28
小蕎麥	11.00	9.40	10.20	10.70	9.70	10.20
種菜	17.00	16.20	16.60	17.50	16.50	17.00
洋和種菜	15.50	—	15.50	—	—	—
種麥粉	14.60	13.30	13.95	15.70	—	15.70
亞燕澱	10.00	8.70	9.35	—	—	—
	9.85	8.75	9.30	8.80	7.50	8.16

同一月			同二月			同三月		
最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
17.20	15.70	16.45	16.85	15.80	16.33	16.90	16.00	16.45
17.00	12.00	14.50	16.40	14.60	15.50	16.40	—	16.40
12.80	11.60	12.20	—	—	—	12.85	12.40	12.63
12.80	12.10	12.45	—	12.75	12.75	12.85	12.30	12.58
13.50	13.20	13.35	12.60	12.15	12.38	12.50	—	12.50
14.50	11.55	13.03	14.25	12.55	13.40	13.60	10.20	11.90
—	—	—	—	—	—	—	—	—
13.35	12.00	12.68	12.20	11.90	12.05	—	—	—
14.80	8.80	11.80	12.85	8.30	10.58	11.90	8.15	10.03
10.80	8.80	9.80	10.70	10.40	10.55	10.60	10.40	10.50
11.80	7.25	9.53	7.95	7.90	7.93	9.80	—	9.80
9.70	6.60	8.15	9.10	8.70	8.90	9.65	9.00	9.13
10.70	9.40	10.05	10.70	9.85	10.28	10.85	10.40	10.63
8.85	7.50	8.180	8.95	8.35	8.65	8.55	8.00	8.28
14.50	10.70	12.70	9.40	8.80	9.10	6.50	6.30	6.40
13.80	11.00	12.40	12.15	10.50	11.33	11.45	8.80	10.13
12.55	10.20	11.38	12.00	—	12.00	12.30	11.90	12.10
10.00	9.70	9.85	9.90	9.45	9.68	9.90	8.75	9.33
18.40	16.50	17.45	—	—	—	15.50	14.60	15.05
—	—	—	—	—	—	—	—	—
16.30	12.20	14.25	16.20	—	16.20	—	—	—
10.30	8.35	9.33	10.10	8.55	9.33	9.90	9.65	9.78
9.50	8.45	8.98	8.60	8.25	8.43	8.37	7.80	8.09

累年度雜穀澱粉

品名	月別	四月	五月	六月	七月	八月
小豆	大正三年	20.00	19.05	19.28	21.25	20.40
	同四年	13.20	13.38	13.23	12.08	11.55
	同五年	—	10.90	11.05	10.90	12.45
	同六年	8.10	10.31	8.95	6.06	5.42
	同七年	7.43	6.76	6.65	7.18	8.04
大納言	大正三年	—	—	—	—	—
	同四年	—	—	—	—	—
	同五年	—	—	—	—	—
	同六年	6.59	10.70	8.53	5.98	5.45
	同七年	7.08	6.91	7.23	7.55	8.08
大豆	大正三年	10.95	11.35	11.10	11.35	10.85
	同四年	8.03	8.35	8.18	7.85	7.50
	同五年	8.60	8.20	8.13	9.23	9.88
	同六年	5.32	5.64	5.63	5.87	5.92
	同七年	7.35	7.60	7.10	8.70	—
秋田大豆	大正三年	11.15	11.50	11.35	11.45	11.13
	同四年	8.05	8.30	8.10	7.83	7.45
	同五年	—	8.03	8.00	9.15	9.83
	同六年	5.31	5.64	5.63	5.81	6.14
	同七年	7.90	6.92	6.83	—	7.55
黒大豆	大正三年	13.10	13.40	14.20	14.65	15.30
	同四年	7.73	7.83	7.30	6.65	6.40
	同五年	—	7.50	7.28	7.65	9.05
	同六年	5.09	6.35	5.75	5.81	5.95
	同七年	16.41	—	—	—	—
鶉ノ子大豆	大正三年	—	12.50	—	—	—
	同四年	8.60	9.10	9.03	8.30	8.10
	同五年	—	8.80	10.00	11.50	9.80
	同六年	—	5	—	—	—
	同七年	—	—	—	—	—
大福豆	大正三年	8.50	8.70	8.53	8.20	7.75
	同四年	10.08	10.70	11.75	10.15	9.75
	同五年	—	9.95	9.80	10.70	12.30
	同六年	26.70	30.00	17.93	11.00	—
	同七年	16.41	13.78	11.00	9.75	—
中福豆	大正三年	7.10	7.33	7.10	7.00	6.35
	同四年	8.30	8.80	8.48	8.00	7.85
	同五年	—	9.00	8.95	8.00	11.00
	同六年	—	—	—	—	—
	同七年	—	—	—	—	—
長鶉豆	大正三年	6.35	6.50	6.45	6.25	6.20
	同四年	5.60	6.55	7.13	6.25	6.10
	同五年	—	6.90	7.50	7.23	7.90
	同六年	17.63	19.63	—	7.12	7.00
	同七年	13.10	11.32	6.17	6.50	7.69
中長鶉豆	大正三年	5.75	6.00	6.05	6.95	—
	同四年	5.10	5.35	6.10	5.55	5.50
	同五年	—	6.80	7.30	6.95	7.50
	同六年	16.08	19.00	14.38	7.00	5.63
	同七年	10.80	6.38	5.23	5.20	6.50

平均相場月別表 (小樽)(單位錢)

九	十	十一	十二	一	二	三
17.15	18.30	10.55	11.40	12.40	13.98	13.80
10.50	11.78	11.95	12.63	12.20	11.80	11.10
13.13	7.38	7.75	7.15	6.30	5.75	5.98
4.97	5.99	6.85	6.40	6.98	7.61	8.61
7.70	8.23	8.85	9.56	10.75	10.56	9.39
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	4.95	6.84	4.36	6.50	7.75	8.60
7.50	8.06	8.43	8.97	10.80	11.10	—
9.95	7.53	7.15	7.15	7.90	8.45	8.13
7.70	8.03	8.35	8.43	8.18	8.05	8.05
11.10	5.55	5.73	5.25	4.90	4.70	4.75
5.80	—	6.15	6.11	6.34	7.55	8.36
7.85	7.30	7.70	8.55	8.87	8.35	8.40
10.35	7.58	7.25	7.15	7.98	8.60	8.10
7.85	8.03	8.50	8.55	8.28	8.15	7.93
11.10	5.30	5.68	5.23	4.93	4.73	4.78
6.09	5.80	6.20	6.30	6.52	7.66	8.22
—	—	7.97	8.25	—	8.74	7.69
13.50	7.95	8.00	7.48	8.50	9.43	8.95
7.10	8.10	9.15	9.00	8.45	8.15	7.75
9.15	9.40	6.70	6.25	5.10	4.83	5.08
6.29	6.00	—	8.00	7.33	7.80	—
—	—	—	13.70	—	10.00	—
—	8.13	8.90	9.40	9.20	9.03	9.40
8.00	—	9.65	9.90	9.75	9.90	9.50
—	6.30	6.78	5.70	5.50	5.05	5.00
—	—	—	—	—	—	—
7.25	5.00	5.75	7.65	9.63	10.75	10.63
9.68	11.05	11.38	11.58	10.63	8.70	7.05
12.25	15.10	15.45	15.00	14.65	16.95	21.25
10.96	14.56	15.61	14.25	16.76	17.06	18.68
16.90	15.06	13.49	14.53	15.06	12.64	9.37
5.65	4.48	5.88	7.23	8.45	9.45	9.18
8.75	10.55	10.73	11.45	10.70	8.90	8.00
12.15	13.80	1.690	15.70	16.90	16.90	21.10
10.87	16.45	16.40	—	16.45	17.95	—
14.90	14.13	16.20	—	15.00	—	—
5.10	4.23	5.23	5.85	7.05	7.88	6.70
7.30	8.20	7.20	10.45	9.15	8.50	7.65
9.03	11.65	12.85	12.25	12.30	14.10	—
8.06	11.49	11.47	9.94	12.05	13.05	14.52
6.90	9.41	9.51	11.20	10.08	8.15	6.07
4.73	3.55	3.90	4.38	6.10	7.05	6.15
6.58	9.80	8.20	9.18	8.75	7.70	7.10
7.95	10.60	11.50	10.95	10.60	12.50	14.75
6.77	5.9	9.50	8.15	10.18	10.79	12.51
6.30	9.41	9.51	11.20	10.68	8.15	6.07

累 年 度 雜 穀 澱 粉

月 別 品 名	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	
金時豆	大正三年	6.05	5.95	6.10	6.08	6.13
	同四五年	5.05	5.15	5.95	7.08	6.25
	同六七年	16.61	18.12	13.47	7.00	6.25
	同七	11.01	7.50	5.73	5.57	6.62
室蘭 隱元	大正三年	7.05	7.18	6.85	6.90	6.60
	同四五年	8.55	9.00	8.08	8.08	8.40
	同六七年	24.00	29.00	—	8.70	11.05
	同七	—	—	—	—	8.00
手亡豆	大正三年	5.50	5.35	5.50	4.50	—
	同四五年	6.60	7.00	7.00	—	—
	同六七年	25.30	27.00	—	—	11.25
	同七	22.34	16.34	15.43	12.25	17.10
青豌豆	大正三年	3.80	8.80	4.13	4.38	4.05
	同四五年	5.70	6.73	7.05	6.45	6.83
	同六七年	26.35	14.50	—	9.35	12.93
	同七	11.92	10.41	18.90	16.52	13.34
赤豌豆	大正三年	5.35	5.20	5.05	4.70	3.95
	同四五年	4.20	4.15	3.63	2.98	2.98
	同六七年	7.25	5.33	5.66	5.60	5.58
	同七	—	7.15	6.80	6.80	6.20
小 麥	大正三年	4.88	4.70	5.25	4.00	4.85
	同四五年	5.35	5.48	5.30	4.15	4.60
	同六七年	5.48	6.50	4.60	4.85	5.48
	同七	—	—	6.13	6.32	6.68
洋菜種	大正三年	6.75	6.58	6.20	5.75	5.86
	同四五年	6.55	6.68	6.50	6.00	5.53
	同六七年	8.92	6.38	6.25	7.35	8.23
	同七	11.18	9.58	10.17	11.23	13.46
和菜種	大正三年	6.50	6.48	5.85	5.38	5.70
	同四五年	6.23	6.43	6.20	4.88	5.23
	同六七年	10.70	6.03	6.20	7.05	7.80
	同七	—	—	6.50	10.61	12.73
蕎 麥	大正三年	3.57	3.95	4.18	3.55	3.70
	同四五年	1.95	1.95	1.83	1.65	1.90
	同六七年	3.95	2.15	2.10	2.35	3.08
	同七	7.00	3.93	4.10	4.42	—
亞麻種	大正三年	5.00	4.90	—	4.70	4.50
	同四五年	4.80	4.95	—	—	4.95
	同六七年	7.69	—	4.00	5.05	5.60
	同七	—	7.58	6.73	5.90	7.11

平 均 相 場 月 別 表 (續)

九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	一 月	二 月	三 月
4.80	7.25	4.13	4.63	5.88	6.70	5.95
5.85	6.85	7.78	8.40	8.80	8.50	7.25
8.05	10.67	11.45	10.13	10.00	11.45	12.80
6.57	9.10	8.93	8.56	10.22	10.87	12.41
7.22	8.54	9.49	11.23	10.21	8.25	6.89
6.30	4.15	4.65	6.05	7.88	9.35	9.43
8.93	10.70	11.20	11.50	11.00	9.95	8.40
11.95	15.70	16.70	15.95	15.40	17.00	21.45
90.87	14.30	15.86	14.80	—	17.98	19.60
14.80	—	—	—	—	—	—
5.10	4.30	5.50	6.38	7.65	8.50	7.25
7.90	9.30	9.75	10.40	10.85	10.95	8.35
12.28	14.25	18.40	19.15	18.15	19.90	23.00
12.18	16.48	16.25	15.01	18.65	20.07	22.93
7.33	14.16	14.68	15.45	13.54	7.35	6.45
4.35	4.25	6.13	7.10	7.38	8.15	7.15
8.08	10.70	11.10	10.80	12.70	4.75	13.75
14.10	17.60	19.60	17.85	19.50	19.50	17.85
7.69	9.66	11.76	10.36	13.66	13.79	14.60
15.15	13.00	12.62	14.78	13.33	10.55	8.73
3.88	3.55	3.93	4.70	4.98	5.08	4.90
3.95	4.18	4.30	4.80	4.70	4.65	4.65
5.50	6.28	6.75	6.40	6.05	6.45	6.75
6.78	7.40	—	8.00	—	—	—
—	—	11.70	—	—	—	—
5.08	4.95	4.90	5.10	5.48	6.40	5.75
4.88	4.93	5.40	5.60	6.73	5.35	5.25
5.30	6.13	6.75	6.18	5.33	5.18	5.10
6.32	6.35	6.45	6.61	6.50	8.30	10.38
10.53	—	11.70	—	—	—	—
6.15	5.58	5.70	6.25	6.58	6.95	6.90
5.88	6.33	6.78	7.45	7.55	7.25	6.80
8.25	8.78	9.50	9.30	8.78	8.88	9.23
12.00	11.61	11.33	10.89	12.10	12.33	12.20
13.23	12.55	11.59	11.97	12.13	11.00	11.19
5.93	5.35	5.43	5.53	6.38	6.68	6.63
5.60	5.90	6.40	6.90	7.05	6.90	6.55
7.83	7.90	9.18	9.03	8.20	8.03	8.25
10.37	11.61	—	9.25	—	—	10.10
11.85	—	10.80	—	—	—	—
3.15	2.63	2.65	2.50	3.20	3.35	2.23
2.70	2.95	3.00	3.08	2.85	2.48	2.15
3.50	—	3.05	4.13	3.53	3.25	3.38
—	5.40	5.33	5.53	—	7.12	8.55
8.50	9.40	9.08	9.30	9.78	9.39	8.34
4.95	4.30	4.23	4.63	5.45	6.05	5.40
4.53	4.70	4.08	5.65	5.90	5.68	5.63
5.50	6.53	7.45	7.25	6.75	7.20	7.73
7.63	8.06	—	—	—	8.00	8.40
—	9.83	9.70	—	—	—	—

品名	仕向地	獲ノ濱				
		東 京	横 濱	名 古 屋	四 日 市	
大豆	筒敷	—	54.453	20.593	15.001	9.943
	ク	—	112.144	17.311	31.338	28.631
福豆	ク	—	20.539	3.522	2.083	1.166
	ク	—	3.437	2.493	154	113
宝蘭豆	ク	—	897	1.072	187	64
	ク	—	8.422	27.720	12.415	276
手亡豆	ク	250	58.852	223.278	18.149	10.604
	ク	—	53.559	41.977	7.208	4.804
金時豆	ク	116	24.018	6.713	3.267	332
	ク	—	25.275	4.829	3.609	1.305
青碗豆	ク	—	31.570	74.528	3.991	3.233
	ク	—	1.354	742	—	3
小蕎麥	ク	—	—	—	—	—
	ク	—	22.528	4.792	593	3.063
亞麻種子	ク	—	62	38.951	12.307	63.702
	ク	—	11.612	22.513	1.139	1.574
燕麥	ク	—	4	39.298	—	—
	ク	—	104.086	—	90	20
黍粉	ク	—	193	—	276	—
	ク	84	42.398	68.289	40.022	11.550
其他	ク	—	4.835	258	160	110
	ク	—	—	—	—	—
合計	筒敷	450	590.238	598.679	151.937	139.933
大正七年度	筒敷	2.971	398.187	731.815	450	102.073

考 一、本長ハ運送業者其他實地ニ就キ調査スルコト
 二、函館支所及室蘭派出所ニアリテハ鐵道ニ依ル内地聯絡輸送ノ分ヲモ包括シ他
 三、單位ハ貫トシ之ニ據リ難キ事情アルトキハ其ノ單位及事由ヲ附記シテ他ノ名
 四、本長ハ函館、小樽、釧路ノ三支所及室蘭派出所ニ限り調査シ翌月十日マテ所

大 阪	神 戶	尾ノ道	下 關	門 司	青 森	土 崎	本 庄	酒 田
68.829	23.827	439	1.665	1.650	14.38	264	—	305
22.690	6.193	502	638	261	16.759	324	—	2,815
10.111	15.620	60	679	560	298	117	—	6
2.052	5.821	—	104	—	89	78	—	—
1.092	4.821	—	—	8	237	—	—	18
52.817	24.253	—	499	819	396	156	—	2
47.604	273.211	528	4.805	2.427	5.493	466	—	326
33.748	39.977	15.40	12.224	7.104	2.734	33	—	59
20.013	4.981	1	375	1.182	2.204	202	—	51
4.722	8.846	—	965	467	806	—	—	2
22.953	116.439	880	1.068	1.573	976	124	—	—
173	84	—	—	—	—	—	—	—
1.083	2.660	—	—	—	626	71	—	10
3.518	7.292	—	—	—	250	812	—	168
6.910	7.347	—	—	—	156	—	—	—
49.138	40	—	540	330	4,211	1,975	—	20
—	4.065	—	110	354	—	—	—	—
38.011	149.929	811	2,486	2,641	3,116	1,065	—	618
2.739	365	1	—	150	767	1	—	4
387.483	635.771	4.762	26.158	19.526	40.376	5.688	—	4.404
104.374	255.552	1,096.094	42.442	27.777	242.232	16.989	2,189	8.991

ノ支所ニ於テハ鐵道輸送ヲ掲記セサルモノトス
 稱ヲ使用スルモ差支ナキコト
 長ニ提出スヘキモノトス

大正八年度(自八年四月至九年三月)農

仕向地名	仕向地	仕向地				
		山形	加茂	新潟	佐渡	直江津
小大豆	筒數	336	—	990	3,782	673
	ク	3,973	131	19,736	20,928	436
大福豆	ク	10	—	710	252	—
	ク	10	—	683	28	2
室蘭隠元豆	ク	—	—	321	—	130
	ク	—	85	258	11	150
手鴉豆	ク	678	284	15,590	2,335	7,113
	ク	128	333	3,158	1,899	3,665
金時豆	ク	147	—	1,372	1,046	1,118
	ク	—	—	558	684	600
青碗豆	ク	—	—	1,330	314	298
	ク	—	—	—	—	—
小蕎麥	ク	—	55	—	43	—
	ク	—	45	2,634	642	1,020
藜麥種子	ク	—	—	1,746	—	3,310
	ク	—	—	—	213	2,280
燕麥	ク	—	—	—	—	—
	ク	194	60	194	—	40
黍粉	ク	—	—	—	1	—
	ク	821	30	8,123	982	62
其他	ク	—	—	—	193	52
	ク	—	—	—	—	—
合計	筒數	62,93	1,023	57,406	33,353	20,949
大正七年度	筒數	12,207	12,819	115,285	31,970	61,258

産物移輸出仕向地別表 (續)

伏木	七尾	敦賀	筑	其他ノ内地	朝鮮	臺灣	海外	合計
14,208	3,684	1,815	669	33,257	235	1,948	548	200,552
33,281	6,166	7,870	5,579	107,327	51	2,374	59	447,337
2,586	306	99	30	5,549	10	124	13,811	78,248
1,413	—	6	—	4,41	—	41	11,202	28,467
2,507	10	288	—	1,171	—	—	—	12,821
4,437	297	—	—	13,397	—	—	38,984	184,674
36,315	6,743	3,999	1,281	60,533	30	111	52,032	832,537
37,305	2,534	5,806	907	2,725	54	303	128,488	414,762
13,952	1,580	377	50	11,778	20	10	2	94,907
3,353	294	226	343	14,743	—	—	—	71,627
6,427	824	274	235	6,966	85	130	77,021	251,239
212	—	149	—	86	—	—	—	2,803
5,180	446	200	—	1	—	—	—	5025
6,098	1,553	754	—	12,961	—	—	—	61,133
12,606	2,841	—	—	257	—	—	—	148,910
300	—	—	—	149	—	—	1,088	54,204
—	—	—	—	—	—	—	11	4
36,342	5,757	—	—	93,955	—	—	—	335,826
21	—	—	—	1,842	—	—	—	6,862
19,959	2,498	1,404	1,146	63,098	4,955	37,623	49,210	550,931
1,202	305	—	—	5,130	—	—	—	16,275
237,704	35,838	23,267	10,240	459,496	5,440	42,664	370,456	390,044
348,297	52,554	13,858	9,635	249,000	—	12,514	657,672	4615,539

大正八正中各國輸出雜穀

仕向國別 品名	英 國	北 米 合 衆 國	佛 國	英 領 亞米利加	露 國
	青 豌豆 {斤量 價格	33,708.013 5,843.692	11,641.609 1,869.558	45,64.017 834.746	4,554 803
長 鴉 豆 {斤量 價格	—	—	—	6,567.702 874.462	—
中長鴉豆 {斤量 價格	—	2,028.043 267.027	—	—	500 16
丸 鴉 豆 {斤量 價格	—	13,722 1,841	—	1,876 291	—
鴉 豆 {斤量 價格	—	4,164.516 579.701	42,336 7,336	—	—
大 豆 {斤量 價格	—	—	—	—	250 27
小 豆 {斤量 價格	—	—	—	—	1,205 161
金 時 豆 {斤量 價格	—	2,063.426 267.697	—	6,831 882	—
大 福 豆 {斤量 價格	1,099.213 184.650	529.207 101.750	1,249.916 232.560	400 60	16 2
中 福 豆 {斤量 價格	—	—	—	—	—
手 亡 豆 {斤量 價格	334.407 43.160	53,860.946 7,946.443	2,464.252 447.259	678.000 77.624	109,344 26,640
菜 種 {斤量 價格	3,480 609	4,021.951 641.182	—	14,016 2,494	—
其他菜豆 {斤量 價格	11,340 1,555	19,336.837 2,781.715	84,851 11,080	—	400 39
粟 粉 {斤量 價格	36,699.000 6,476.411	33,91.823 526.939	20,278.331 3,985.997	11,496 2,801	114,615 23,902
合 計 {斤量 價格	71,855,453 12,549,877	101,079,090 14,983,853	28,683,703 5,518,978	7,284,875 959,417	286,795 50,833

穀類粉數量價格品種別表 (價格單位圓)

淡 洲	比 律 賓 諸 島	印 度	布 哇	海 峽 殖 民 地	支 那	關 東 洲	香 港	白 耳 義	和 蘭
18,542 6,110	5,294 877	7,513 1,254	26,638 4,368	356 38	12,504 1,516	34,008 4,448	8,250 877	217,680 38,555	169,344 25,984
745 83	—	—	19,501 2,533	—	8,575 1,296	6,750 796	750 113	—	—
—	—	—	—	—	8,600 816	33,225 3,482	—	—	—
—	—	30 4	4,275 617	600 82	7,325 961	19,210 2,830	—	—	—
—	2,800 423	—	18,934 2,677	—	22,300 2,179	23,800 2,349	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	23,029 3,561	1,367 201	7,182 879	25,10 343	—	—	—
79,281 12,879	21,737 3,222	40 8	8,629 1,570	1,129 220	37,502 4,771	37,762 5,257	2,300 355	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13,540 2,985	15,120 3,010	—	7,167 1,091	270 40	500 83	1,000 117	—	592,786 88,055	453,600 48,270
127,950 17,955	1,768 352	—	—	—	—	8,000 1,337	—	—	—
2,262 338	—	—	1,890 303	500 91	2,681 515	—	405 81	—	—
9,468 1,859	5,118 974	2,285,919 363,790	23,734 5,313	2,296 583	411,830 68,262	137,657 25,879	4,167 668	83,057 15,514	602 93
251,788 42,209	51,832 8,858	2,293,502 365,056	133,797 22,033	6,518 1,255	518,999 81,278	303,922 46,838	15,872 2,092	893,517 142,124	623,546 74,347

仕向國別 品名	瑞典	暹羅	爪哇	埃及	西貢	其他諸國
青豆 {斤量 價格	169.344 25.984	151.425 21.193	246.758 38.160	302 42	17.939 2519	
長鵲豆 {斤量 價格		159.023 16.987			169.700 20.944	
中海鵲豆 {斤量 價格						
丸鵲豆 {斤量 價格		675 105				
鵲豆 {斤量 價格		3.427 403				
大豆 {斤量 價格						
小豆 {斤量 價格						
金時豆 {斤量 價格		1512 205			7.083 729	
大福豆 {斤量 價格		1.890 280	677.373 91.137		1.774.181 234.029	
中福豆 {斤量 價格		193.234 22.808				
手亡豆 {斤量 價格		2.238.528 354.578	894.855 139.931		477.510 65.421	
菜種 {斤量 價格		17 4			3.398 483	
其他菜豆 {斤量 價格		529.512 83.940	583.632 58.600		1.352.484 179.023	
粉 {斤量 價格		396 68	28.975 3.303		573.220 106.247	
合計 {斤量 價格	169.344 25.984	3.279.639 500.571	2.371.593 331.131	302 42	4.375.515 609.395	

伊太利	丁抹	秘魯	智利	亞爾然	喜望峰	新西蘭	合計	朝鮮
							51.004.557	
							8.720.790	
							6.932.746	
							917.214	
							2.070.368	
							271.381	
							47.713	
							6.731	
							4.278.113	40.342
							595.068	3.616
							250	
							27	
							1.203	
							161	
							2.112.940	6.751
							274.497	779
							5.520.576	37.713
							872.751	4.516
							193.234	
							22.808	
							62.149.819	1.882.720
							9.244.707	152.242
							4.180.575	
							664.416	
							21.933.794	
							3.117.079	
142.704 19.404	77.868 8.343	3.822 757	24.640 7.964	22.422 3.377	11.400 2.293	1.210 208	64.345.777 11.650.947	
142.701 19.404	77.868 8.343	3.832 757	24.640 7.964	22.422 3.377	11.400 2.293	1.210 208	224.763.665 36.358.577	1.967.526 161.153

大正九年九月二十五日印刷
大正九年九月二十七日發行

發行所 北海道雜穀商同業組合聯合會

北海道小樽區堺町七拾八番地

印刷所 北海道札幌區北貳條西參丁目壹番地
北海石版所活版部

印刷人 本間清造

742A
468

大正六年四月二十五日
大正六年四月二十五日

發行所 東京市神田區本町三丁目

印刷所 東京市神田區本町三丁目

代印所 東京市神田區本町三丁目

電話 〇〇〇〇

支店 東京市神田區本町三丁目

終